

昭和五年一月  
日

国際オリンピック競技大会関係  
本邦大会関係

第  
四  
卷

外務省  
記録

昭和五年一月  
日

国際オリンピック競技大会関係  
本邦大会関係

第  
四

I  
1  
12  
0  
9-1

I-0489 |

0005



第十二回オリンピック  
東京大会組織委員会

# 會報

第壹號

昭和十二年四月十五日發行

事務局(赤坂區英町滿鐵ビル四階)  
印刷所(中屋三間印刷株式會社)

(以印刷代謄寫)

## ○組織委員會規約

第十二回オリンピック東京大会組織委員会(以下組織委員ト稱ス)ハ昭和十五年東京市ニ於テ開催セラルル第十二回オリンピック東京大会ニ關スル一切ノ計畫ヲ決定ス

第二條 組織委員會ハ左記十八名ヲ以テ組織ス

- 東京市長
- 大日本體育協會々長
- 外務次官
- 内務次官
- 大藏次官
- 陸軍次官
- 海軍次官
- 文部次官
- 逓信次官
- 鐵道次官
- 東京市會議長
- 日本商工會議所會頭
- 東京市助役
- 大日本體育協會副會長
- 組織委員會ハ必要ニ應ジ委員ヲ増加スルコトヲ得
- 前項委員ノ増加及缺員補充ハ全會一致ノ賛成ニヨルコトヲ要ス
- 本會ニ會長一名副會長若干名ヲ置ク
- 會長、副會長ハ委員中ヨリ互選ス
- 會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

第四條

副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス  
本會ニ常務委員ヲ置ク  
常務委員ハ三名トシ委員中ヨリ互選ス

一 本會ヨリ委任サレタル事項

一 緊急ヲ要スル事項

第五條

本會ニ幹事及書記若干名ヲ置ク  
幹事及書記ハ會長之ヲ委嘱ス

第六條

書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ受ケ庶務ヲ整理ス  
本會ニ顧問及及參與ヲ置クコトヲ得

第七條

顧問及參與ハ本會ノ議ヲ經テ會長之ヲ依嘱ス  
本會ニ事務局ヲ置ク

第八條

事務局職制及其ノ他必要ナル規程ハ別ニ之ヲ定ム  
本會ニ財務委員、建設委員及總務委員ヲ置ク

第九條

組織委員會議事規則ハ會長之ヲ定ム  
各委員會規則ハ別ニ之ヲ定ム

第十條

本規約ニ規定ナキ事項ハ會長ノ定ムル所ニヨル

## ○組織委員會議事規則

第一條

會議ハ會長之レヲ招集ス

第二條

會長ハ會議ノ議長トナリ議事ヲ整理ス

第三條

會議ハ委員ノ半数以上出席スルニアラザレバ之レヲ開クコトヲ得ズ  
委員事故アルトキハ會長ノ許可ヲ得テ代理者ヲ出席セシムルコトヲ得

第四條

議事ハ出席委員ノ過半数ヲ以テ之レヲ決ス可否同數ナルトキハ議長之

レヲ決ス  
 第五條 事務局長ハ會議ニ出席シ意見ヲ述ブルコトヲ得  
 第六條 會長ハ必要ニ應ジ臨時調査委員ヲ囑託スルコトヲ得  
 第七條 臨時事務ハ幹事之レヲ作成シ出席各委員ノ承認ヲ經ベシ

○各委員會規程

第一條 財務委員、建設委員、總務委員ハ本會ノ議ヲ經テ會長之ヲ依囑ス  
 財務委員、建設委員、總務委員ハ各委員會ヲ組織ス  
 委員長ハ委員ノ互選ニ依ル  
 各委員會ノ事務ハ事務局ニテ之ヲ取扱フ  
 第二條 財務委員會ハ財務ニ關シ會長ノ諮問ニ應ジ且ツ必要ナル事項ヲ掌理ス  
 建設委員會ハ競技場、選手宿舍等ノ建設ニ關シ會長又ハ事務局長ノ諮問ニ應ジ且ツ之ヲ實施ノ監督指揮ヲナス  
 第四條 總務委員會ハ事業實施ニ關シ會長又ハ事務局長ノ諮問ニ應ジ且ツ之ヲ必要ナル事項ヲ處理ス

○常務委員委任事項

一、參與選定ノ件  
 一、建設委員、總務委員選定ノ件  
 一、事務局局長任免ノ件  
 一、其ノ他會長ニ於テ適當ト認メタル事項

○事務局職制

第一條 第十二回オリンピック東京大會組織委員會事務局ハ本會ニ關スル一切ノ事務ヲ掌ル  
 第二條 本會事務局ニ左ノ職員ヲ置ク  
 事務局長 一名  
 部長 若干名  
 主事 若干名  
 技師 若干名  
 書記 若干名  
 技手 若干名

前項ノ外囑託、職員及職員ヲ置クコトヲ得  
 第三條 事務局長及部長ハ本會ノ議ヲ經テ會長之ヲ委囑ス  
 但シ職員ハ會長之ヲ任免又ハ委囑ス  
 第四條 事務局長ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ヲ統括シ職員ヲ指揮監督ス  
 部長ハ事務局長ノ命ヲ承ケ事務ヲ處理シ部内ヲ統括ス  
 主事ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル  
 技師ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル  
 書記ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス  
 技手ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ニ從事ス  
 事務局事務分掌規程ハ會長之ヲ定ム

○事務局事務分掌規程

第一條 第十二回オリンピック東京大會事務局ニ左ノ部ヲ置ク  
 總務部  
 競技部  
 宣傳部  
 第二條 總務部ノ事務分掌左ノ如シ  
 一、公印ノ管理ニ關スル事項  
 一、職員進退ニ關スル事項  
 一、出張ニ關スル事項  
 一、給仕、小使ノ取締ニ關スル事項  
 一、其ノ他人事ニ關スル事項  
 一、諸會議ニ關スル事項  
 一、諸規程ニ關スル事項  
 一、文書ノ收受發送ニ關スル事項  
 一、記録、編纂、報告ニ關スル事項  
 一、圖書ノ管理ニ關スル事項  
 一、圖書ノ管理ニ關スル事項  
 一、豫算決算ニ關スル事項  
 一、物品ノ購買貸借及處分ニ關スル事項  
 一、收入、支出ニ關スル事項  
 一、現金及物品ノ出納保管ニ關スル事項  
 一、諸給與ニ關スル事項

一、其ノ他會計ニ關スル事項  
 一、其ノ他ノ部ニ屬セザル事項  
 第三條 競技部ノ事務分掌左ノ如シ  
 一、競技場、脱衣場ノ施設管理ニ關スル事項  
 一、競技用器具設計及製作監督ニ關スル事項  
 一、聖火マラソンニ關スル事項  
 一、國際競技聯盟トノ連絡ニ關スル事項  
 一、競技者ノ指揮統制ニ關スル事項  
 一、參加申込受付ニ關スル事項  
 一、式典ニ關スル事項  
 一、プログラムノ編制ニ關スル事項  
 一、競技進行ニ關スル事項  
 一、競技ノ記録及發表ニ關スル事項  
 一、藝術競技ニ關スル事項  
 一、展覽會備物ニ關スル事項  
 一、審判ニ關スル事項  
 一、チーム迎接及送別連絡ニ關スル事項  
 一、練習日程作製ニ關スル事項  
 一、其ノ他競技ニ關スル事項  
 第四條 宣傳部ノ事務分掌左ノ如シ  
 一、案内圖書ノ編纂其ノ他宣傳用印刷物ノ發行頒布ニ關スル事項  
 一、宣傳映畫、ラヂオ放送ニ關スル事項  
 一、新聞社其ノ他ニ對スル記事發表ニ關スル事項  
 一、觀覽人誘致ニ關スル事項  
 一、其ノ他宣傳ニ關スル事項  
 第五條 部長事務ヲ置ク  
 部長事務アルトキハ次席者其ノ職務ヲ代理ス  
 第六條 部員ノ配屬及事務ノ分掌ハ部長ノ定ムル所ニ依ル

第十二回オリンピック東京大會組織委員會

會長	國際オリンピック委員	公 爵	德川家達
副會長	東京市長	陸軍中將	牛塚虎太郎
委員	大日本體育協會々々長	陸軍中將	大島又彦
委員	國際オリンピック委員	伯 爵	嘉納治五郎
同	同	同	堀内謙正
同	外務次官	同	篠原英太郎
同	內務次官	同	賀屋興宣
同	大藏次官	同	梅津美治郎
同	陸軍次官	同	山本五十六
同	海軍次官	同	河原春作
同	文部次官	同	富安謙次郎
同	逓信次官	同	喜安健次郎
同	鐵道次官	同	松永 東
同	東京市會議長	同	門野重九郎
同	日本商工會議所會頭	同	大久保 留次郎
同	東京市第一助役	同	平沼 亮三
同	大日本體育協會副會長	同	宮本 昌常
同	大日本體育協會常務委員	同	草間 時光
同	東京市秘書課長	同	栗本 義彦
同	文部省學校衛生官	同	廣田 傳藏
同	東京市役所秘書課	同	野口 岩三郎
同	大日本體育協會	同	小野寺 永藏
同	文部省體育課		

第十二回オリンピック東京大會組織委員會常務委員

文部次官	河原 春作
東京市第一助役	大久保 留次郎
大日本體育協會副會長	平沼 亮三

第十二回オリンピック東京大會  
組織委員會事務局

局長	岩原 拓
總務委員會第一部長	高島 文雄
文部省體育課長	高島 文雄
東京市秘書課長	高島 文雄
大日本體育協會理事	高島 文雄
總務委員會第二部長	阿原 謙
文部省文書課長	阿原 謙
鐵道省運輸局旅客課長	阿原 謙
外務省情報部第二課長	木村 盛
國際觀光局長	木村 盛
情報委員會事務官	高田 隆
大日本體育協會理事	高田 隆
同盟通信社調査部長	川面 隆
日本放送協會報道部長	川面 隆
日本旅行協會事務理事	久富 達
大日本體育協會參事	久富 達
部長 (兼)	久保 敬一
主事	長沼 喬
書記	西四辻 公利
技手	千葉 胤
囑託	高橋 健三
同	中野 慶
同	柴野 左
同	榎島 以
同	大田 親
同	弘田 勇
同	尾輔 勇

局長	岩原 拓
總務委員會第一部長	高島 文雄
文部省體育課長	高島 文雄
東京市秘書課長	高島 文雄
大日本體育協會理事	高島 文雄
總務委員會第二部長	阿原 謙
文部省文書課長	阿原 謙
鐵道省運輸局旅客課長	阿原 謙
外務省情報部第二課長	木村 盛
國際觀光局長	木村 盛
情報委員會事務官	高田 隆
大日本體育協會理事	高田 隆
同盟通信社調査部長	川面 隆
日本放送協會報道部長	川面 隆
日本旅行協會事務理事	久富 達
大日本體育協會參事	久富 達
部長 (兼)	久保 敬一
主事	長沼 喬
書記	西四辻 公利
技手	千葉 胤
囑託	高橋 健三
同	中野 慶
同	柴野 左
同	榎島 以
同	大田 親
同	弘田 勇
同	尾輔 勇

I-0489

0008



第十八條 決議ノ趣旨當初ノ起草ト異ルトキハ合議ノ部ニ回覽スベシ

第十九條 決議ヲ受ケタル文書ニシテ決裁後其ノ結果ヲ知ラントスルトキハ部名ノ傍ニ(要再回)ト記載シ回付ヲ受ケ開了ノ後ハ該文字ヲ抹消シテ之ヲ返付スベシ

第二十條 起草ノ要ナキ文書ハ之ヲ回覽ニ供スベシ此ノ場合ニ於テハ該文書ノ餘白ニ(供覽完結)ト記載スベシ

第二十一條 組織委員會ニ附議スベキ事件ハ主務部ニ於テ調査ノ上之ヲ總務部ニ送付スベシ

第二十二條 總務部ニ於テ前項ノ文書ノ送付ヲ受ケタルトキハ速ニ調査シ組織委員會幹事ニ送付スベシ

第二十三條 發送ヲ要スル文書ハ總務部ニ於テ概ネ第五様式ニ依リ作製シ受發件名簿ニ登錄シ番號ヲ付シ相當印章ヲ押捺シテ上起案書ニ番號並年月日ヲ記入シ發送ノ手續ヲ爲スベシ 但シ競技部主管ニ屬スル文書ニ關シテハ同部ニ於テ其ノ手續ヲ爲スベシ

第二十四條 會長達、局長達ヲ以テ發スル文書ハ第六様式ニ依リ附令、式辭、書辭、電信其他特ニ様式ノ定メアルモノ又ハ歐文ノ書翰等ハ其ノ定メ又ハ價例ニ依ル

第二十五條 文書完結シタルトキハ受發件名簿ニ其ノ年月日事由ヲ記載シテ上完結ノ印ヲ押捺スベシ

第二十六條 文書ノ番號ハ各部毎ニ區分シ各部ノ頭文字ヲ冠スベシ 送付ニハ會長達、局長達ノ番號ヲ附スルモノトス

第二十七條 文書物品ノ發送交付ハ左ノ各號ニ依リ取扱フベシ

一、郵便電信ニ付スルモノハ郵便電信發送簿(第七様式)ニ登記スベシ

二、鐵道小荷物、通郵便ニ付スルモノハ同發送簿(第八様式)ニ登記シ受領印ヲ捺スベシ

三、近接地ニ送付スル書狀等ハ發送簿(第九様式)ニ登記シ送付スベシ

第二十八條 第三章 完結文書ノ整理保存

完結シタル文書ハ各部ニ於テ之ヲ整理シ他日記録報告等ノ編纂ニ便ナル様保存スベシ

第二十九條 完結文書ハ一事件毎ニ處理ノ順序ニ從ヒ一括シ同一種類ノモノハ同一簿冊ニ編綴シ其ノ卷頭ニハ索引(第十様式)ヲ付スルヲ要ス

第三十條 完結文書編綴簿冊ハ年毎ニ區分シ内容ヲ規知スルニ足ル名稱ヲ表記ス

シ置クベシ

第三十一條 數年ニ涉リ繼續シタル事件ハ其ノ最終年ニ編綴スベシ

第三十二條 編綴ヲ了シタル文書簿冊ハ各部ニ於テ其ノ簿冊名、年號、冊數等ヲ蓋帳ニ登記シ取扱主任者ヲ定メ保管スベシ

第三十三條 保管簿冊ノ貸與閱覽ヲ請フ者フルトキハ借覽證ヲ發シ貸付スベシ貸付期間ハ一週間以内トシ特ニ長期間ニ涉ルモノハ部長ノ承認ヲ得ベシ

第三十四條 保管文書ハ局外ニ携出セントスルトキハ部長ノ承認ヲ經ベシ

第三十五條 會報ノ發行

第三十六條 本會ノ事業進行上必要ナル事項ノ宣傳又ハ周知ヲ計ル爲メ會報ヲ發行ス

第三十七條 會報ハ毎月一日、十日、廿日ニ之ヲ發行シ休日ニ當ルトキハ翌日ニ繰下グ

第三十八條 會報原稿ハ各部ニ於テ作製シ發行定日ノ四日前マデニ總務部ニ回付スベシ

第三十九條 局員ノ出張

第四十條 局員東京市以外(外國ヲ除ク)ニ出張ヲ要スルトキハ第十一様式ニ依リ決裁ヲ受クベシ

第四十一條 出張期間内ニ用務完了シ難キトキハ速ニ指揮ヲ請フベシ若シ其ノ暇ナキトキハ歸局後承認ヲ受クベシ

第四十二條 出張員歸局シタルトキハ速ニ書面又ハ口頭ヲ以テ用務ノ狀況ヲ報ズベシ

○組織委員會給與規則

第一條 本會委員、幹事、書記及事務局職員ニ對スル諸給與ニ付テハ本規則ノ定ムル所ニ依ル

第二條 委員ハ本會事務ノ爲メ要スル費用ノ辨償ヲ爲スコトヲ得

第三條 費用辨償額ハ會長之ヲ定ム但シ出張ニ要スル費用辨償額ハ第八條及第九條ノ規定ニ依ル

第四條 本會事務局職員ノ俸給ハ別表ニ依リ之ヲ支給ス

第五條 幹事、委員會書記及囑託職員ニハ報酬又ハ手当ヲ支給スルコトヲ得其ノ額ハ事務局長之ヲ定ム

トキハ順次繰下グルモノトス

第六條 俸給、給料ニシテ年額ヲ受クル者ハ之ヲ十二分シ日給ヲ受クル者ハ前月十六日ヨリ其ノ月十五日迄ノ分ヲ前項ニ依リ支給ス但シ日給ニシテ毎年三月十六日ヨリ三月三十一日迄ノ分ハ此ノ限ニ非ラズ

第七條 報酬、手当ハ六月及十二月ニ於テ之ヲ支給ス但シ退職又ハ死亡ノトキハ此ノ限ニ非ラズ

第八條 退職又ハ死亡シタルトキハ其ノ際其ノ月ノ俸給、給料ノ全額ヲ支給ス

第九條 日給ハ公休日ヲ算入シ病氣又ハ私事ノ故障ニ依リ執務セザルトキハ其ノ間之ヲ支給セズ

第十條 俸給、給料ハ新任ノトキハ就職ノ日ヨリ増俸増給ノトキハ發令ノ翌日ヨリ之ヲ計算ス

第十一條 本會ノ職務ニ依リ内地ニ出張スル者ニハ別表ニ依リ旅費ヲ支給ス

第十二條 本會ノ職務ニ依リ外國ニ出張スル者ニハ委員會ノ議ヲ經テ會長旅費額ヲ定メ之ヲ支給ス

第十三條 幹事、書記及事務局職員以下ニシテ執務時間外ニ時間以上居残り又ハ休日勤務シタルトキハ賄料ヲ支給ス其ノ額ハ事務局長之ヲ定ム

第十四條 死亡者ノ諸給與ハ之ヲ其ノ遺族ニ支給ス其ノ順位ハ配偶者、子孫、父、母、祖父母、兄弟姉妹ノ順序ニ依リ子孫ノ間ニ在リテハ實子孫ヲ先ニシ男女ヨリ年階ハ其ノ多キ者ヲ先ニス

附則

本規則ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年三月 日伺定本會事務所費仕掛ニ關スル件ハ之ヲ廢止ス

(別表) 內國旅費額

區分	車馬賃	鐵道貨船賃	一日三付當	宿泊料
事務局長	一圓二十錢	一等ノ運賃ニ相當スル額	八圓	十二圓
幹事、部長	九圓	同	六圓	八圓
主任、技師	九圓	同	五圓	七圓
委員會書記	七十五錢	二等ノ運賃ニ相當スル額	四圓	六圓
事務局書記	七十五錢	同	三圓	五圓
事務局職員	五十錢	三等ノ運賃ニ相當スル額	二圓	三圓

昭和十二年四月一日

局長達第一號

一、執務時間ハ休日ヲ除キ左ノ通トス但シ必要アル場合ニ於テハ變更スルコトアルベシ

平日 午前九時ヨリ正午迄  
午後一時ヨリ午後四時迄

土曜日 午前九時ヨリ正午迄

出勤時刻ハ各自勵行スベシ

二、休日ハ左ノ通トス

日曜日

一月一日ヨリ一月五日迄

紀元節

春季皇靈祭

神武天皇祭

天長節

秋季皇靈祭

神嘗祭

明治節

新嘗祭

大正天皇祭

十二月二十九日ヨリ十二月三十一日迄

三、局員ハ各自申合セ事務ニ差支ナキ限り一年ヲ通ジテ十五日以内休暇スルコト

事務局職員俸給表

月俸	種別		等級	
	技師	書記	一級	二級
上手	上 1,200 下 1,000	上 1,100 下 900	上 1,000 下 800	上 900 下 700
下手	上 800 下 600	上 700 下 500	上 600 下 400	上 500 下 300

トヲ得但シ四月以後ノ新任者ニ對シテハ其ノ月數ニ相當スル日數ヲ遡越スルモノトス  
休暇ヲ受ケントスル者ハ其ノ旨局長ニ届出ツベシ

### ○第十二回オリンピック東京大會 組織委員會事務局宣傳部機構

- 一、宣傳部ニ左ノ四掛ヲ置ク
  - (一) 庶務掛
  - (二) 國內宣傳掛
  - (三) 對外宣傳掛
  - (四) 案內掛
- 二、庶務掛ニ於テハ左ノ事務ヲ處理ス
  - (一) 文書ノ收受發送保管ニ關スル事項
  - (二) 委員會ニ關スル事項
  - (三) 情報ノ蒐集並ニ發表ニ關スル事項
  - (四) 其ノ他掛ニ屬セザル事項
- 三、國內宣傳掛ニ於テハ關係官廳其ノ他ト連絡ヲ保テ左ノ事務ヲ處理ス
  - (一) オリビツク觀念ノ普及宣傳ニ關スル事項
  - (二) 本邦人ノ觀客誘致ニ關スル事項
- 四、對外宣傳掛ニ於テハ各國ノ政府、N、O、C競技團體、在外公館、ツリー  
スト業者ト連絡ヲ保テ左ノ事務ヲ處理ス
  - (一) 各因ノ大會參加ニ對スル勸誘宣傳
  - (二) 外國人觀客誘致宣傳
- 五、案內掛ニ於テハオリンピックニ關聯スル各般ノ問合ニ應答スル事務ヲ處理ス
  - (一) 庶務掛ニハ專任職員ヲ置キ必要ナル者ヲ兼任又ハ屬託トス
  - (二) 國內宣傳掛ニ於ケル專任職員ハ最少限度トシ印刷物ニ依ル宣傳、放送ニ依ル宣傳、新聞紙又ハ雜誌ヲ通シテ爲ス宣傳、催物ニ依ル宣傳等ニ從ヒ各部門ニ應ジ關係ノ向ニ其ノ事務ヲ委屬スルコト(例放送ニ依ル宣傳ハ放送局ニ委屬スルカ如シ)
- 六、各掛ノ掛員ハ大體左記ノ如クス
  - (一) 庶務掛ニハ專任職員ヲ置キ必要ナル者ヲ兼任又ハ屬託トス
  - (二) 國內宣傳掛ニ於ケル專任職員ハ最少限度トシ印刷物ニ依ル宣傳、放送ニ依ル宣傳、新聞紙又ハ雜誌ヲ通シテ爲ス宣傳、催物ニ依ル宣傳等ニ從ヒ各部門ニ應ジ關係ノ向ニ其ノ事務ヲ委屬スルコト(例放送ニ依ル宣傳ハ放送局ニ委屬スルカ如シ)

### 辭令

(三) 對外宣傳掛ニハ專任職員ヲ置カス放送ニ依ル宣傳ハ放送局及同盟通信社ニ、其ノ他ノ宣傳ハ國際觀光局ニ委屬行ハシム

(四) 案內掛ニハ專任職員ヲ置カス總テジャパン、ツリースト、ビュローニ事務ヲ委屬ス

七、宣傳事務ノ實行ヲ委屬スル場合ハ必要ナル經費ヲ事務局ヨリ支拂フ

事務局事務ヲ屬託ス(四月十七日附)  
 總務部勤務ヲ命ズ  
 東京市文書課長 吉 山 眞 棹  
 總務委員會第二部委員ヲ委屬ス(四月二十四日附)

### 議事錄

#### ○常務委員會

##### 第一回常務委員會議事錄

昭和十二年三月二十三日正午九ノ内會館ニ於テ開催シ、大島副會長、河原(代理若原課長)、平沼、大久保各常務委員、久保田事務局局長及各幹事出席シ、左ノ諸件ヲ協議セリ

一、總務委員ノ候補者(氏名既報)決定セリ

一、ワルソー會議派遣人員ニツキ打合せヲナシ

##### 第二回常務委員會議事錄

三月三十日午後二時九之内會館ニ於テ開催シ、大島副會長、河原、大久保各常務委員、久保田事務局局長、各幹事出席シ、上左ノ諸件ヲ協議セリ

一、國際オリンピック委員會ヨリ常務委員會ニオウザリサーアーノ出席ヲ希望セル

ニ付右ヲ承認シ今後ハ嘉納、副島兩委員ニモ常務委員會開會ノ通知ヲナスコトトセリ

一、昭和十二年四月、五月ノ歳入出豫算ハ原案通り可決セリ

一、ワルソー會議ニ關スル件  
 右會議ニ提案スベキ東京大會ノ競技種目、會期、プログラムノ原案ハ競技部ニ於テ作製スルコトニ決定セリ  
 尙派遣費ノ豫算ヲ作ルコトトセリ  
 一、給與規則ニ關スル件  
 原案中二三ノ修正ヲ爲シ可決セリ

一、政府補助金ニ關スル件  
 河原委員ハ會計事務ニ關シテ希望ヲ述べ久保田局長ハ政府ノ補助金交付ニ對シテ條件ヲ指示セラレ度ト述べケリ  
 一、ガイレンド氏歡迎準備トセリ  
 右ハ更ニ打合せノ上決定スルコトトセリ  
 一、各部長ニ關スル件  
 總務部長ハ當分局長兼任トシ、宣傳部長ハ當分空位トスルコトトセリ

### ○總務委員會

#### 總務委員會第一部委員會

本委員會ハ三月廿九日第一回會議ヲ文部省ニ於テ開會シ爾後第二回ハ四月五日ニ第三回ハ四月十二日第四回ハ同月廿一日ニ第五回同月廿六日ニ事務局内ニ開會シ毎回本會事實實施ニ關シ諸般ノ協議ヲ爲セリ毎週月曜日ヲ以テ定期開會スルコトニ申合セ決定セリ

#### 總務委員會第二部委員會

##### (宣傳) 第一回會議記錄

昭和十二年四月九日正午ヨリ鐵道ホテルニ於テ開催シ、田、阿原(代理青戸事務官)、川面、木村、高田、高久、成澤、松方、本野各委員、事務局側ヨリ久保田局長、草間、西四辻、高橋出席シ共ニシタル後久保田事務局局長ハ(一)委員會議置ノ趣旨ニ付テノ説明(二)宣傳ニ關スル事項ハ包括的ニ一切本委員

會ニ委スコトニシキコト並ニ(三)國家的事業トシテ盡力アリテキ旨ヲ述ベ議事ニ入ル

協議事項

一、委員長ノ推舉  
 本委員會ノ委員長ニ國際觀光局長田誠氏ヲ推舉可決決定  
 一、宣傳ノ機構ヲ如何ニスルヤ  
 本件ニ付テハ(一)宣傳部ト委員會トノ關係ヲ如何ニスルヤ(二)宣傳部ニ專任職員ヲ持ツベシトスル意見(三)宣傳ハ其ノ内容ニ從ツテ既設關係機關ニ委屬スベシトスル意見、等アリタルガ委員會ト宣傳部トノ關係ニ付テハ委員會ハ宣傳ニ關スル方策ヲ決定シ宣傳部ハ其ノ決定セラレタル方針ニ從ツテ宣傳ノ實行ニ當ルモノナルコトヲ明カニシタルガ實行機關ノ機構ニ付テハ結論ニ到達セズ次回會議迄ニ幹事ニ於テ案ヲ作成提出セシムルコトニナレリ  
 一、委員會ノ開催時  
 當分ノ間毎週水曜日午後二時ヨリ開催ノコトニ決定セリ

##### 總務委員會第二部委員會

##### (宣傳) 第二回會議記錄

四月十四日午後二時ヨリ鐵道ビル會議室ニ於テ開催シ、田、阿原、川面、高田、高久、成澤、松方、本野、各委員、事務局側ヨリ久保田、郷、宮木、草間、高橋、西四辻其ノ他出席

協議事項

一、宣傳部ノ機構ヲ如何ニスルヤ  
 田委員長ヨリ前回會議ニ於ケル意見並ニ本野委員ヨリ提出アリタル意見書ヲ參酌シ幹事ヲシテ宣傳部ノ機構案ヲ作成セシメタル旨ヲ報告シ別紙同案ニ付高橋幹事説明シ審議ニ入ル

審議中(一)案內係ハ相當大規模ト爲スノ要アルヘク且又技術的ニ互ルモノアルヘキカ故ニ宣傳部内ニ專任職員ヲ置クコトニシタシトノ意見アリタルモ當分原案通りジャパン、ツリースト、ビュローニ委屬シ模様ヲ見ルコト、ナリ(二)庶務係ニテ處理スベキ新聞發表ハ重要事項ナルヲ以テ慎重ニ之ヲ扱フコトヲ要スル旨ノ意見アリ尚ニユースウアーリテ新聞紙等ガ自ラ扱フモノ、ミナラズ宣傳部トシテハ積極的ニ之等ニ働キカケ宣傳ニ努ムル要アルコト(三)宣傳部ニ宣傳部長ノ專任ヲ置カレタキ希望(四)庶務掛ニ

如何ナル人員ノ配置ヲ爲サントスルカノ質問アリ(三)及(四)ニ付テハ具體的ニ決定ヲ見ズ(五)宣傳ハ適當リ選手ヲ一人ニテモ多ク派遣シテ貰フヤウ此ノ方面ニ全力ヲ注ガレタキコトヲ希望アリ結局當分原案ニ依ルコトニ決定セリ

一、セントビル氏ヨリ十二回オリンピック大會宣傳其ノ他ニ關シ協力申出ノ件  
同氏ノ厚意ハ感謝スル所ナルモ同氏ノ計畫方如何ナル規模ナルヤ判明セザルガ故ニ直ニ委嘱スルコトナク更ニ外務省ヲ通ジ問合スコトニ決定セリ

一、宮木氏ヨリ報告最希望  
宮木氏ヨリ競技部ニ於テ今日迄爲シ來リクル宣傳ノ模様ニ付(一)ワルソニ會議ヘ持参セシムル爲メ旅費其ノ他ノ情報ヲ集録シタル印刷物ヲ調製中ナルニ付請求アリタキコト(二)東京オリンピックマーク及標語ヲ早急ニ決定セラレタキコト(三)シール及ポスターヲ至急作成セラレタキコト之カデザイン等ノ決定ニハ懸賞募集モ可ナルベク或ハ特定ノ著ニ委託スルモ可ナルベキモ體育藝術協會ニ助力ヲ乞フハ效果のナルベキコト等ヲ説明セリ

右ニ關シ旅費其ノ他ノ情報ニ關スル印刷物ハ目下印刷中ナルモ尙國際觀光局ニ於テ助力スルコトニ又ハポスター等ノデザインニ付テハ體育藝術協會ニ助力ヲ乞フコトニ決定シテシール及ポスターノ作成ニ付テハ次回會議ニ於テ協議スルコトニ決定セリ

委員ヨリオリンピック關係用語ノ英語譯ノ一定セルモノヲ作ラレクントノ希望アリタリ

總務委員會第二部委員會  
(宣傳) 第三回會議記錄

四月二十三日午後二時ヨリ東京鐵道ホテルニ於テ開催、田、阿原(代理)川面、久富、松方、高久、成澤、高田各委員、事務局側ヨリ久保田、宮木、草間西四辻、高橋其ノ他出席

協談事項

オリンピック・ニュース刊行ノ件  
第十二回オリンピック・ニュース左記要領ニ依リ發行スルコトニ決定セリ

一、名 稱 Tokyo Olympic News XII Olympiad, 1940  
一、發行回数 月一回、但西語ハ隔月  
一、使用國語 英、佛、獨、西語

- 一、内 容
  - (1) 組織委員會ノ活動狀況
  - (2) 競技場オリンピック村ノ準備進行狀況
  - (3) 交通、宿泊、其ノ他ノ施設ノ模様
  - (4) 旅費、其ノ他日本ヘノ旅行ニ付テノ各種情報
  - (5) 其ノ他必要記事
- 一、發行部數 一〇〇〇〇部
- 一、配付先
  - (1) 各國ノ各種競技團體
  - (2) 在外公館
  - (3) 旅行者、汽船會社、ホテル等
  - (4) アスレチッククラブ、YMCA其ノ他ノクラブ
  - (5) スポーツ雜誌及新聞
  - (6) 其ノ他必要ト認ムル箇所
- 一、費 用
  - (1) 印刷費一〇〇四
  - (2) 郵税及發送費二〇〇四
- 二、ポスター及シール印刷ノ件  
ポスター及シールヲ調製スルコトニ付テハ各委員トモ異議ナキヤ其ノデザイン、用語、調製數ヲ如何ニスルヤ又一デザインヲ終始使用スルノ可否等ニ付意見ヲ交換シ結局
  - 一、デザインハ體育藝術協會ニ委セ作製ヲ乞フコト
  - 二、二、三種ヲ調製スル方針ヲ以テ差當リ一種ヲ印刷スルコト
  - 三、印刷數ハデザインノ出來上リ後決定スルモ五萬枚ヲ要スベキコト
  - 四、用語ハ英、佛、獨、西、其ノ他ナルベク多クノモノヲ印刷スベキコトヲ決定シ、シールニ付テハポスターヲ縮少使用スルノ外他ノデザインノモノヲ使ヒ十種トスルコトナリ、ポスタート共ニ體育藝術協會ニ其ノ圖案ヲ委嘱スルコトニ決定セリ
  - 三、オリンピック選手ニ對スル運賃割引ノ件  
事務局ニ於テ關係者ノ募集ヲ乞ヒ協議スル手管ナル由
  - 四、輕鐵寄贈ノ件  
米國アマチューアアスレチック・ユニオンニ對シ輕鐵三組寄贈スルコトニ決定

記 事

第一回競技場打合せ會記事

昭和十二年三月三十一日午後六時體育協務所ニ於テ開催、出席者左ノ如シ  
大島會長、久保田事務理事、佐々木會計理事、小島理事、郷、宮木、高島各常務委員、遠山、久保、香山、伴、飯田、松澤、近、淺野、中山、明石、小澤、財部、山崎、櫻井、山本、三宅、榊原各委員

一、久保田事務理事ヨリ東京オリンピック大會ノ競技場トシテ實施シ得ル原案ヲ本委員會ニ於テ立案セラレ度ト希望セリ

一、本委員會ハ組織委員會競技部中ノ専門委員會トスルコト、シ、郷競技部長ヲ全會一致ニ委員長ニ推薦セリ

一、本委員會内ニ左記ノ分科ヲ置クコト、セリ

第一分科 主競技場、水泳場、球技場、室内競技場

第二分科 漕艇、ヨット場、馬術、冬季競技場

一、東京大會デモンストラーション競技種目トシテ排球ヲ採用セラル、ヨウ關係委員ヨリ希望セリ

次回ハ四月二日午後五時半ヨリ體育協務所ニ於テ開催スルコト、シ、午後九時散會セリ

第二回競技場打合せ會記事

四月二日午後五時半體育協務所ニ於テ開催、出席者左ノ如シ  
郷委員長、高島總務委員、明石、松澤、安部、櫻井、佐々木、近、松澤、野村、乘富、石川、木間、淺野(延)、高橋、中山、香山、山崎、宮木、飯田(代理野田)各委員

一、前回議事録ヲ左記ノ通り訂正ノ上承認セリ

第二項「本委員會ハ組織委員會事務局競技部中ノ専門委員會トスルコト、シ、云々」ト事務局ノ三字ヲ挿入

第四項ヲ左ノ通り訂正

一、東京大會競技場ニ付球場ヲ考慮セラル、機關係委員ヨリ希望セリ

一、郷委員長ヨリ兒玉神社局長ト昨日會見ノ結果内務省ノ意圖ト見做サル、點

第三回競技場打合せ會記事

四月十二日午後五時半競技部事務所ニ開催  
出席者  
郷委員長、高島總務委員、宮木主事、小川、白山、飯田、松澤、淺野(延)、中山、明石、淺野(均)、石川、山崎、近、三宅、櫻井、安部、野村、乘富、下津屋、高橋、岸田各委員

一、前回議事録ヲ異議ナク承認

一、競技場委員ノ追加及ビ變更ヲ左ノ如ク承認

一、第一分科會  
榊原氏ハ佐々木道雄氏(排球)、木間氏ハ下津屋俊夫氏(體操)ト何レモ變更

一、第二分科會  
小澤氏ハ安田貞二氏(ヨット)ニ變更、全日本馬術競技聯盟ヨリ石田眞七、松本武雄兩氏ヲ推薦

一、第一回室内競技場委員會ノ報告並ビニ科學施設研究會ノ承認

一、競技場ノ位置ニ就キテハ前回ニ引續キ各委員間ニテ意見ノ交換ヲ行ヒ各競技團體ニテハ更ニ意見ヲ纏メソレニ基キ次回ノ委員會ニテ協議スルコト、決定

一、次回ハ四月十九日(月曜日)午後五時競技部事務所ニテ第一、第二分科會ヲ合同ニテ行フ事ト決定

一、高本日出席ナキ團體ノ委員トハ郷委員長ガ十四日會見ヲ行フコト、セリ以上、散會午後十時半



第四回競技場打合せ記事

時 日 昭和拾貳年四月十九日午後五時半  
場 所 九ノ内 中央亭

出席者 郷、高島、宮木、小川、白山、李、橋本、香山、飯田、田畑(松澤代理)、中山、河合(明石代理)、明石、浅野、均、石川、近、三宅、櫻井、八田、山本、野村、栗富、下津屋、高橋、岸田、遠山、財部、安田(小澤ヨツト)、石田、小西各氏

協議事項

- 一、第三回競技場委員會議事録承認
- 一、委員八田重次郎氏ヲ八田一朗氏(レスリング)ニ變更ノ件承認
- 一、蹴球ハ冬季ニ競技ヲ行フコトハ不可能
- 一、冬季競技ガスケートダクトナラバボブスレーヲ行フコトハ不可能
- 一、会場ヲ左ノ如ク決定
- イ、ホートハ戸田村
- ロ、ヨツトハ横濱
- ハ、馬術ハ馬事公苑ニテク로스カントリーハ東京競馬場近郊(豫定)、障礙ハスタヂアム
- ニ、射撃ハ大久保射撃場使用不可能ニ付適宜ノ處ニ新設決定
- ホ、自轉車ハ芝浦(豫定)
- ヘ、藝術競技ハ既設建築物ヲ使用
- ト、主競技場ハ種宮外苑トシ、具體案ヲ研究
- 一、室内競技場ニ關シ次ノ如ク決定
- イ、第一室内競技場(岸記念體育館)ハお茶の水
- ロ、第二室内競技場ハ三十萬圓程度ヲ適宜行フ
- 一、自轉車専用競技場ガ芝浦ト決定シタ場合ニハ其築造ヲ永久的カ一時的カハ部長一任
- 一、スケート聯盟ヨリ第一室内競技場ニ二十萬圓程度ヲ追加シスケートリンク設備ヲ希望、此ノ研究ハ本委員會ニテ行フ
- 一、體操ヨリモ同前ノ申出希望アリ
- 一、自轉車聯盟ヨリ室内競技場ニ設備希望
- 一、第五回競技場委員會ハ四月二十六日(月)開催

室内競技場第一回打合せ記事

時 日 昭和十二年四月六日午後五時半  
場 所 大日本體育協會事務所

出席者 郷、高島、宮木、小川、李、明石、山本(千)、飯田、岸田、高橋、木間、松澤、浅野(延)、中山(代理岩田)、近各委員

協議事項

- 一、郷部長ヨリ室内體育館建設ニ關シ從來ノ経過ヲ報告
- 一、第一、第二室内競技場ノ建設及設備ニ關シ協議シ次回四月十六日迄ニ岸田委員ニ建築原案作成ヲ依頼
- 一、日本陸上、水上競技兩聯盟ニテ既設ノ競技施設科學研究會ヲ第十二回オリシツク東京大會組織委員會競技部内ニ新設ノ科學施設研究會ニ合流ス
- 一、次回委員會ハ四月十六日午後五時開催

室内競技場第二回打合せ記事

時 日 昭和拾貳年四月十六日(金曜日)午後六時  
場 所 競技部事務所

出席者 郷委員長、高島總務委員、宮木、白山、李、小川、佐々木、三宅、明石、浅野(均)、飯田、松澤、岸田、高橋、下津屋、近、八田、浅野(延)、中山、山本、田畑(岸會館委員)

協議事項

- 一、第一回室内競技場委員會議事録草案中
- イ、出席者中ニ浅野均一氏追加
- ロ、「協議事項」中第二項ヲ「報告」第二項トス
- 一、競技場委員會第一分科會委員中八田重次郎氏ハ八田一朗氏(レスリング)ニ變更ノ件ハ異議ナク承認
- 一、岸記念體育館並ビニ種宮外苑水泳プール改装ニ關シ岸田委員ヨリ説明
- 一、之ヲ對シ陸上ヨリトラックノ一周ハ最少限一五〇米ナル旨、水上ヨリ座席ニ就テノ希望ノ開陳アリ

科學施設研究會第一回例會記事

期 日 四月八日(土)午後五時三十分  
場 所 九ノ内 中央亭本店

出席者 石木、丹羽、小林、志村、渡邊(實)、山口、眞島、堀、渡邊(俊)、渡邊(襄)橋本、今村、今岡、金澤、内藤、岸田、松澤、飯田、島崎、末弘、田畑、野口、明石、住吉、高野、河合、山本、井深、渡谷、郷、宮木、小川、李諸氏

協議事項

- 一、委員會トシテ岸記念體育館ニ主力ヲ集中シ(建設費明細書ハ岸田委員ガ近日中ニ作成、約貳百萬圓程度ノ見込)プール改装費、岸田氏案九拾七萬圓餘ハ經費過大ナルヲ以テ、第二室内競技場ハ補修費貳拾萬圓程度トシ其ノ具體案ハ後日實地ニ當ツテ作成スルコト
- 一、岸記念體育館ノ暖房装置ニ就テハ科學施設研究會ニ研究ヲ委託スルコトト決定
- (附) 岸記念體育館建坪數 體協及ビ加盟團體事務室部(地下一階、地上九階) 一、一五〇坪 室内體育館部 二、一八五坪 内 譯 フイールド部 五七〇坪 座 席 九二〇坪 競技及觀客關係諸席 六九五坪 プール及ホート練習部 九四五坪 記念室及講堂 二八八坪
- 一、オリンピツク準備委員會競技部長郷隆氏ヨリ「從來陸上、水上ノ兩聯盟ニ於テ競技科學研究會ナルモノアリシモ、兩研究會ヲ合シテオリンピツク準備委員會競技部内ニ科學施設研究機關ヲ新設シタキ旨希望」委員異論ナク承認
- 一、從來ノ二競技科學研究會ハ解消シテ科學施設研究會ノ名稱ノ下ニ委員會設立セリ
- 一、郷部長ハ本研究會費用ハオリンピツク準備委員會ニテ負擔、會ノ進行ハ石木委員ニ委託スル事ヲハカリテ可決、委員長ニ推薦ス

研究事項

1. 火藥ヲ用ヒザルピストルノ製作  
閃光、煙、音響ノ出ル裝置ニテ三連發以上ナル事ノ條件ニヨリ製作ハ眞島、佐々木、田口ノ三委員ニテ研究スル事ニ決ス
2. 寫眞(決勝點ニオケル判定用)  
高速度活動寫眞ハ濱松高工福原教授ノモノアレバ眞島委員ヨリ交渉スルコト
3. 寫眞現像  
寫眞現像ハ速急ニ行フ事ニ對シ井深委員等ノ説明アリ。此ノ方面ノ委員不足ニ付キ次回ハ大島善義、福島信之助兩氏ヲ委員ニ加ヘテ小委員ヲ作ル事ニ決定
4. 揭示板  
今岡委員ヨリ電光ニュース式ニスレバ球ノ數、場面ノ大キサ等ノ設備報告アリタリ
5. 雜件  
通信報道ハ競技場外ニ關スルモノハ本會ハ取扱ハザル事トシ、場内ノモノハ研究スル事、競技場内芝生ニ關シテハゴルフ關係ニ適當ナル人アレバ、

冬季競技打合會記事

時 日 昭和十二年四月十六日午後七時
場 所 九比ル 精養軒
出席者 郷、宮木、高島、李(競技部)、小島、小川(スキー)、兩角、小西(スケート)
鈴木(蹴球)

協 議 事 項

- 一、スキーガール場合
二、スキーノ来々場合
三、スケートハ東京ヲ中心ニテ舉行
時期ハ二月一日乃至十一月ヨリ三月ノ間ナラバ差支ナシ
蹴球ハ時期的ニミテスケート同時期ニ行フハ不可能
一、スキー、スケート共ニ來々場合
ホフスレノミナラバ希望セズ
因際スケート聯盟常務委員會ノ日本行クコトヲ希望セズトノ決議ニハ全
然賛成シ、O、C、ニ對シテハ日本開催ヲ希望
一、日本スケート競技聯盟ニテハ七月ノ因際スケート競技聯盟總會ニハO、O、
C、支持ノ下ニ適當ナル人物ガ出席シテ日本開催ニ努力スル事ヲ希望ス

未加盟競技團體打合會記事

四月十九日正午 於競技部事務所
出席者

郷、高島、宮木、小川、白山、李、(競技部)、大谷(重量挙げ)、鈴木、中園
(ハンドボール)、北澤(自転車)、兒島(射撃)、高野、二瓶(フエンス)
協 議 事 項

- 一、射 撃
イ、場所ハ大久保陸軍射撃場ガ技術的ニ使用不可能ニ就キ別ニ關係者ニ於テ
選定スル
ロ、競技場新造ノ經費ハ約四、五萬圓(土地ハ別)デ、俱樂部ハウス等マデ
含ム
ハ、四月二十四日ニ全日本射撃協會(會長奈良大將)發會式ヲ行フ、前記射
撃場ノ問題ハソノ協定ニ處理スル
ニ、昨日ハ伯林大會ニ準ズルガクレ(米式)ノ開催モ希望シ、個人競技ヲ
主トスル
ホ、プログラムハ三日間デクレイソヤレバ更ニ二日延長
ヘ、銃器ノ故障ハ差支ナク修理出來ル
ト、競技用ノ銃器、實彈等ノ開稅解決ノ方法ヲ希望
一、重 量 舉 げ
イ、競技場ハレスリング競技等ヲ併用スル
ロ、器具ハ内地製デ可、準備ハ十個程度
ハ、練習場ノ設備ニ對スル希望
一、自 轉 車
イ、綜合競技場ガ不可能ノ際ハ會場ハ芝浦(專用)一周五百米デ走路ハベト
ンヲ希望、観客收容數ハ約三萬人ヲ希望スルガ根本的施設ニ經費ヲヨリ投
ズルナラバ一萬人モ仕方ナシ、走路ダケハ夜間電光照明ガ必要
ロ、綜合競技場ノ場合ハマラソン、走路等ト併用、亦用競技場ノ場合ニハロ
ドレニスハ分離スル
ハ、トラック競技ハ三日間デ夜間、一日休ミ、ロードレニスハ一日デ午前中
ニ出發
ニ、ロードレニスハ百キロ以上二百キロノ豫定
ホ、ロードレニスノ發着點ニハ木製スタンド、五十センチ毎ニ水飲場、電話
設備希望
ヘ、審判構成ハ外人モ入レル
ト、競技用自轉車ハ準備ノ必要ナシ、修繕器具モ内地製デ充分
チ、室内競技場ニモ自轉車走路ノ考慮ヲ希望

雜 報

一、ガイランド氏來朝
兼ニ第十二回オリンピック大會東京招致ニ多大ノ努力ヲ拂ハレタル米國
I、O、C委員ウキリアム、メイ、ガイランド氏ハ夫人及令息夫妻同伴去ル
四月十五日入京帝國ホテルニ投宿セリ、翌十六日新宿御苑ニ於ケル觀禮會ニ
ハ畏クモ御名ヲ辱ウシ且且拜謁ヲ賜リテ破格ノ光榮ニ浴シ非常ニ恐懼感激セ
リ、又本會、體協共同主催ノ芝紅葉館ニ於ケル歡迎晚餐會ヲ初メ徳川會長、
副島委員、嘉納委員、米國大使、外務次官主催ノ午餐會ニ市長招待ノ園遊會、
歌舞伎座觀劇會ニ連日歡待ヲ受ケ頗ル満足セリ、尙外苑競技場ヲ視察シ其ノ
風致施設完備セルニ驚嘆セリ、斯クテ在京ノ日程ヲ終ヘ四月二十三日東京發
箱根ニ赴キ關西遊覽後滿鮮支那地方ヲ視察ノ豫定ナリ。
一、徳川會長招宴
徳川會長ハワルソニ會議日本代表組織委員副島伯爵ノ送別ヲ兼テ組織委員
會關係者一同ヲ四月二十七日正午滿鐵ビル内エトアールニ招待午餐會ヲ開催
セリ。
一、副島委員出發
ワルソニ會議ニ出席ノ日本代表組織委員伯爵副島道正氏ハ競技部屬託李相
伯氏ヲ隨ヘ四月二十八日午後三時橫濱解纜ノ龍田丸ニテ出發セリ。
前 號 申 訂 正
總務委員會第一部長委員欄中
大日本體育協會理事ヲ大日本體育協會常務委員ニ
總務委員會第二部長委員欄中
大日本體育協會理事ヲ東京市囑託ニ

ウキリアム・メイ・ガーランド氏國內放送要旨

ガーランド氏ハ四月二十日午後六時二十五分左ノ如キ國內放送ヲナセリ

私ハ貴國ニ参リマシテ僅ニ五日ニ過ギマセンガ、皆様ノ心カラナル歡迎ヲ受ケマシテ、初メテ訪問シタトハ思ヘナイ程ノ心安サヲ感ジテオリマス。殊ニ天皇、皇后兩陛下ニ謁見ヲ賜ツタ事、觀禮ノ御宴ニ召サレタ事、崇高ナ明治神宮ヲ拜シ、美シイ日光ノ東照宮ヲ訪ツタ事等、身ニ餘ル光榮ト存ジ、心カラ感謝シテ居ル所デアリマス。一九四〇年東京ニ開催サレル第十二回オリンピック大會ニ關シテ市民ノ皆様ニ一言御挨拶ヲ述べル機會ヲ得マシタ事ハ私ノ最モ光榮トスル所デアリマス。此ノ年ハ皆様ニトツテハ紀元二千六百年祭ニ當ル最モ紀念スベキ年デアリ、又皆テ無イ程多數ノ外國人ガ來訪スル年トモナル事ト思ヒマス。私ハロサンゼルス市ガ第十回大會ヲ開催スル名譽ヲ荷ツク時、得マシタ種々ノ經驗カラ、東京大會ガ豪華ナ選手ヲ競争ノ事ナク、日本ヲ訪問シタ諸モガ感シル様ナ、所謂日本ノ自然ナ親ミアル方法デ成功ヲ修メラル、事ヲ希望シテ止ミマセン。私ハ第十二回大會ガ必ズコノ大會ニ比シテ優ルトモ劣ラズト確ク信ジテ居ル者デアリマス。カ、ル大事業ハ準備ニ充分ノ時ヲ要シマス。然ラザレバ、後ニナツテアワテル様ナ事ニナルデセウ。

又各因カラ多數ノ選手ヲ見物人ヲ送ツテ來ルデセウ、ソシテ皆様ガ彼等ヲ大歡迎シテ下サルコトモ信ジテ居リマス。日本ノ選手達ハスポーツ精神忍耐力ニ於テ世界一デアリマス。ソシテ多數ノ外國選手ヲ友人ニ持ツテ居リ、ソノ友等ハ又大會ニ見ユルコトヲ心カラ希望シテ居リマス。徳川家達公ヲ會長トシテ有名ナ方々ノオ集リノ組織委員會ガ責任ヲ以テ一九四〇年ノ大會ヲ開ク準備ヲシテ居ラレマスガ、コノ方々ハ内外ニ著名ナ且運動ニ精通シテ居ラレマス事ユヘ、大會ニ件フ色々ノ困難等ハ立派ニ切リメケラレテ大成功ヲサレル事ト確信致シマス。コノ方々ヲ信頼シ激勵スルコトハ皆様ノ義務デアルコトヲ忘レテハナラヌデセウ。私達アメリカ人ハ最近ノ經驗カラ得ク知識ヲオ役ニ立テテク思ツテ居リマス。オリンピック大會ハ國際的和解、理解アル友情等ニ大キナ役目ヲ持ツテ居

リマス。此ノ氣持ヲ發展、擴大スルコトハ皆様方ノ努力ニ依ルトイフ事ヲ忘レナイデ下サイ。

會長ハイエ・ラツール伯ヲ初メオリンピック委員ハ大會ノ成功ニ多大ノ關心ヲ有シテ居リマス。平和ト友情ノ表象デアアルオリンピックノ聖火ガ最後ニハ世界中ヲ照ラステアラウ……トインノガ皆ノ信念デアリマス。約五年前私ハロサンゼルス市ノ廣大ナスデーヂアムデ開會ノ際各國選手ノ中ニ貴國ノ若人達ガ元氣ニ滿チテ行進ヲシテ居ルノヲ見マシタ。又競走ニ、跳躍ニ、水泳ニ、乗馬ニ何回トナクポール高ク日ノ丸ヲ掲ゲ全世界ノ尊敬ノ的トナツクノヲ拜見シマシタ。私達カリフォルニア特ニロサンゼルスニ居リマス者ハ、代表者達ノ清イシク、私達カルフオルニヤ特ニロサンゼルスニ居リマス者ハ、代ハオ五ヲ親シマセ、又日本人トハ此ンナ人々デアアルトインノ好イ知識ヲ與ヘテ吳レクノヲ知ツテ居リマス。貴國ノ選手達ハ只我々ニ好感ヲ與ヘク許リテナク、各個人ヲシテ貴國ヲ訪問シタイ慾望ヲ起サセソシテ今ソノ機會ガ來タノデアリマス。

私モ皆様ト共ニ此ノ美シイ東京大會ヲ開催スルト云フ誇リト喜ビラ味ハセテ戴キ度イト思ヒマス。唯一ツ私ノ遺憾ニ思ヒマス事ハ、私ノ親友デアアル岸博士ガ、一生ノ希望デアツク大會ノ實現ヲ見ズニ逝カレク事デアリマス。併シ副島伯ヤ、嘉納氏ガ後繼者トナツテ、本大會ニ盡力セラレマスノデ、コノ大會ガ必ズオリンピック史上ニ立派ナ記録ヲ殘ステアラウト固ク信ジテ居リマス。

コノ競技ハ單ニ日本ノミノモノデナク、國際的ノモノデアリ、各國ノ參與スルモノデアルコトヲ忘レヌ様、全世界ガソノ成功ヲ熱望シテ居ルノデアリマス。私ノ親友ノ副島伯ノ云ハレル様ニ東京大會招致ニ關シ私ガオ役ニ立ツクトスレバ來ルベキ一九四〇年ノ大會ニ對シ同様御役ニ立チテイト思ツテ居リマス。コ、ニ再ビ私並ニ一行ニオ與ヘ下サイマシタ御懇篤ナル御待遇ニ深く感謝致シマス。

サヨナラ

印刷所 (中屋三間印刷株式會社)



第十二回オリンピック  
東京大會組織委員會

# 會報

第參號

昭和十二年五月二十日發行

日本商工會議所會頭野重九郎氏ヲ新ニ委員ニ推薦  
赤坂區茨町滿鐵ビル四階  
電話赤坂(48)三〇一五番

(以印刷代贈寫)

## 辭令

事務局長事務囑託 中 野 慶 三  
 囑託ヲ解ク(五月八日附) 中 野 慶 三  
 任事務局長書記 青 木 節 一  
 總務部勤務ヲ命ス(五月八日附) 青 木 節 一  
 國際文化振興會主事 青 木 節 一  
 總務委員會第二部委員ヲ委囑ス(五月十四日附) 青 木 節 一

## 議事錄

### ○組織委員會

#### 第十四回組織委員會議事錄

四月二十三日午後二時半ヨリ滿鐵ビル事務局會議室ニ於テ開催、徳川會長、牛塚、大島兩副會長、嘉納、副島、梅津、山本、河原、門野、平沼、徳原(代理)、野澤都市計劃課長、富安(代理本多通信技師)、喜安(代理田觀光局長)、各委員、久保田事務局長、草間、宮本各幹事、廣田、野口、小野寺各書記出席

報告事項

一、組織委員會委員變更ノ件  
 東京市會議長松永東氏ヲ赤坂成氏ニ代リテ新ニ委員ニ推薦

日本商工會議所會頭野重九郎氏ヲ新ニ委員ニ推薦  
 一、事務局技師部長ニ醫學博士郷隆氏ヲ委囑セリ  
 一、總務委員會第一部委員ニ左記三氏ヲ委囑セリ  
 文部省體育課長 岩 原 時  
 東京市秘書課長 草 間 文  
 大日本體育協會常務委員 高 島 雄  
 情報委員會第二部委員ニ左記諸氏ヲ委囑セリ  
 外務省情報部第二課長 川 野 隆  
 文部省文書課長 阿 野 盛  
 鐵道省運輸局旅客課長 木 村 隆  
 國際觀光局長 高 田 規  
 同、事業課長 高 野 誠  
 東京市囑託 廣 田 寛  
 大日本放送協會報道部長 成 富 保  
 大日本放送協會調査部長 松 方 達  
 日本旅行協會事務理事 高 久 三  
 一、第一回第二回常務委員會議事錄朗讀承認  
 一、前回議事錄朗讀承認

協 議 事 項

一、昭和十二年四月五日日本會經費歲入出豫算ハ原案通り異議ナク承認セリ  
 一、昭和十一年度本會經費收支決算ハ原案通り異議ナク承認セリ  
 一、ワルソイ會議出席ノI.O.C委員ニ本會事務委員ノ件  
 同會議ニ出席スルI.O.C委員ニ本會事務委員ヲ委囑スルコトニ決定セリ  
 一、ワルソイ會議派遣員ノ件

同會議出席ノI・O・C委員ヲ補助スル爲メ職員トシテ本會競技部副部長相  
 前氏及在米ノ松本瀧藏氏ヲ派遣スルコトニ決定セリ  
 尚同會議ニ開ニ合フ期間ニ於テ事情許セバ更ニ今後二、三名ヲ派遣スルモ差  
 支ナキ旨豫メ承認セリ  
 一、前二項ニ關スル旅費ノ件  
 前二項ノI・O・C委員及派遣員二名ノ旅費トシテ金貳萬壹千五百圓ヲ補助  
 スルコトニ決定セリ  
 一、選手優遇ニ關スル件  
 オリンピック村ノ經費ヲ一人一日一弗(米貨)トスルコト  
 汽車、汽船ノ割引ハオリンピック特別割引ノ他東京市ノ支出スベキ旅費補助  
 費百萬圓ヲ加フレバ約五割程度ノ割引トナル見込ミナリ  
 右ヲワルソノ會議ニ報告スルコト、ス  
 一、競技種目ニ關スル件  
 イ、ハンドボールハ參加國少ナキ見込ト我國ニ於テ未ダ發達シ居ラザルヲ以  
 テ開催ヲ希望セズ  
 ロ、文學(藝術競技中)ハ開催ヲ希望ス  
 ハ、フエンシングヲ希望セザル種目ニ入レルニ對シテツル伯ヨリ抗議ア  
 リケリ、右ハワルソノ會議ニ於テ我々希望ハ拒絶セラル、ヤモ知レザルヲ以  
 テ政策的ニモ開催希望種目中ニ入ル、方可ナラント副島委員ヨリ意見ノ申  
 出アリケリ  
 一、聖火リレーニ關スル件  
 經費、方法等ニ相當困難ヲ生ズベキヲ以テ舉行セザルコト、ス  
 一、シユミツト氏ノ申出ニ關スル件  
 シユミツト氏ヨリ組織委員會在歐代表者ヲラントスル申出(第十回委員會議  
 事録參照)ニ對シテハ、經費其他ヲ考慮シワルソノ會議ニ於テI・O・C委  
 員ニ可然善處セラル、様希望セリ  
 一、クリンゲベルグ氏招聘ニ關スル件  
 副島委員ヨリ、クリンゲベルグ氏ト會見ノ節同氏招聘ノ時期、滞在期間等ニ  
 付協議スベキ旨申出アリ、承認、  
 次回ハ追テ通知スルコト、シ午後四時散會セリ  
 (註) 第十二回オリンピック東京大會開催ニ關シ昭和十一年十二月七日午後  
 五時ヨリ帝國ホテルニ於テ第一回懇談會ヲ開催後同年十二月二十四日  
 迄ノ間ニ數回ノ懇談會並ニ打合せヲ開キシ結果、十二月二十四日ノ第

○常務委員會

第三回常務委員會會議事錄  
 四月二十三日午後零時半事務局長室ニ於テ開催、大島副會長、河原常務委員、  
 嘉納、副島兩委員、久保田事務局長、草間、宮本各幹事、廣田、野口各書記出席  
 一、前回議事録朗讀確認  
 一、決算承認ノ件  
 昭和十二年一月乃至三月組織委員會事務費收支決算報告書ハ原案通り異議ナ  
 ク承認セリ  
 一、ポルト競技場位置決定ノ件  
 右ハ調査未了ノ爲メ決定ヲ延期スルコト、セリ  
 一、選手優遇ニ關スル件  
 オリンピック村ノ經費ハ一人一日一弗(米貨)ト決定、又汽車、汽船貨ノ割  
 引ハ未ダ決定ニ至ラザレドモ約四、五割程度ノ割引ヲ得ル見込ナリト事  
 務局長ヨリ報告セリ  
 一、競技種目ニ關スル件  
 調査ヲ要スベキ競技種目中「ハンドボール」ハ開催ヲ希望セズ、藝術競技中  
 ノ「文學」ハ開催ヲ希望スルコト、決定  
 一、聖火リレーニ關スル件  
 「アテネ」ヨリ聖火リレーハ成ルヘク舉行セザルコトトス、但シ之レヲ舉行  
 セザルヲ得ザル場合ハ日本内ニテ舉行スルコトヲ考慮ス  
 一、ワルソノ會議出席ノI・O・C委員ニ本會事務委員ノ件  
 ワルソノ會議ニ出席スルI・O・C委員ニ本會ノ事務ヲ委嘱スルコトトセ  
 リ  
 一、ワルソノ會議派遣員ノ件  
 競技部副部長相氏及在米ノ松本瀧藏氏ヲ派遣スルコトニ決定セリ  
 一、前二項ニ關スル旅費ノ件

右ニ關スル旅費補助トシテ金貳萬壹千五百圓ヲ支出スルコトトセリ  
 一、總務委員會第二部委員追加ノ件  
 第二部委員トシテ東京市文書課長吉山真樺氏及國際文化協會青木節一氏ヲ追  
 加スルコトニ決定セリ

○總務委員會

總務委員會第二部委員會

(宣傳) 第四回會議記錄

四月三十日午後二時ヨリ滿鐵會議室ニ於テ開催、田、阿原、川面、久富、松方  
 高田、高久、成澤、本野ノ各委員、事務局側ヨリ久保田、宮本、草間、高橋、  
 西四辻其他出席

協議事項

一、オリンピック本年度内實施宣傳計畫  
 (イ)、オリンピックノ宣傳ニ付テハ義ニ情報委員會ニ於テ決定セラレタル宣  
 傳方針大綱ニ基キ、内ニ對シテハオリンピックノ精神ヲ發揚、意義ノ徹底、  
 國民ノ之ニ對スル態度ニ付テハ指導、國民ノ協力的氣運ノ促進等ヲ圖ルコ  
 ト又外ニ對シテハ日本精神ノ昂揚併セテ我國文化ノ紹介、我國産業發達ノ  
 宣示其他ヲ以テ參加選手或ハ外人ノオリンピックヲ觀覽客ヲ多數誘致スル  
 コトニ決定  
 (ロ)、オリンピックノ宣傳ニ付テハ既存ノ宣傳機關及在外諸機關ニ宣傳ノ協  
 力ヲ請フヤウ依頼シ特ニ經費ヲ支出シ爲ス宣傳ハ適當リ對外宣傳ニ殊ニ  
 參加選手ノ勸誘ニ主力ヲ傾注スルコトトシ本年度ノ第一次の宣傳計畫トシ  
 テ印刷物調製ハ左ノ如ク決定ス  
 一、オリンピック、ニュース  
 毎月英、佛、獨語一萬部  
 外ニ隔月西語版  
 一、ポスター  
 六萬枚  
 一、シ  
 百萬枚  
 一、オリンピック・インフォメーション  
 一萬部  
 一、スポーツ・イン・ジャパン  
 一萬部  
 (ハ)、本年度ノ第一次の宣傳計畫ノ豫算ハ左ノ通り決定ス  
 一、人件費 四五六〇〇〇

内

一、庶務掛專任 二名  
 月二〇〇〇圓位ノ者及月八〇〇圓位ノ者各一名  
 (イ)、對外宣傳掛專任月一〇〇〇圓位ノ者一名  
 二、印刷物調製費 一〇、九五〇〇〇  
 内 譯  
 (イ)、オリンピック・ニュース 一、八〇〇〇〇  
 [毎月一萬部英、佛、獨語]  
 [隔月千部西語]  
 (ロ)、ポスター (六萬枚) 六〇〇〇〇〇  
 (ハ)、シール (百萬枚) 六五〇〇〇  
 (ニ)、オリンピック・インフォメーション (一萬部) 一、五〇〇〇〇  
 (ホ)、スポーツ・イン・ジャパン (一萬部) 一、〇〇〇〇〇  
 三、ポスター共ノ他圖案料 三、五〇〇〇〇  
 四、發送費 二、四五〇〇〇  
 内 譯  
 (イ)、オリンピック・ニュース 二、二〇〇〇〇  
 (ロ)、ポスター 六、五〇〇〇〇  
 (ハ)、シール 二、五〇〇〇〇  
 (ニ)、オリンピック・インフォメーション 二、〇〇〇〇〇  
 (ホ)、スポーツ・イン・ジャパン 一、五〇〇〇〇  
 五、翻譯料其他諸雜費 三、〇〇〇〇〇  
 合 計 三三、四六〇〇〇  
 一、ポスター、マーク等ノ圖案ノ件  
 ポスター作成ニ付テハ成澤委員ヨリ前回は於テ體育藝術協會ト打合ノ結果ノ  
 報告アリ結局ポスター圖案ハ懸賞募集ニ依ルコトトシ其ノ内容ニ付テハ次回  
 會議ニ於テ協議決定トナル  
 一、報告事項  
 一、宣傳部案内掛ノ組織ノ件  
 一、高久委員ヨリ案内掛ノ組織及其ノ擔當者左ノ如ク決定シタル旨報告アリ之ニ  
 要スル事務費ニ付テハ當分ジャパン・ツウリス・ビュローニ於テ負擔シ  
 其ノ額相當額ニ達スルニ至ラザルトキハ更メテ其ノ經費ノ支出ヲ請フ旨附加

記  
庶務 南方 愛守  
人 澤村 愛守  
技 小宮 山 徳  
木 良 徳  
香 月 善 次  
調 査 香 月 善 次

宣傳部案内  
邦 人 澤村 愛守  
(栗田正四郎)

ビュロー側ニ於テハ澤村愛守ヲ、事務局側總務部ニ於テハ西四辻公利ヲ、  
競技部ニ於テ鈴木良徳ヲ聯絡者ニ指名

總務委員會第二部委員會  
(宣傳) 第五回會議記錄

五月五日午後二時ヨリ滿鐵會議室ニ於テ開催阿原(代)、川面、久富、松方、  
高田、成澤、本野ノ各委員、大日本體育協會ヨリ渡澤、矢澤、小野寺、事  
務局側ヨリ久保田、草間、高橋、白山、西四辻其ノ他出席

協議事項  
一、オリンピック東京大會海外宣傳用ポスター及オリンピック・マーク懸賞募  
集ノ件  
本議題ニ付テ提案者成澤委員ヨリ説明アリテ審議ノ結果左ノ規定ニ依リ懸賞  
募集スルコトニ決定

(一) オリンピックポスター懸賞募集  
第十二回オリンピック東京大會組織委員會ハ東京大會ヲ廣ク海外諸國ニ宣  
傳スル爲メ左ノ規定ニ依リポスター懸賞募集ヲ行フ

一、賞金 (一) 金壹千圓也  
          (二) 金參百圓也  
          (三) 金貳百圓也  
          (四) 金貳百圓也

一、締切 昭和十二年六月卅日(同日中到着ノコト)  
一、審査 審査ハ左記審査員ニ於テ嚴正ニ之ヲ行フ

事務局長 久保田敬一 第二部委員 田 誠  
大日本體育協會 伊 藤 廉 同 猪熊源一郎  
美術協會 西山翠 同 星野辰男

一、本懸賞募集ニ關スル問合セニ對シテハ一切應答セズ  
昭和十二年五月

主 催 第十二回オリンピック東京大會  
組 織 委員會  
贊 助 大日本體育協會

一、規則書ハ左ノ個所ニテアリ  
一、東京市赤坂區芝町滿鐵ビル内オリンピック事務局  
一、ジャパントーリスツ・ビュロー各案内所  
一、東京市役所建設案内所  
一、主ナル寫眞及繪具材料店  
但シ郵送希望者ハ郵券封入オリンピック事務局ヘ請求ノコト

一、規則書ハ左ノ個所ニテアリ  
一、東京市赤坂區芝町滿鐵ビル内オリンピック事務局  
一、ジャパントーリスツ・ビュロー各案内所  
一、東京市役所建設案内所  
一、主ナル寫眞及繪具材料店  
但シ郵送希望者ハ郵券封入オリンピック事務局ヘ請求ノコト

一、大サ 縦一米(三三寸) 横〇・六五米(二尺一寸余)

一、色彩 隨意

一、第十二回オリンピック東京大會ノポスタータルコトガ一見明瞭ニシテ迫力  
アルモノ

一、懸賞作品ハ日本畫、洋畫(油、水彩、グワツシユ、ポスターカラー等)版  
畫、圖案、寫眞(一部ニ應用スルモノ可シ)等ノ何レニテモ可

一、作品ニハ必ず五輪マークヲ配スルコト

一、作品ノ適當ナル場所ニ左ノ英字ヲ配スルコト  
Kilometer For 100

一、右字體ハ隨意ナルモ分リ易キモノナルコト

一、入選作品ト雖モ修正ヲ施スコトアルベシ

一、懸賞作品ハ返戻セズ

一、入選作品ノ版權ハ第十二回オリンピック東京大會組織委員會ニ歸屬ス

一、宛名ハ東京市赤坂區芝町滿鐵ビル四階オリンピック事務局トシ「懸賞ポス  
ター」ト明記スルコト

一、懸賞者ノ住所氏名ハ作品ノ右下ニ墨書シ、ソノ上ヲ紙ニテ蔽フコト

一、本懸賞募集ニ關スル問合セニ對シテハ一切應答セズ  
昭和十二年五月

主 催 第十二回オリンピック東京大會  
組 織 委員會  
贊 助 大日本體育協會

(二) オリンピック・マーク懸賞募集  
第十二回オリンピック東京大會組織委員會ハ同大會ノ標識タルオリンピック

一、用紙ハ葉書又ハ葉書大ノ厚紙ニ限ル  
一、色彩ハナルベク單一色ノコト  
一、作品ニハ必ず五輪マークヲ配スルコト  
一、入選作品ト雖モ修正ヲ施スコトアルベシ  
一、入選作品ノ版權ハ第十二回オリンピック東京大會組織委員會ニ歸屬ス  
一、懸賞作品ハ返戻セズ  
一、宛先ハ東京市赤坂區芝町滿鐵ビル四階オリンピック事務局マーク係ト明記  
スルコト  
一、懸賞者ノ住所氏名ハ用紙ノ裏面ニ記載スルコト  
一、一人ニテ何種懸賞スルモノ可但シ一案毎ニ別葉ヲ用フルコト

一、要旨 第十二回オリンピック東京大會ノ標識タルコトヲ簡明  
瞭ニ表現スルコト

一、賞金 一等一名 金參百圓也  
          二等三名 金五拾圓也  
          佳作三名 金五拾圓也

一、使途 一等當選ヲ公式標識トシ、トロワイ、徽章、旗建築、  
バツチ等總テ第十二回オリンピック東京大會ヲ正式ニ代表スルモノニ  
用ヒンノ他オリンピック・マークトシテ一般的ニ使用ヲ懇望スルモノ  
ハ佳作中ヨリ之ヲ選定ス

一、締切 昭和十二年六月卅日(同日中到着ノコト)  
一、審査 審査ハ左記審査員ニ於テ嚴正ニ之ヲ行フ

事務局長 久保田敬一 第二部委員 田 誠  
大日本體育協會 石井柏亭 同 富本慈吉  
美術協會 和 田 三 造 同 川 端 龍 子  
同 高 村 豐 周 同 津 田 信 夫  
同 鶴 井 克 之 同 中 村 岳 陵  
同 矢 澤 弦 月 同 松 岡 映 丘  
同 佐 藤 武 夫 同 廣 川 松 五 郎  
同 日 名 子 實 三

一、發表 昭和十二年七月十日發行ノ第十二回オリンピック東京大會組  
織委員會會報誌上ニテ爲メ外直接本人ニ通知ス

懸賞要項

一、本懸賞募集ニ關スル問合セニ對シテハ一切應答セズ  
昭和十二年五月

主 催 第十二回オリンピック東京大會  
組 織 委員會  
贊 助 大日本體育協會

一、規則書ハ左ノ個所ニテアリ  
一、東京市赤坂區芝町滿鐵ビル内オリンピック事務局  
一、ジャパントーリスツ・ビュロー各案内所  
一、東京市役所建設案内所  
一、主ナル寫眞及繪具材料店  
但シ郵送希望者ハ郵券封入オリンピック事務局ヘ請求ノコト

一、規則書ハ左ノ個所ニテアリ  
一、東京市赤坂區芝町滿鐵ビル内オリンピック事務局  
一、ジャパントーリスツ・ビュロー各案内所  
一、東京市役所建設案内所  
一、主ナル寫眞及繪具材料店  
但シ郵送希望者ハ郵券封入オリンピック事務局ヘ請求ノコト

一、規則書ハ左ノ個所ニテアリ  
一、東京市赤坂區芝町滿鐵ビル内オリンピック事務局  
一、ジャパントーリスツ・ビュロー各案内所  
一、東京市役所建設案内所  
一、主ナル寫眞及繪具材料店  
但シ郵送希望者ハ郵券封入オリンピック事務局ヘ請求ノコト

記事

オリンピック参加選手ニ對スル  
優遇方法協議會記錄

四月三十日午後四時ヨリ滿鐵會議室ニ於テ外務省、鐵道省、逓信省、日本郵  
船、大阪商船、滿鐵トオリンピック宣傳部關係者ト協議會ヲ開催出席者左記ノ  
通り

事務局長 久保田敬一  
逓信省船務課長 井 奥 義 光  
國際觀光局長 高 田 誠  
同 事業課長 高 橋 田  
同 事務官 高 橋 田  
東京市役務課長 草 間 時 藏  
同 主計課長 安 井 大 司  
日本郵船船務課長 永 井 義 光  
大阪商船支店長代 本 間 治 吉  
滿鐵東京支店長代 中 澤 不 二  
日本旅行協會 高 久 甚 之  
事務局競技部 宮 木 昌 常

事務局長 西 四 辻 公 利

協議事項
第十二回オリンピック参加選手ニ対スル選考等問題ニ關スル件
久保田局長ヨリ打合せ開催ノ趣旨ヲ述べ挨拶アリタル後東京大会ニ参加スル

- 一、日本郵船會社
二、大阪商船會社
三、近海郵船會社
四、鐵道省
五、朝鮮總督府鐵道局
六、滿洲鐵道
七、日本ホテル協會

第一回競技部委員會記事

時 日 四月二十六日午後四時半
場 所 競技部事務所
出席者 郷、白山、小澤(陸上)、松澤(水上)、山崎(ホッケー)、山本(レスリング)、

近(拳闘)、小澤(ヨット)、石田(馬術)、朝生(鈴木代)、鈴木(蹴球)、宮木(滑艇)、森(龍球)、小林(龍球)、小川(スキー)、小西(スケート)各委員
協議事項
一、部長ヨリ競技部委員會ノ職分、方針ノ説明アリ、之ヲ諒トス

第二回競技部委員會記事

時 日 昭和十二年四月三十日午後五時半
場 所 競技部事務所
出席者 郷、山崎、山本、小澤吉、石田、鈴木、宮木、森、小林、小川、小澤豊、松澤、近、

協議事項
一、郷部長ヨリ競技部委員會ノ経過宣傳部ノ諸計畫及ビ副島伯、李氏出發ヲ報告
二、宣傳部ヨリ發行スル「スポーツ・イン・ジャパン」ハ競技部トシテハ白山源三郎氏擔當、同氏ヲ通シ競技部委員ト連絡スルコト

第三回競技部委員會記事

時 日 昭和十二年五月七日午後六時 於事務所
出席者 郷、松澤(水上)、山崎(ホッケー)、山本(レスリング)、小澤(ヨット)、石田(馬術)、鈴木(蹴球)、宮木、清庭、妹尾(小林代)龍球、小川(スキー)、小西(スケート)、小澤(陸上)

協議事項
一、郷部長ヨリ競技部委員會、宣傳部、ノ件ニ關シ夫々報告アリ、之ヲ諒トス
二、科學施設研究會ノ構成ニ關シ郷部長ヨリ説明アリ、之ヲ諒トス

第五回競技場打合せ記事

時 日 昭和十二年四月二十六日午後五時三十分
場 所 九ノ内ビルディング競技部事務所
出席者 郷部長、宮木主任、小川主任、白山、小澤、松澤、小西、山本(干)、近、山崎、財部、櫻井、八田、石川、飯田、香山、岸田、明石、遠山、鈴木、石田、中山、野村、高島、高橋、河合、淺野(均)、田畑委員

報告事項
一、岸田委員ヨリ明治神宮競技場及プールノ改修計畫ニ關シテ説明アリ
二、郷部長ヨリ改修費概算ハ岸田氏ニ於テ更ニ調査ノ上報告、

第六回競技場打合せ記事

時 日 昭和十二年五月五日午後六時半 於中央亭本店
出席者 郷、白山、松澤、田畑(飯田)、淺野延、中山、明石、河合、石川、山崎、近、櫻井、八田、山本、野村、乘富、下津屋、高橋、岸田、東、遠山、小川小澤(財部)、石田、松本、小西、淺野均(常務委員)

協議事項
一、第五回記事中左記ヲ追加及ビ削除シ承認
イ、出席者中ニ淺野延氏追加
ロ、「報告事項」中第三項(ホ)中レスリングヲ削除
一、郷部長ヨリ各方面ト折衝ノ結果ヲ報告
一、競技場委員會トシテノ決定案ヲ數回ニ渉ル協議ノ結果ニ基キ立案、郷委員長、岸田委員及ビ競技部ニテ具體案ヲ作成シ組織委員會事務局長ニ提出スルコト、決定
一、自轉車競技場ハ芝浦以外ニ好適地アレバ變更モ業支ナシ

記委員ヲ委嘱スルコトニ決定

自轉車競技 中 園 進 氏
射撃競技 兒 島 富 雄 氏
藝術競技 小 野 寺 永 藏 氏
重量 大 谷 武 一 氏
尚フエニシング競技ニ就テハ適任者ヲ知ラザルメ大日本アマチュアフェンシング協會ニ適任者ヲ通知シ改メテ委嘱

各競技團體ノ實行ニ移シ得ラレル具體案

(イ) 陸上競技場ハ現在ノ外苑競技場ヲ多少改造シ、觀覽席(スタンド)ハ現在ノモノヲ改造シ六萬人ヲ收容シ得ルモノニ改造スル事
(ロ) プールハ外苑プールノ北側及西側ノ觀覽席(假スタンド)ノ土積リヲ全部南側觀覽席同様ノスタンドヲ設置シ、完全ナル濾過、消毒装置ノ設備ヲ行フ事

雑報

テ述ベタルモノニシテ大会ノプログラムヲ區別シクルモノナラザルコト  
一、科學施設研究委員トシテ一、二委員ノ推薦アリクルモノモ右ハ同委員會ニ意圖  
ヲ傳ヘルコトニ留メルコト

一、組織委員會委員門野重九郎氏ハ日本經濟使節團長トシテ歐米方面へ出向中  
一、新聞記者室設置

オリンピック組織委員會事務局中四百六號室ノ一部ヲ區切り「オリンピック  
記者室」ヲ設置セリ

一、クイベルタン男義捐金發送  
義ニI.O.C.委員長ラツール伯爵ヨリ會長宛申込アリシI.O.C.名譽會長ク  
イベルタン男義捐金四百ポンド也スイス國ヴァードワース銀行クイベルタ  
ン資金口座宛發送セリ、

前號・中訂正

二頁 上段第廿九條中

規知ハ 竊知ニ

同頁 下段第三十八條中

報ズハ 報告スニ

三頁 事務局職員俸給表中

主事技師ノ年俸欄へ「十一級」ヲ加入

書記技手ノ月俸欄中「上四五」「上三五」ヲ削除

「下四〇」「下三〇」ヲ削除

印刷所(中屋三間印刷株式会社)





第十二回オリンピック  
東京大會組織委員會

# 會報

第四號

昭和十二年六月一日發行  
第十二回オリンピック東京大會組織委員會事務局  
赤坂區英町滿鐵ビル四階  
電話 赤坂(48)三〇一五番

(以印刷代駁寫)

## 規程

第十二回オリンピック東京大會組織委員會事務局職制  
中左ノ通改正ス

昭和十二年五月廿四日

- 第二條中「部長、若干名」ノ次ニ「參事 若干名」ヲ加フ
- 第三條第二項中「主事」ヲ「參事」ニ改ム
- 第四條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
- 參事ハ上司ノ諮問ニ應ジ部ノ事務ニ付意見ヲ述フ
- 第五條第七條ニ改メ其ノ前ニ左ノ二條ヲ加フ
- 第五條 必要ニ應ジ專門委員ヲ置ク部長ノ諮問ニ應ジ大會實施ニ須要ナル事項ノ調査研究ヲ掌ル
- 前項ノ委員ハ各部門ニ分チ委員會ヲ組織ス
- 委員長ハ委員ノ互選ニ依ル
- 第六條 專門委員ハ會長之ヲ委囑ス

## 辭令

事務局事務ヲ囑託ス  
本 間 雪 子  
總務部勤務ヲ命ス(五月二十四日附)

## 議事錄

### ○組織委員會

#### 第十五回組織委員會議事錄

五月十八日午後二時ヨリ滿鐵會議室ニ於テ開催、徳川會長、大島副會長、嘉納、梅津、山本、河原、松本、大久保、堀内(代理本野情報部第二課長、篠原(代理兒玉神社局長)、富安(代理本多通信技師)、喜安(代理田親光局長、門野(代理中野日本商工會議所副會頭)各委員、久保田事務局長、草間、宮本各幹事、郷波技部長、岩原高島各總務委員、野口、小野等各書記出席

- 一、組織委員會委員變更ノ件  
委員半塚虎太郎氏ハ退任セラレケリ
- 一、副會長半塚虎太郎氏ハ感謝狀ヲ附レリ
- 一、總務委員會第二部委員ニ左記兩氏ヲ追加委囑セリ  
東京市文書課長 青 木 節 一  
國際文化振興會主事 青 木 節 一
- 一、前回議事錄朗讀確認
- 一、協議事項  
一、競技場位置決定ノ件  
イ、ヨソト港ニ付テハ大久保委員ヨリ横濱市ニ於テ出來ル限リ多額ノ負擔ヲナスニ於テハ横濱港ヲヨソト港ニ指定スル事ニ對シ東京市ニ於テ異議ナキ旨ヲ述べ右條件ヲ附シ横濱港ヲ指定スル事ニ決定セリ  
ロ、漕艇競技場ハ埼玉縣戸田村ニ開發スベキコトニ決定セリ

ハ、馬術競技場ハ世田谷馬事公苑ヲ借用シ之ニ所要ノ施設ヲ爲スコトニ決定セリ

ニ、主競技場ハ現在ノ明治神宮外苑競技場ヲ改造擴張セントスル組織委員會ノ計劃ニ對シ、内務省ハ風致上、管理上又同外苑ガ国民ノ淨財ニ依リ造苑セラレタル記念物ナル點等ヨリ同競技場ノ改造擴張案ニハ同意シ難キ旨見玉神社局長ヨリ意見ヲ述ベテリ

之ニ對シ河原委員ハ本件ノ調査ハ常務委員會ニ一任セラレ度ト述べ、更ニ嘉納委員ハ改造不可能ノ場合ニハ之ガ對策ヲモ協議スベキ權限ヲ與ヘラレ度ト提案セリ、右兩案ハ異議ナク承認セラレタリ

ホ、射擊競技場ハ舊ニ提出セル調査委員ノ報告ニハ陸軍射擊場ヲ利用スルコトニ決定シ居レ共其後専門家ノ調査ニ依レバ距離ノ關係上陸軍射擊場ノ利用ハ不可能ナルヲ以テ新設ノ必要アル旨野谷部長ヨリ報告アリ

右射擊場ノ位置選定ハ野谷部長ニ一任セリ

一、ワルソニー會議派遣員ノ件

日下歐洲ニ出張中ノ貴族院議員稲田昌植男ニワルソニー會議出席並本會事務ヲ委嘱スルコトニ決定セリ

イ、競技部内ニ參事若干名ヲ置クコト

ロ、競技部内ニ専門委員會ヲ設置スルコト

右ヲ承認シ共文化ハ事務局ニ一任セリ

一、組織委員會ヲ法人トスル件

組織委員會ヲ法人トスルコト、シ成文ノ調査ハ事務局ニ一任セリ次回ハ追テ通知スルコト、シ午後三時半散會セリ

○常務委員會

組織委員會第四回常務委員會議事録

五月十二日午後三時半事務局長室ニ於テ開催大島副會長、河原、大久保、平沼、各常務委員、嘉納委員、久保田事務局長、草間、宮本、栗本各幹事、郷技部長、高島總務委員、野口書記出席

一、競技部ニ於テ決定セル競技場原案ニ基キ内務省ノ意圖ヲ尋ル爲メ右ノ書類ヲ提出シ事務局長當局ヲ訪問シテ意見ヲ聴取スルコト、セリ

一、清艇及ヨット競技場ニ關スル件

嘉納委員ヨリ清艇競技場ハ参考トシテ内務省ノ意見ヲ徵シタル後委員會ニ於テ決定スルヲ至當トスルノ意見アリ

右ハ近ク組織委員會ニ提案スルコト、セリ

一、武道部ハ可成多數ノ觀衆ヲ收容シ得ルヤウ場所ヲ選定セラレ度ト嘉納委員ヨリ申出アリタリ、

ヨリ申出アリタリ、

第五回常務委員會議事録

五月十九日午後三時半事務局長室ニ於テ開催、大島副會長、大久保、嘉納各委員、久保田事務局長、岩原總務委員、郷技部長、草間、宮本、栗本各幹事、野口書記、及内務省ヨリ兒玉神社局長、雪澤都市計畫課長、榎木寬之、磯谷道一、兩氏、小林政一博士、東京市ヨリ衣斐土木局長、江藤技手出席

一、主競技場ニ關スル件

久保田事務局長ヨリ明治神宮外苑改造案ニ對シ内務省ノ意見ヲ質セタルニ對シ兒玉神社局長ヨリ大要左記ノ通り内務省ノ意圖ヲ述べ、内務省ハ現在ノ外苑競技場ヲ改造スルコトニハ同意シ難ク之ガ代案ニ付研究ノ結果左ノ案ヲ得タリ

一、場所、内外苑接壤地千駄ヶ谷三丁目土方邸及三島子所有地ヲ含ム二萬三千坪

(一) 所要經費豫算

用地費並補償費、約四百五十萬圓

主競技場構築費、約二百五十萬圓

合計、約七百五十萬圓

而シテ外苑競技場改造費豫算五百萬圓トノ差額約百五十萬圓ハ内苑擴張費トシテ大蔵省ノ承認ヲ經テ内務省カラ支出シ得ル見込ミ

(二) 右計畫實現ノ爲メハ本月中ニ決定スルコトヲ要ス

(三) 右計畫實現ノ爲メハ本月中ニ決定スルコトヲ要ス

右擴張案ニ對シ郷技部長ハ競技部ノ立場ヨリ賛意ヲ表シタリ。大久保委員ハ右ノ豫算額ハ過少ト考ヘラル、ト述べ、東京市土木局長ニ於テ更ニ詳細ヲ檢討シ協議ノ上次回常務委員會ニ報告スルコトニ決定、次回ハ五月二十二日午後一時事務局長室ニ於テ開催スルコト、シ午後六時散會セリ

第六回常務委員會議事録

郷、宮木、小澤、松澤、鈴木、小川、山崎、小山(山崎代)、森、妹尾(小林代)、石田、小澤吉、山本、小野寺、中園、兒島、大谷

報告並協議事項

一、專門委員會設置決定ニ關スル報告

一、競技場打合せニ關スル報告

一、科學施設研究會ニ關スル報告

一、東京大會準備費豫算(組織費第八〇號文書)及ヒ東京大會開催費調査(組織費第九二號)ニ關シ説明アリ

一、日本清艇協會選出委員宮木昌常氏ヲ東後邸氏ト變更ノ件承認

一、フエニンク競技ニ關シ二瓶後彦氏ニ競技部委員ヲ依頼ノ件承認

一、科學施設研究會ノ傍聴者並ヒニ質問ニ關スル注意アリ審慮スルコトヲ申合セタリ

一、射擊場敷地決定ニ當ツテハ慎重ナル態度ヲ執ラレ度希望シ、兒島委員之ヲ承認

一、O.O.O ニユース發送先リスト未通知ノ下記團體、即チ大日本蹴球協會、大日本バスケットボール協會、日本ヨット協會、大日本アマチュアレスリング協會並ヒニ未加盟各團體ハ至急提出サレ度希望ヲ夫夫承認

一、競技部ノ管掌ニ關スル競技團體ヨリノ提案事項ハ豫メ競技部ヲ通ジテ提出スベキ件承認

一、日本陸上競技聯盟ヨリ提出ノハードル研究ニ關スル豫算(新型ハードル七拾五設計書添附)單價金貳拾圓也、總額壹、四〇〇圓也並ヒ日本ヨット協會ヨリ提出ノオリンピック・モノタイプ・ヨット艇型決定研究ニ關スル豫算(總額金壹萬、六〇〇圓也)ヲ夫々承認、所定ノ手續ヲ執ルコトトセリ

一、購入器具ノ所有權ハO.O.O.ニテ有スルコトヲ確認

一、番外競技中武道ハプログラムノ編成上種々ノ問題複雑ナルヲ以テ豫メ組織委員會委員ニ腹案作成ヲ依頼スルコトト決定

一、式典、式典外催物(伯林大會ニ於ケル國際ダンス競技、國際高等飛行競技野營等ノ如キ)ハ當分本委員會ニ於テ研究シ、追而夫々ノ專門委員會ヲ設置スルコトト決定

一、諸會議並ヒニ合合(リクリエーション・コングレス、國際スポーツ醫師會合)ハ規定ニヨリ總務部ノ管掌事項タルコトヲ確認

一、特別ナル連絡委員トシテノ競技部委員 例ハ陸軍戸山學校ニ競技部委員

五月二十二日午後一時事務局長室ニ於テ開催出席者左ノ如シ

大島副會長、大久保、河原(代理若原體育課長)各委員、久保田事務局長、郷技部長、高島總務委員、草間、宮本各幹事、廣田、野口、小野寺各書記(内務省)兒玉神社局長、雪澤都市計畫課長、榎木技師、小林博士(東京市)衣斐土木局長、小野建築課長其他

一、前回内務省ヨリ提案セラレタル主競技場經費豫算ニ付東京市ノ見積レル豫算額ヲ左記ノ通り東京市衣斐土木局長ヨリ報告アリ

用地費並補償費、約四百八十萬圓(一萬六千三百坪)

主競技場構築費、約五百十萬圓

合計、約九百九十萬圓

右ハ内務省ノ豫算額ト非常ナル差異アリ且組織委員會ニ於テ承認セル豫算額ヲ遙カニ超過スルヲ以テ更ニ經濟的ニ構築スルコトヲ研究スルコトトナリ右研究ノ爲メ左記委員ヲ推薦セリ

(事務局)久保田局長、郷技部長(體協)岸田博士、小林博士(東京市)衣斐土木局長、小野建築課長(内務省)榎木技師(文部省)田中技師

記事

競技場建設ニ關スル打合せ

五月廿四日午後四時ヨリ事務局長室ニ於テ主競技場建設ニ關スル打合せ開會サル

出席者左ノ如シ

内務省 榎木技師、磯谷技師

文部省 田中技師

東京市 衣斐土木局長、小野建築課長、岸田博士、小林博士、岩原、草間總務委員、久保田事務局長

第四回競技部打合せ記事

時日 昭和拾貳年五月貳拾拾日、於競技部事務所

出席者



組織委員会送付



第十二回オリンピック  
東京大会組織委員会

# 會報

第五號

昭和十二年六月十日發行

第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局  
赤坂區英町滿鐵ビル四階  
電話赤坂(48)三〇一五番

(印刷代賒寫)

## 辭令

事務局事務ヲ囑託ス 松本瀧藏  
競技部事務ヲ命ス (四月二十三日附) 田 昌 植  
オリンピック冬季競技ニ關スル事務ヲ委囑ス (五月廿一日附)

## 議事録

### ○常務委員会

#### 第七回常務委員会議事録

五月二十七日午後三時事務局長室ニ於テ開催出席者左ノ如シ  
大島副會長、河原、平沼、大久保各委員、久保田事務局局長、郷競技部長、岩原  
總務委員、草間、宮本各幹事、廣田、野口、小野寺各書記、内務省、兒玉神社  
局長、榎木技師、磯谷技師、(東京市) 衣斐土木局長、小野建築課長  
一、久保田局長ヨリ主競技場ノ構築費ハ専門委員研究ノ結果金參百六拾萬圓也  
ヲ要スル見込ミナル旨報告セリ  
次イデ主競技場ニ付夫々意見ノ交換ヲ爲シタレドモ決定ニ至ラズ、仍テ更ニ  
六月一日午後三時ヨリ常務委員会ヲ開キテ協議スルコトトシ午後七時散會セ  
リ

## 記事

### 第五回競技部打合せ記事

時 日 昭和拾貳年六月四日午後六時  
場 所 競技部事務所  
出 席 者 郷、宮本、高島、白山、小林、近、山本、山崎、鈴木、  
森、兒島、小野寺、二瓶、石田、中園、小西、小澤豊、  
小澤吉、小川

#### 協議並決定事項

- 一、報告(競技場ニ關スル件) ワルソニ會議ヲ利用シテ購入スル競技器具費ハ  
金壹千五百圓ト決定ノ件
- 一、フエニング協會ノ件
- 一、外國通信員ト競技部トノ連絡ノ件ハ次回ニ具體的方策ヲ決定スルコト
- 一、ニュース發送先リスト至急提出ノ件、下記團體ハ未ダ提出無之モノ、  
、大日本蹴球協會、日本自轉車聯盟、大日本射擊協會、大日本アマチュア  
、各團體發行機關紙ハ當分貳冊宛寄贈セラレ度キ件ハ諒承

### 科學施設研究会第二回例会記事

時 日 昭和十二年五月十三日午後五時半  
場 所 丸ノ内中央亭本店  
出 席 者 石本委員長、金澤、今村、福島、田口、堀、渡邊(會)、  
志村、渡邊(後)、今關、井深、佐々木、藤井、眞島、  
關、橋元、廣瀬、大島、山本、山本(忠)、大森、飯田、

小林、島崎、松澤各委員、宮木、白山、田畑、渡谷、高野諸氏

(一) 第一回研究会、研究事項、5 雜件ノ末尾ニ「アンツーカー研究者立上氏ヲ委員ニ推挙ス」ト挿入ス

(二) 紹介  
石本委員長ヨリ大島幹義、福島信之助(寫眞)、大森内(放送)、氏、新委員ヲ紹介

協 議 事 項

(一) 西村陽新氏(富士通信機)及競技團體ヨリ推挙ノ井口、金森(日本漕艇協會)、中山克己(大日本スケツトボール協會)、手塚俊一(大日本スケート競技聯盟)、四氏ノ委員追加ヲ計リ異議ナク承認

尙照明學界代表者ヲ本會委員ニ推挙セラレテハトノ申出アリシモ今後各専門部内ニ小委員會ヲ構成スル時ニ考慮スル事トス

(二) 分科會ノ構成  
石本委員長ヨリ今後各分科會ヲ構成シ、研究課題ノ性質ニ從ヒ研究ヲ願ヒ度キ旨ヲ述べ、次ノ分科會ヲ設ケ委員ヲ委嘱ス

放送分科會(大森委員)

距離測定分科會(渡邊、關各委員)

音響分科會(丹羽)、小林、今岡各委員)

土質分科會(渡邊、山口、藤井、立上各委員)

寫眞分科會(渡邊(後)、大島、福島、井深各委員)

ピストル、聖火分科會(眞島、佐々木、田口各委員)

照明分科會(今村、山本(忠)、各委員)

金屬分科會(志村委員)

尙土質分科會委員トシテ永井教授ノ推挙ニ關シテハ渡邊(實)委員ヨリ交渉ノ事

(三) 濱松高等工業學校福原教授及アンツーカー研究者立上省一氏ニ次回研究会ニ出席ヲ願ヒ、福原教授ニ研究ノ高速度活動寫眞ノ映畫ヲ依頼ノ事

(四) 通信關係ヨリ代表者ヲ委員ニ推挙ニ關シテハ石本委員長ニ處置一任

(二) 次回研究会ハ六月十日午後五時三十分九ノ内中央亭ニ開催

(一) 報 告

(イ) 火藥ヲ使ハザル競技用號報裝置

右ニ關シテ圖解ヲ以テ研究實驗ノ結果ヲ報告、直チニ試作ヲ依頼ス

尙當研究会發明ノモノハ出願人ヲ石本委員長トシ發明者ヲ關係分科委員ニセラレクキ旨希望、之ニ對シ石本委員長ハ次回迄「パテント」ニ關シテハ考究シテキ旨ヲ述ブ

競技用號報裝置ノ「明細書控」ヲ眞島委員ヨリ提出

(二) 寫 眞 現 像

決勝點ニ於ケル判定用ノ寫眞撮影及現像等ニ關シイーストマン研究所ノ「ドレツド氏」發明ノ撮影ヨリ引伸シ迄一分二十秒ノ短時間撮影現像方法及機構裝置ノ場所等ニ關シ説明ス

尙「フィルム」ノ性能ニ關シテ説明アリ、特種「フィルム」ハ六櫻社ニ依頼スルコト

(三) 「フィルム」ノ波ヲ消ス装置

「フィルム」ノ波ヲ消ス裝置ニ關シテ研究實驗ノ結果ヲ報告、發明ノ新裝置ノ寫眞及實驗ニ基テ圖表ヲ示ス

(四) 研究 問 題

(イ) 「フエンシグ」ノ審判ニ關シテ科學的裝置ヲ研究セラレクキ旨希望(出題者志村委員)

(ロ) 聖火機走ノ研究(ピストル分科會擔當出題者日本陸上競技聯盟)

(ハ) 競技場ヨリノ放送ニ關シテ競技場建設、設計ニ當リ、種々ノ點ヲ考慮セラレ度キ旨希望(大森委員)

(ニ) 風速ノ走者ニ及ボス影響ノ研究(出題者日本陸上競技聯盟)

(ホ) 日本陸上競技聯盟ヨリ次記ノ研究課題依頼アリク

一、主 掲 示 板

番號、氏名、國名、記録、掲示

二、フキールド内ノ速報板

番號、記録

三、走路土質ノ研究

走路ハ粗茶ナラズ堅カラズ弾力性ヲ帯ビ適當ノ湿度ヲ有シ排水良好ナルモノ

四、時計裝置ノ研究

五、途中計時方法

六、白線ノ研究

石次ニ代ルベキモノニシテ線引、線消容易ナルモノ並ニ線引器具ノ考

七、寫眞判定裝置

八、跳躍場ノ砂ノ性質研究

必ズシモ砂テナクトモヨ

九、高跳計測ニ CATHEOMETER 應用ノ可否

一〇、拾投計測ニ RANGE FINDER 應用ノ可否

一一、出發合圖裝置

奈銃代用品ノ考案

一二、風速計、風向計、湿度計、氣壓計等ノ記録裝置

一三、照 明

トラツク、フキールド、觀覽席更衣室等ノ照明法、適當照度、照明器具ノ研究

一四、擴 聲 裝 置

觀覽席、トラツク、フキールド用、增幅器ノ研究

選手役員用、增幅器ノ研究

送話器ノ位置

送話器ノ研究

一五、銅鐵製卷尺ノ日盛ヲ見易クスル研究

一例黒又ハ赤地ニ日盛子ハ白色又ハコロ遊

雜 報

一、組織委員會委員大藏次官賀屋興宣氏ハ大藏大臣ニ兼任サル

一、五月卅日埼玉縣戸田村ニ於ケル日本漕艇協會主催戸田漕艇コース起工式ニ徳川會長祝辭ヲ呈ス(郷競技部長代讀)

一、ボートランド國週刊文藝雜誌「ワイアドモンチ・リテラツキエ」誌日本文化紹介號(六月廿七日發行)ニ對シ徳川會長寫眞一葉並ニメツセージ掲載ヲ契約セリ

一、イラン博士聲明

四日午後七時ヨリ數寄屋橋レストラン ニュウグランドニ開催サレク東洋體育協會臨時總會出席ノ比利賓代表イラン博士歡迎晚餐會席上ニ於テ、イラ

ナン博士ハ比利賓ハオリンピツク東京大會ニ約二百名ノ大デレゲーションヲ送り其ノ成功ヲ祈ル用意アル旨ヲ聲明セリ

前 號 中 訂 正

一、三頁「競技場建設ニ關スル打合せ」記事中心

五月廿四日ハ五月廿六日

一、四頁下段一行目「OLYMPIC SPIRIT IN HOKKAIDO」ハ削除(北海道體育協會發行ノモノナルニヨリ)

一、同三行目中「三冊」トアルハ「二冊」

昭和十二年六月九日印刷  
（毎月三回、十日発行）

人

西園社公利

發行所

東京市赤坂区西園二丁目一六番地  
西園社公利株式会社

東京支社ビルヂン  
株主委員会事務局

印刷所

東京市東區築地四ノ四

中屋三間印刷株式会社

I-0489

0026



第十二回オリンピック  
東京大会組織委員会

# 會報

第六號

昭和十二年六月廿日發行

第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局  
赤坂區葵町滿鐵ビル四階  
電話赤坂(48)三〇一五番

## 辭令

事務局事務ヲ囑託ス (六月九日附)

(各通)

事務局事務ヲ委嘱ス (六月十五日附)  
競技部勤務ヲ命ス

宣傳ニ關スル事務ヲ委嘱ス (六月十六日附)

## 記事

六月九日午後二時ヨリ局長室ニ於テ競技場建設ニ關スル打合會開會  
東京市ヨリ大久保市長代理、衣斐土木局長、小野建築課長  
大島副會長、小林博士、久保田局長、岩原、草間、高島各總務委員、野渡技  
等出席

## 雜報

一、組織委員会委員篠原英太郎氏ハ内務次官ヲ退任セラレタルニヨリ新次官廣瀬久忠氏委員ニ推薦セララル  
一、組織委員会委員並ニ常務委員会委員河原春作氏ハ文部次官ヲ退任セラレタルニヨリ新次官伊東延吉氏組織委員会委員ニ推薦セララル  
一、大藏次官石渡莊太郎氏組織委員会委員ニ推薦セララル  
一、六月十七日獨逸國有鐵道中央觀光局ヨリ我方組織委員会ニ對シ第十一回オリンピック伯林大會スタディウム大模型ヲ贈呈セラレタリ  
コノ日前十一時帝國ホテルニ獨逸大使テイルクセン閣下ヲ始メ大使館員、獨逸觀光局關係ノ名士多數參列、我方ヨリハ會長徳川公府ヲ始メ、大久保侯爵、大炊御門侯爵、芳澤藤吉氏、大島副會長、平沼組織委員、田觀光局長、久保田事務局長、外宣傳、競技關係者數十名出席ス  
獨逸國有鐵道中央觀光局日本支局長トクトル・ヨルン・レオ氏ノ日本語ニヨル贈呈ノ挨拶ニ就テテ獨逸大使テイルクセン閣下、獨逸國ヲ代表シテ贈呈ノ辭ヲ述べラル(稻木通譯邦文ニ翻譯)。之ニ對シ我方組織委員会委員長徳川公府ハ英語ヲ以テソノ好意ヲ謝セラレニ同卓ニ就キ午餐ヲ共ニシツ、過グル大會ノ盛況ヲ偲ビ、ヨルン・レオ氏、徳川會長、田觀光局長ノテーブルスピーチ有リ、和氣滿々タル中ニ一時解散會セリ

獨逸國有鐵道中央觀光局日本支局長ヨルン・レオ氏ノ挨拶  
本日ハ皆様ニハ公私御多忙ニモ拘ラズ御招待ニ御出席下サレカクモオ集リ  
ソ願ヒ得マシク事ヲ私ハ獨逸國有鐵道中央觀光局ヲ代表致シマシテ大イニ欣  
快トスル處デ有リマス。

就キマシテハ昨年開催サレマシク第十一回オリンピック大會ノ伯林スタ  
ジアムノ模型ガ故國獨逸ヨリ参リマシテコレガ第十二回東京オリンピック大  
會開催ニ關シマシテ日本オリンピック組織委員會ニ何ラカノ御參考ニ又友邦  
日本ニテノ開催ノ行ハ盛ニ又ソノ心カラノ祝賀等ノ意味ニオキマシテ單ナル  
モノソ寄附致シマス次第デ有マス。昔儀ノオ集リソ願ヒマシク事ニ對シマシ  
テロソ些細ナ物デハ恐縮ニテ或ハ無意味カモ存ジマセンガ日獨シンパシー  
ノ意味カラ好機ノ一ツト存ジマス實ハコソオリンピックスタジアムノ次第  
ハ簡單ニ申上マスト第十一回伯林オリンピック組織委員會ノレオ氏伯林ニ有  
リマシクソレ御承知ノ通りコソ組織委員會ヲ外國テハ獨逸國有鐵道觀光局  
ガ代表シマシク次第デ私モ昨年ノオリンピック大會迄獨逸オリンピック組織  
委員會日本代表ソシテキマシク、昨年ハ私ハ一ツ歸國シマシク時ニ伯林ノ幹  
部ト相談ノ結果中央觀光局ノ幹部ノ命ヲウケマシテ友邦日本ノオリンピック  
組織委員會ニ寄附致シマス云フ運ビニナリマシクソレデ有マス。  
一方オリンピック多期大會モコソ前ワルノ一國際オリンピック委員會デハ  
日本ノ札幌ニ決定シマシク事モ大キナ喜びデ有リマシテ祝賀致シマス次ニ後  
カラ獨逸大使ドクトル・ヘルバー・フオン・ディルクセン閣下ガ獨逸國案ヲ  
代表致シマシテ日本オリンピック組織委員會會長徳川公爵閣下ニ伯林オリン  
ピックススタジアムノ模型ヲ御手渡シニナラレマス私ハ簡單作ラコレヲ以ッ  
テ御挨拶ノ言葉ト致シマス。

獨逸大使ディルクセン閣下ノ挨拶  
Euer Durchlaucht, meine sehr verehrten Herren!

Im Jahre 1936 ist der Deutschen Regierung der ehrenvolle Auftrag  
übertragen worden, die olympischen Spiele in Berlin abzuhalten. Deutsch-  
land hat diese Gelegenheit mit Freuden wahrgenommen, und es ist ihm  
eine besondere Genugung gewesen, dass es bei dieser Gelegenheit nicht  
nur die Spiele im olympischen Geiste durchführen durfte, sondern auch  
viele Zehntausende von Gästen aus allen Teilen der Welt bei sich haben

konnte. Insbesondere waren wir auch dankbar dafür, dass so viele Sports-  
leute aus Japan die weite Reise nach Deutschland anzutreten haben und  
so grosse Erfolge haben erzielen können.

Dass die Ausrichtung der Olympischen Spiele 1940 Japan übertragen  
worden ist und dass sie nun 1940 in Tokyo stattfinden sollen, in dem  
Jahre, in dem das japanische Kaiserreich die Feier seines 2600-jährigen  
Bestehens begeht, hat das deutsche Volk mit Freude und Genugung  
erfüllt. Gott werden wir bereit sein, unsere Erfahrungen in der Abhal-  
tung der olympischen Spiele dem japanischen Olympischen Komitee zur  
Verfügung zu stellen. Schon jetzt freuen sich Tausende von meinen  
deutschen Landsleuten darauf, an den olympischen Spielen in Tokyo als  
Zuschauer und zum Teil auch als aktive Sportler teilzunehmen.

In dem Geiste dieser freundschaftlichen Gefühle ist auch der heutige  
feierliche Akt zu verstehen; das Deutsche Olympische Organisa-  
tions-Komitee für die XI. Olympiade und die Reichsbahnzentrale (berichten  
hierdurch dem Japanischen Olympischen Organisations-Komitee für die  
XII. Olympiade ein Modell des Reichsportfeldes, das heisst also der  
Gesamtheit der Anlagen, die für die olympischen Spiele in Berlin errichtet  
wurden.

Es war in diesen Anlagen, in denen der japanische Sport ruhmvolle  
Leistungen zeigte. Wir sind stolz darauf, dass japanische Sportler wie  
Marukose, Son und Machiura gerade in diesen Anlagen ihre einzigartigen  
sportlichen Taten vollbracht haben.

Selbstverständlich geschieht diese Überreichung nicht in dem Sinne, als  
ob Deutschland nun glaube, durch die Errichtung dieses Sportfeldes die  
endgültige und einmalige Form für die Bauten der olympischen Spiele  
gefunden zu haben. Wir sind uns vollkommen klar darüber, dass jedes  
Volk, das mit der Durchführung dieser Spiele beauftragt worden ist, sel-  
bst auch die baulichen Formen finden muss; die diesen Spielen gemäss  
der Eigenart eines jeden Volkes ihren Ausdruck zu geben berufen sind.  
Und so sind wir auch überzeugt, dass das feinerentwickelte Stillegefühl des  
japanischen Volkes und die Kunst, seine Bauten der einzigartigen japani-  
schen Landschaft anzupassen, sich aufs neue in den zu errichtenden Bauten

bevorzogen werden.

Im Geiste der Freundschaft des deutschen zum japanischen Volke, in  
dem Geiste der olympischen, völkerverbindenden Spiele habe ich die  
Ehre, Euerer Durchlaucht hiermit das Modell des Reichsportfeldes zu  
überreichen.

右邦文

閣下並ビニ諸君

獨逸國政府ハ千九百卅六年、オリンピック大會ヲ伯林ニ於テ開催スル名譽  
アル依テ受ケマシク、獨逸國ハ、此ノ機會ヲ得テコトヲ誠ニ喜ビ、コソ機  
會ニ唯々オリンピック精神ヲ以テスポーツヲ行ヒ得ルノミナラズ、又多數ノ  
觀客ヲ世界ノ各地ヨリ自國ニ招キ得テコトハ特別ノ満足デアリマシク。就  
中、吾々ハ日本カラ遠路ハルハル多數ノスポーツマンガ参加セラレ偉大ナ成  
功ヲ修メラレテコトニ特ニ感激シ感謝致シマス。

次ノオリンピック大會開催ガ日本ニ決定シ、建國二千六百年ノ式典ノ行  
ハルル千九百四十年、東京ニ於テ大會ガ開カラルコトハ、獨逸國民シテ感喜  
セシマシク、オリンピック大會開催ニ關スル吾々ノ持つ經驗ヲ吾々ハ喜コ  
ンデ日本オリンピック準備委員會ノ爲メニ提供致シマス。私ノ同國人ノ多數  
ハ今カラ既ニ東京オリンピック大會ニ觀客トシテ、又ハスポーツマントシテ  
参加スルコトヲ喜コンデ居リマス。

斯ハ好友的感情精神ニ於テ、今日ノコソ贈呈式モ亦理解サレ可キデアリマ  
ス。第十一回オリンピック大會ノ爲メノ獨逸オリンピック組織委員會及ビ獨  
逸國有鐵道ハ茲ニ第十二回オリンピック大會ノ爲メノ日本オリンピック準備  
委員會ニ對シ、伯林オリンピック大會ノ爲メニ施設建設セラレタル獨逸國立  
スポーツ競技場ノ模型ヲ贈呈致シマス。

日本ノスポーツガソノ赫々タル精華ヲ表シクノモコソ場所ニ於テマアリ、  
村莊、孫及ビ前朝ノ諸氏ガソノ偉大ナルスポーツノ足跡ヲノコサレテノモ亦  
コソ場所デアラルコトヲ吾々ハ誇リト致シマス。

然シ、只今コソ模型ヲ贈呈致シマスカラト申シテソレハ、獨逸國ガ、コソ  
模型ニソツテ示サレタルガ如キスポーツ競技場ヲ以テオリンピック大會カ場  
ノ最終ノシテ且ツ唯一ノ形式ヲ發見シタリト信ジテカラデナイコトハ勿論  
デアリマス。オリンピック大會開催ヲ依托サレテ國民ハ各自、大會開催ニ際  
シ自己ノ個性特長ヲ發揮ス可キ獨自ノ施設、建設形式ヲ發見ス可キデアルコ  
トハ今更テ申ス可クモアリマセン。而シテ日本國民ノ高度ニ發達シテ感覺ト

藝術技術ハ必ズオリンピック大會建造物ヲシテ眞ニ日本ノ風土ニ適合セシ  
ム、自己ノ特長ヲ發揮スルデアラウコトヲ私ハ深ク信ジテ居ヒマセン。

日獨兩國ノ友情的精神ニ於テ、又オリンピック並ビニ各國民ヲ結合スル  
ホーン精神ニ於テ、私ハ茲ニ謙シクモソノ模型ヲ徳川公爵閣下ニ御渡シ致シマ  
ス。

會長徳川公爵ノ謝辭

The Olympic Organizing Committee of Japan greatly appreciates the  
honor of receiving from the Government Information Bureau of the  
German Railways the large model of the beautiful stadium which was  
the center of the 11th Olympic Games held in Berlin last summer. It  
is a great honor to receive this in the presence of His Excellency the  
German Ambassador to Japan, who has so kindly come here today for  
this gathering.

We are hard at work in laying strong foundations for the next Oly-  
mpic Games, and the continued interest of our German friends in coop-  
eration with those of other lands will be a great help in bringing to a  
successful realization our ideal for the XIII Olympiad in Tokyo in 1940.  
Representing not only our Committee and other athletic circles but the  
entire Japanese people as well, I want to thank you most sincerely, Dr.  
Leo, for this gift. I am sure it will constitute a very real and concrete  
evidence of the hearty goodwill and friendship which characterizes the  
relations between Japan and Germany.



冬季競技會場決定

ワルソニ於ケル・I・O・C・會議ニ於テ副島伯ノ努力ニヨリ冬季競技會場ハ我が北海道札幌ニ決定シタリ

昭和十二年六月十八日印刷 毎月三回 一日發行 西四社大刊 發行所 東京市赤坂區葵町二番地南滿洲鐵道株式會社東京支社ビルヂン 印刷所 東京市京橋區築地四ノ四 中屋三間印刷株式會社

I-0489

0029





出席者 大島副会長、久保田局長、郷部長、高島、宮木、白山、野津、小澤、松澤、鈴木、小川、山崎、近、森、小林、小西、石田、小澤吉、山本、小野寺、中園、兒島、二瓶各委員、他、朝長氏(スケート)

協議事項 一、前同議事録中第二十一行(ホ)ノ後尾ニ「以上承認」ナル語ヲ加ヘ、(ハ)中「決議サレタリ。以上承認」ヲ「決議セラレアルコト」ニ付キ大日本體育協會協會ニ對シ注意ヲ喚起セリ」ト訂正ノ上承認

二、報告ニ付テ承認

一、右報告ニ基キ「伯林大會ニ於テ舉行シタル種目ニシテ舉行セザルコトヲ希望スル競技種目」ニ關シ各競技團體ノ意見ヲ求メタル處

イ、カヌー競技中一萬米ヲ廢止シテキ希望

ロ、水上、フェンシング、自転車ハ時期ニヨリ夜間ニ競技シテキ希望

一、右報告中 規約ニ關スル點ハ日本ヨツト協會ヨリ伯林大會ニ適用シタル規約中第十二條ニ就キ研究中ナル旨ノ申出アリケリ

一、日本清艇協會ヨリ申出ノカヌー艇ノ研究購入ニ關シテハ之ヲ承認、局長ニ申出テルコトニ決定

一、競技 Sports ト 競技種目 Gynastics トノ譯語ノ確立ニ關シ研究スルコトトス

一、久保田局長ヨリ競技場ニ關スル報告アリケリ

○競技場委員會

第八回競技場委員會議事録

時 日 昭和十二年六月二十四日午後六時 於九之内中央亭

出席者 郷、宮木、橋本、飯田、野村、淺野、明石、河合、石川、山崎、近、松澤、佐々木、櫻井、八田、山本、野村正、乘富、下津屋、高橋、岸田、東、財部、石田、小西

追 記 一、組織第一五八號(六月二十二日付)ヲ以テ御通知申上候第七回競技場委員會(七月二日午後六時、中央亭本店)ハ之ヲ第八回ト訂正シ、記載事項ニ從ヒ開催可致候

○科學施設研究会

第三回科學施設研究会議事録

日 時 昭和拾貳年六月拾日午後五時半

場 所 九之内中央亭本店

出席者 石本委員長、飯田、松澤、大森、丹羽、今村、島崎(代理原)、橋元、渡邊(貫渡邊(後)、福島(信)、志村、西村、井口、岸田、金森、手塚、立上、永井、内藤、大森、堀、福原各委員、郷部長、宮木、小川、東(俊)諸氏

(一)紹介 石本委員長ヨリ西村、井口、金森、手塚、福原、立上、永井各委員ヲ紹介

經過 報告

石本委員長ヨリ第二回例會以後ノ經過報告ス

(イ)研究會發明ノ「パテント」ニ關シテハ出願人ハ石本委員長、發明者ヲ關係

報告並協議事項

一、部長並ビニ宮木主事ヨリ競技場關係ニ關スル報告アリ之ヲ承認

一、松澤一鶴氏ヲ野村憲夫氏(水上)ト變更ノ件報告

一、主競技場決定ニ關スル手續ヲ執リタル事ヲ報告

一、記念室內館(岸紀念運動會館並オリビック記念館)ニ關スル常務委員會提出部長案ノ報告

一、代用競技場ニ適當ナル既設ノ競技場アラバ報告セラレ度キコト、承認

一、明石委員ヨリ組織委員會首腦部ハ競技場問題ニ關シ積極的ナランコトヲ要望

一、陸上ヨリ現競技場取壊シノ時期ト代用競技場ノ交通ノ便ニツキ要望アリ、水上ヨリモ代用競技場トシテノ隅田川ニ關シ市トノ折衝ヲ要望、之ニ關連スル各團體ノ希望モアリ、斯ノ如キ場合ニハ組織委員會ニテ或ル種ノ入場料保證ヲ爲スヲ妥當トストノ要請アリケリ

一、鐵球ヨリ芝公園競技場ノ現アレナ位置ノ變更(九〇度廻轉)希望アリ

一、建設委員會ニハスボーツヲ理解スル委員ノ参加セラレンコトノ要望アリ

一、競技場決定ト共ニ競技場内ニ競技場施設委員會ヲ專門委員會トシテ設置スベキコトヲ豫メ報告

分科委員トシテ右ニ關スル出願手續及發明者トノ契約等一切ヲ高島文雄氏ニ依頼ノ旨報告

(ア)福原達三、西村陽輔兩氏ニ第三回例會席上、活動寫眞映寫依頼ノ處兩氏共快諾、本席上映寫ノ旨報告

(イ)立上省一氏(在堺市)ニ第三回例會出席懇請、快諾、出席セラレン旨報告

(ニ)日本陸上競技聯盟ヨリ提出ノ「競技場アンツィカ工作設備及費用」ニ關シテハ之レヲ基礎トシ、當研究會内ニ分科會ニ於テ適當ニ考慮セラレン旨ヲ述フ

(ホ)日本清艇協會、日本ヨツト協會内ノ造船其他ノ專門委員會ヲ當研究會内ニ分科會トシテ統制セラレクシトノ競技場ヨリ意圖ヲ報告、可決ス

(ハ)當研究會各分科會ニ於テ研究ノ結果ヲ大日本體育協會機關誌「オリビック」ニ適宜掲載セラレクキコト

研究事項

(一)渡邊(貫)氏(土質分科會)ハ日下全園ヨリ「トラツツ」ノ設計圖ヲ集メ日本陸上競技聯盟ノ申出ニ適應スル樣實験ヲ軍ネツツアル旨ヲ報告、尙鐵道大臣官房研究所長宛ニ(ハ)渡邊氏ヲ當研究會委員ニ推薦ノ件(ロ)官房研究所ニ於テ土質ノ試驗ニ便宜ヲ計ラレクキコト(ハ)土質試驗ニ要スル一切ノ費用ハ當研究會ニ於テ負擔ノコト、以上三項ヲ記載シ、石本委員長ヨリ文書提出セラレクキ希望ヲ述フ

協議事項

一、競技場ノ芝生研究促進セラレクキコト

一、各分科會開催ノ場合右費用ハ臨時委員長迄請求セラレクキコト

一、芝公園競技場ノトラツツ工事ニ關シ土質分科會ヨリノ報告ニ接シテ東京市ニ右工事許可ニ關シテ公文書ヲ提出ノコト

一、橋元委員ヨリ第四回例會ニ時計ニ關シテ神保氏ニ出席ヲ願ヒテハノ意見アリ可決

一、文部省ニ保管中ノ「ベルリン大會」ノ走路ノ土、跳躍場ノ砂ハ渡邊(貫)委員ニ搬廻ハ石本委員長ニ夫々研究資料トシテ提供方ヲ文部省ニ交渉ノ事

一、土質分科會ニ於テ日本陸上競技聯盟ヨリ提出ノ「走路土質ノ研究」ノ白線ノ研究」ノ跳躍場ノ砂ノ性質研究」ヲ擔當

一、金屬分科會ニ於テ「鋼鐵製捲尺ノ目盛ヲ見易クスル研究」ヲ擔當

一、寫眞分科會ヨリ「決勝審判用カメラニ就テ」ノ「プリント」ヲ配布シ、今後陸上競技會及陸上練習會開催ノ場合ハフキールドニ自由出入ヲ許サレクキ

記 事

リクレーションニ關スル打合せ

六月廿五日滿鐵ビル内エトアルニ於テリクレーションニ關スル打合せ開會將來組織委員會内ニ「リクレーション調査委員會」設置シ度キ旨打合せリ出席者左ノ如シ

文部省都市計畫課	北村 技師
東 京 都 市 計 畫 課	岩原 體育課長
同 Y M C A	草間 秘書課長
同 Y M C A	R L ターキン 氏
同 Y M C A	村 尾 理 事
同 W G A	カウフマン 嬢
同 日本體育協會	竹 内 嬢
同 事務局	久保田 事務局長
同 事務局	西 田 大 田

一、競技場委員會、競技場委員會、科學施設研究会ノ三委員會ハ常務委員會ニ

雜 報





第十二回オリンピック  
東京大會組織委員會

# 會報

第八號

昭和十二年七月十日發行

第十二回オリンピック東京大會組織委員會事務局  
赤坂區葵町滿鐵ビル四階  
電話赤坂(48)三〇〇一五番  
八一八番

## 辭令

組織委員會事務ヲ囑託ス (六月廿八日附) 澤田 一郎

事務局書記 西 四 辻 公 利

事務局宣傳部兼事務局總務部勤務ヲ命ス (七月一日附) 青 木 槐 三

事務局宣傳部事務ヲ囑託ス (七月一日附) 齋 木 貞 藏

雇ヲ命ス

總務部勤務ヲ命ス (七月一日附) 依願事務局長ヲ解囑ス (七月六日附) 事務局長 男爵 久 保 田 敬 一

副會長 大 島 又 彦

事務局長事務取扱ヲ委囑ス (七月六日附)

## 議事錄

### ○總務委員會

#### 總務委員會第二部委員會第六回議事錄

昭和十二年六月卅日午後二時ヨリ滿鐵會議室ニ於テ開催、田、堀池(代青戸事務局)、高田、宮本、川面、高久、久宮、青木、松方、成澤ノ各委員、事務局側ヨリ久保田、宮本、高橋、西四辻共ノ他出席、協議ニ先ク田委員長ヨリ新任委員國際文化振興會青木節一、選信省無線課長宮本吉夫ノ兩氏ヲ紹介ス

協議事項

一、オリンピック選手並ニ一般觀覽者招致ニ關シ在外邦人ノ協力依頼ノ件

田委員長ヨリ本件ニ關シ外務省情報部長ヨリ通知アリタル在伯日本大使館ノ活動狀況ヲ説明シ他ノ各國ニ於テモ伯國ニ於ケルト同様可及的速ニ何等カ適當ノ方法ヲ以テ邦人ノ協力ヲ乞フコトニ致度ト述べ之ニ對シ久保田局長其ノ他委員ヨリ公館ヲ中心トスルカ或ハ又日本人會ノ如キモノヲ中心トスルカ乃至適當ナル特定ノ者ニ依頼スルカニ付意見開陳アリタルモ結局第一段トシテ外務省ニ對シ在外公館ヲ中心トシテ之カ實現ニ付可然斡旋ヲ依頼スルコトニ決定ス。尙之カ實施ニ伴フ經費等ノ點ニ付テハ別途考慮スルコトトス

報 告

一、オリンピック、ニュース配布模様

本件ニ關シ目下ノ配布先、配布部數共ノ他ヲ詳細ニ説明シ引續キ體裁內容等ニ付各委員ノ意見ヲ求メタルトコロ左記ノ如キ希望出テ何レモ考慮スルコトニ決定ス

(イ) 學生其ノ他ノ國際文化團體ニ對スル配布ヲ國際文化振興會ニ於ケルリ  
ストニ依リ考慮ノコト

(ロ) カバーヲ作ルコト

(ハ) 國內配布ヲ増加スルコト(在住外人俱樂部等)

(ニ) 紙面適當ノ箇所ニ配布希望ノ向ハ申出ラレタキ旨附記スルコト

(ホ) 内容充實ノ意味ニ於テ各關係箇所ニ於ケル情報提供ヲ勵行スルコト

(ヘ) ニューストシテノ體裁ハ現在ノ儘ニテ可ナルモ適當ノ機會ニ於テ内容ノ異ル別ニ體裁ヨキモノノ發行ヲ考慮スルコト

(ト) 因語ニ依リ色分ケスルコト

右條ツテオリンピック、ポスター及同マークノ應募狀況ノ報告アリ、審査ヲ終了シタル後ハ應募作品ノ優秀ナルモノノ展覽會ヲ開催スルコトヲ考慮スルコトトシテ散會ス

### ○競技部委員會

#### 第八回競技部委員會議事録

一、昭和十二年七月二日(金)午後六時 於中央亭本店

一、出席者 郷、宮木、淺野、小澤、小林、二瓶、小西、小野寺、兒島、石川(石田代)、森、鈴木、山崎、田畑(本井代)

一、協議事項

一、第七回競技部委員會議事録承認

一、委員變更ノ件

松澤一鶴氏ハ本井功氏(水上)ト變更

一、左記報告ヲ承認

イ、六月二十八日總務委員會第一部委員會承認事項

ロ、主競技場ニ關スル五團體打合ノ件

右報告中テ「プロگرام」ハ夜間ヲモ希望スルコト、室内競技場ニハ既出ノスケート競技ニ關シテモ考慮セラルルヤウ希望アリ

一、競技規約改訂ノ件

イ、伯林大會ニ適用シタル規約(本項ハ藝術、射撃ノ如ク既譯ノ團體ハ右ヲ提出セラレ度キコト、未譯ノモノハ競技部或ハ當該競技團體ニテ一ヶ月乃至二ヶ月以内ニ譯述ノコト)

### 記事

#### ポスター及マーク審査會

ハ、競技聯盟ノ組織規約(ロ、ハ兩項ハ多數ノ團體ニ於テ既ニ譯述ノモノ多ク、レバ右ハ競技部ニ送付スルコト)

一、競技團體ノ正式英語標未提出ノ左記團體ハ至急提出セラレ度キ件承認スルキ、芥川、體操、スケート、ヨット、レスリング、藝術、射撃、重量舉、フエニシテ

一、開催費及ビ準備費未提出ノ團體ハ至急提出セラレ度キ件承認スルコトトセリ

一、日本清艇協會ヨリ申出ノ「舵無艇試作ニ關スル件」ノ件承認ノ上適當ノ手續ヲ行フコトトセリ

イ、舵無ベア 試作三隻 見積價格 一、〇五〇圓

ロ、舵無フオア 試作三隻 見積價格 一、九五〇圓

一、近ク競技部ニ設置スベキ「競技場施設委員會」原案ノ件左ノ如ク承認スルコトトセリ

一、競技場施設委員會ハ競技場施設ニ競技部トシテノ意見ヲ決定スル專門委員會トス

成

各競技團體及ビ競技關係ヨリ一名ノ委員ヲ選出ス。但シ必要アル場合ハ適宜委員以外ニ出席ヲ乞フコトアルベシ

一、近ク競技部ニ設置スベキ「式典委員會」ノ構成ニ關スル件ハ競技部ニ於テ原案作成ト決定

一、各競技「プロگرام」ヲ伯林大會ノモノニ準ジテ作成提出セラレキ件ハワルソニ總會ニ於テ決定セル會期ニ從ヒ取敢作成スルコトト決定

一、競技部ニテ依頼シ各競技團體ガ獨自ニ會合スル場合ノ一人當經費ハ金立開也以下トスル件承認

七月五日午後四時ヨリ滿鐵ビル内エトールニ於テオリンピックポスター及マークノ審査會開會、田總務委員會第二部委員會委員長長始メ各委員、森、澤、大日本體育藝術協會正副會長、以下各審査員、事務局宮木、白山、鈴木、西四辻外國觀光局員集會、下審査ニテ選出サレタル諸ニツキ審査ノ結果ポスター及マーク審査會

### 雜報

タリ、於テハ佳作ニナルモノナク且代表作品トシテ國外ニ誇リ得ルモノモナク結局締切期日ヲ延期シ再募集ニ決シテマークハ一等並ニ佳作ヲ決定セリ

一、組織委員會委員長牛塚虎太郎氏ハ東京市長ヲ辭セラレタリ

一、東京市長小橋一太氏組織委員會委員長ニ推薦サル

一、七月一日ヨリ滿鐵ビル内四百四號室 四百五號室ニ總務部ノ一部及宣傳部新設サル(電話赤坂48)二〇八一番)

一、オリンピックポスター及マーク懸賞募集六月卅日締切クリ

一、懸賞數(左記ハ規格ニ適合ノモノ)

ポスター 壹千貳百拾壹枚

マーク 壹萬貳千百拾壹枚

一、七月二日左記審査員ニヨリポスター及マークノ下審査行ハレタリ

淺澤秀雄氏 矢澤弦月氏 成澤金兵衛氏 中島健藏氏 伊藤廉氏

一、小樽市ニ開催ノ大博覽會ニオリンピック東京大會宣傳ノ爲メ東京市ト共同ニテ出品セリ

### 懸賞ポスター締切延期

第五回公衆中ノ懸賞ポスター及マークハ七月二日下審査、七月五日審査ノ結果ポスターハ結局世界ニ發表スルニハ誇リ得ル代表的作品ナク依テ合議ノ結果、締切期日ヲ九月廿日迄延長シテヨリ優秀ナル作品ヲ得ルニ努ムルコト、シ、以テ日本ノ代表ポスタートシテ世界ニ發表スルコトニ決セリ

### オリンピックマーク當選發表

一等 (一名) 金參百圓也

大阪市西成區千本通四丁目二八 廣 本 大 治 殿

佳作 (三名) 金五拾圓也

横濱市中區三春臺一〇一 鳥 井 富 雄 殿

名古屋市東區田代町四ツ谷 富 野 島 殿

大阪市住吉區中野町八〇 篠 村 毅 殿







第十二回オリンピック  
東京大会組織委員会

# 會報

第九號

昭和十二年七月二十日發行  
第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局  
赤坂區葵町滿鐵ビル四階  
電話赤坂(48)三〇〇一五番

第三部長

## 辭令

土肥冬男

任事務局書記

競技部勤務ヲ命ス (七月七日附)

事務局事務囑託

大田峰尼

願ニ依リ解職ス (七月九日附)

關靜男

雇ヲ命ス

競技部勤務ヲ命ス (七月十二日附)

## 記事

### 式典ニ關スル打合せ

七月十五日後六時九ノ内中央亭ニ於テ式典ニ關スル打合せ開會  
諸井三郎氏ヲ中心ニ郷競技部長、宮本、白山、鈴木、坂入、土肥、西四辻等  
出席、第十回、第十一回大會ノ資料ニヨリ研究、検討セリ

(一)

報 會

I-0489

0037

雜 報

一、總務委員會第二部委員木村隆規氏ハ大阪鐵道局長ニ榮轉サル  
 一、競技部主事小川勝次冬季競技事務打合ノ爲札幌へ出張  
 一、オリンピックマーク當選作四點ヲ「シル」「バツチ」「書簡集」「書簡筒」  
 「旗」ノ五種類名ニテ特許局へ意匠登録ヲ申請セリ  
 一、オリンピックマーク當選者四名ニ對シソレン賞金ヲ送付セリ  
 一、來七月三十日午後三時ヨリ日本橋白木屋百貨店ホールニ於テ獨逸バイエル  
 會社及シーメンス會社製作伯林オリンピック大會實況ノ活動寫眞映寫ヲ行フ  
 (主催第十二回オリンピック東京大會組織委員會事務局競技部)

寄附金受付

昨夏伯林ニ於ケルI、O、O會議ノ結果第十二回大會ガ東京ニ開催ト決定サ  
 レルヤンノ成功ヲ新リ後援スル意味ニ於テ毎月金五拾錢也宛ノ寄附金ヲ爲スト  
 ノ郵軍ナル手紙ト共ニ送金ヲ續ケラレル申村治三郎氏ノ熱意ニハ事務局ニ於テ  
 モ一同大イニ感激シテキル所デアル。  
 左ニ四月以降ノ受付ヲ掲載スレバ  
 四月六日 金五拾錢也 申村治三郎殿  
 五月三日 金五拾錢也 申村治三郎殿  
 六月四日 金五拾錢也 申村治三郎殿  
 六月七日 金五圓七十四錢也 九川の男殿  
 七月二日 金五拾錢也 申村治三郎殿  
 累計 七圓七拾四錢也

昭和十二年七月十八日印刷 (毎月三回一頁) 編輯者 西四辻ハ利 發行所 東京市赤坂區赤坂二番地南滿洲鐵道會社東京支社ビルヂン印刷所 東京市  
 昭和十二年七月二十日發行 (十日二十日發行) 發行所 東京市赤坂區赤坂二番地南滿洲鐵道會社東京支社ビルヂン印刷所 東京市  
 昭和十二年七月二十日發行 (十日二十日發行) 發行所 東京市赤坂區赤坂二番地南滿洲鐵道會社東京支社ビルヂン印刷所 東京市  
 昭和十二年七月二十日發行 (十日二十日發行) 發行所 東京市赤坂區赤坂二番地南滿洲鐵道會社東京支社ビルヂン印刷所 東京市



第十二回オリンピック  
東京大会組織委員会

# 會報

第十號

昭和十二年八月一日發行

東京大会組織委員会事務局  
赤坂區英町滿鐵ビル四階  
電話赤坂(48)三〇一五番  
二〇八一番

## 辭令

事務局事務囑託 本間雪子  
願ニ依リ囑託ヲ解ク (七月廿日附) 石井重雄  
願ニ依リ解雇ス (七月廿日附) 宮武繁

事務局宣傳部事務ヲ囑託ス (七月廿日附) 坂場庸雄  
市川八雄

## 議事録

### ○組織委員会

#### 第十六回組織委員会議事録

七月五日午後四時文部大臣官邸ニ於テ開催、徳川會長、小橋、大島兩副會長、嘉納、山本、伊東、堀内、廣瀬(代理岡田内務事務官)、喜安(代理田園際觀光局長)、平澤(代理本多通信技師)、松永、門野(代理中野東京商工會議所副

會頭、平沼各委員、栗木、草間、宮本各幹事、總務技師、高島總務委員、小野寺、廣田兩書記出席  
一、前回議事録朗讀確認

#### 一、報告事項

一、組織委員變更  
組織委員選任官富安謙次氏、内務次官藤原英太郎氏、大藏次官賀屋興宜氏、文部次官河原春作氏ハ孰レモ退官又ハ轉官セラレタルニ付組織委員ヲ退任セラル  
選任次官平澤要氏、内務次官廣瀬久忠氏、大藏次官石渡莊太郎氏、文部次官伊東延吉氏、東京市長小橋一太氏ハ新ニ組織委員ニ就任セラル  
一、總務第二部委員ノ異動  
文部省文書課長堀池英一氏ニ前文書課長阿原謙藏氏ニ換リテ總務第二部委員ヲ委囑、選任省電務局無線課長宮本吉夫氏ニ同委員ヲ追加委囑  
一、事務局職制中改正ノ件  
去ル五月十八日開催ノ組織委員会ノ決議ニ依リ左ノ通改正セリ  
第二條中「部長若干名」ノ次ニ「参事若干名」ヲ加フ  
第三條第二項中「主事」ヲ「参事」ニ改ム  
第四條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ  
参事ハ上司ノ諮問ニ應ジ部ノ事務ニ付意見ヲ述ブ、  
「第五條」ヲ「第七條」ニ改メ其ノ前ニ左ノ二條ヲ加フ  
第五條 必要ニ應ジ専門委員ヲ置ク、部長ノ諮問ニ應ジ大會實施ニ須要ナル事項ノ調査研究ヲ掌ル  
前項ノ委員ハ各部門ニ分子委員会ヲ組織ス  
第六條 専門委員ハ會長ノ互選ニ依ル  
二、ワルソー會議ニ關スル件

I-0489

0039

六月七日ヨリ四日間ニ五ルソノ會議ニ於テ正式ニ審議決定セラレタル各事項ニ付テハ新聞紙上ニ於テハ種々報道セラレツ、アルモ組織委員會ニ正式報告アリタル事項ハ第五回オリンピック冬季競技大會ハ條件附テ以テ札幌ニ決定セリトノ一件ノミナリ其條件ト云フハ來年三月カイロニ於テ開催セラレベキ會議マデニ札幌ヲ準備上不適宜ト見做サル、場合ニハ諸威ニ譲ルトノコトナリ其他ノ會議情況ニ就テハ六月廿二日飛行便ヲ以テ副島ヨリ報告セリトノ事ナレドモ今尙消息セザルヲ以テ次回ノ會議ニ詳細報告ヲ爲シ得ルコト、存スト大島副會長ヨリ報告セリ

大會競技場及オリンピック村ノ位置決定ニ付テハ本年二月廿三日ノ組織委員會ニ於テ小委員ノ調査報告ヲ承認シ其主競技場トシテハ明治神宮外苑ノ陸上競技場ヲ以テ充テラルベク各種ノ準備ヲ進メ居リタルニ其ノ改變ハ内務省ノ反對ニ遭シテ殆ド絶望ノ情況ニ逼リタルヲ以テ會長ヲ預ハシ内務大臣トノ會見トナリ又大久保市助役及余ナドノ諒解運動等ニヨリ今度別紙ノ如ク願書ヲ提出セリ其結果明治神宮外苑管理評議員會ヲ明後七日開催シテ始メテ確答ヲ得ル様ノ次第ニテ大體ニ於テ承認セララル、豫定ナリト大島副會長ヨリ報告セリ、コノ時松永委員ヨリ東京市會方面ノ空氣ヲ述ベ收容力ハ拾萬人以上トセラレタリト希望セリ(別紙略)

協議事項

一、久保田事務局長辭意ニ關スル件  
本件ハ事情止ムヲ得ザルモノト認メ之ヲ承認スルコト、シ後任決定マデ事務局長ノ事務ハ大島副會長代行スルコト、セリ  
一、大島副會長ヨリ久保田事務局長在任中ノ功勞ニ對シ何等カ報ユルノ方法ヲ講セラレタリト提案アリ滿場異議ナク承認シコレガ方法ハ會長ニ一任トシ午後五時散會セリ

總務委員會

總務委員會第二部委員會第七回會議事錄

昭和十二年七月二十一日午後二時ヨリ滿鐵會議室ニ於テ開催、田、高田、成澤、高久、青木ノ各委員事務局側ヨリ草間、高橋、白山、宮木、西四辻、坂入其ノ他出席協議ニ先チ田委員長ヨリオリンピック・ボスター及同マキ懸賞券

集ニ關スル經過報告ヲ爲セリ

一、當選オリンピック・マキノ使用ニ關スル件  
一等當選ノモノヲ公式マキトシテ組織委員會ニテ使用スル書簡、封筒其ノ他ニ用ヒ公認マキトシテハ佳作中ヨリ適宜選定シ之ヲ修正使用スルコトニ決定ソノ修正ニ關シテハ成澤委員ニ依頼ス  
一、世界教育會議出席代表者ヲ通シ宣傳ノ件  
世界教育會議事務局ニ於テハオリンピック東京大會ノ宣傳ニ付テハ出來得ル限りノ便宜ヲ與フル意向ナルコトヲ同事務局ニ於テ聲明セル旨ヲ高田委員ヨリ説明アリ、ソノ場合ニ於ケル宣傳方法ニ付左記事項ノ打合ヲナス  
イ、茶會共ノ他適當ノ機會ニ於テ德川會長ヨリ挨拶ヲナスコト  
ロ、八月八日ノ關東選手權選大會ノ水泳競技ニ招待スルコト  
ハ、オリンピックニ關スル既設ノ案内記ヲ配布スルコト  
ニ、オリンピック大會ニ關スルグリーディングノ印刷物ヲ作成配布スルコト  
ホ、映畫會等ノ場合適宜大會ノ表示ヲ爲シ宣傳スルコト  
ヘ、會場及遊覽パス内ニ大會ノボスターヲ掲示スルコト  
ト、参列者ニ對シ大會ヲ表示セル圍扇ヲ配布スルコト  
チ、東京市内見物ニ際シ繪畫館訪問ノ節オリンピック會場ニ付現地ニ於テ詳細説明ヲ乞フコトヲジャン・ツーリスト・ビュローニ依頼スルコト

競技部委員會

第九回競技部委員會會議事錄

時 日 昭和十二年七月十六日午後六時於中央亭本店  
出席者 郷、宮木、淺野、白山、鈴木(代)、近、森、小林、石田、小澤吉、小野寺、中園、兒島、淺岡(大谷代)、二瓶各委員  
協議及決定事項  
一、前回議事録承認  
一、左記報告ヲ承認  
イ、日本滑艇協會ヨリ申出、「純無シ艇試作ニ關スル件」ノ手續完了ノ件  
ロ、久保田事務局長辭任及後任ノ件

ハ、冬季競技ノ件  
ニ、主競技場決定ノ件  
ホ、マキ決定ノ件  
ヘ、代用競技場ニ關スル件  
一、式典ニ關シ七月十五日ノ打合事項ヲ報告ノ後、式典ニ關スル委員會ハ當分事務局競技部ヲ中心トシテ式典ニ關スル研究會トシテ設置シ、各方面ノ意見ヲ徵スルコトト決定 同時ニ各委員ヨリ提案ヲランコトヲ求ム  
一、伯林大會規約翻譯ヲ自ラ行フ團體ハ申出ラレタキ件承認  
一、日米陸上競技ノ際行フ式典ハ藝術委員會ニ於テ實施スルコトト決定  
一、現體協事務所(丸ビル)ガ移轉シタル場合、之ヲ五六競技團體ニテ共同使用ヲ希望スル向ハ申出ラレ度シ  
一、七月三十日ニ伯林大會映畫會ヲ行フ  
一、競技團體ノ正式英語標未提出ノ左記團體ハ至急提出セラレ度キ件  
ヨツト、レスリング、藝術、重量舉  
一、競技場施設委員會長トシテ山本忠興氏決定ノ件承認  
一、夏季中ノ會合ハ出來ルダケ四時乃至六時ノ間ニ行フコトト決定  
一、マキ使用ニ關シ白山氏ヨリ説明

科學施設研究會

第四回科學施設研究會會議事錄

日 時 昭和十二年七月八日午後五時半  
場 所 丸之内中央亭本店  
出席者 石本委員長、山本、渡邊、大島、西村、金澤、手塚、田口、松澤、廣瀬、志村、橋元、大森、渡邊(實)、堀、今村、丹羽、神保、立上委員、高島、小川、淺野常務委員、加賀、笹田、川本、伊藤、平岡氏  
一、第三回例會議事録朗讀、確認

協議事項  
一、末弘委員ハ競技場芝生ノ件ニ關シテ調査研究ノ結果ヲ報告 即チ日本芝高麗芝、山芝)西洋芝ノ比較ヲ詳細ニ説明サレ、高麗芝ノ優秀ナル點ヲ強調尙競技場芝生ニハ現在ヨリ準備ノ必要ヲ説キ、之ガ準備ハ外苑管理署ニ一任セズ適當ナル經驗者ノ協力ガ必要ニシテ組織委員會事務局ヲ通ジテ萬全ヲ期スコト  
一、高田重雄氏(富士通信機製造株式會社)ガ今夏獨逸伯林ニ派遣セラレルニ付キ、同氏ニ調査ヲ依頼セルヲ可キモノヲ各分科會ニ於テ申出ルコト  
一、石本委員長ハ神保成吉氏ヲ紹介  
一、神保氏ハ昔又時ニ關シテ研究ノモノヲ説明ス  
一、時計分科委員會ハ研究中ノ「ストツフウツチ」(觀客ニ示スモノ)ニ關シ説明シ次回迄ニ神保氏トモ協議ノ上報告ノ豫定  
一、各分科委員會ヨリ提出ノ豫算ニ關シ近々郷部長ニ石本委員長ヨリ説明承認ヲ求メルコト  
一、研究會ニ於テ研究調査ノ施設ニ關シテハ各種競技場ノ工事ニ當リ充分研究會ノ意圖ヲ參考ニセラレル様郷部長ニ石本委員長ヨリ交渉ノコト  
一、競技場活動寫眞撮影機(九米)製作ニ關シテハ郷部長ト協議ノコト  
一、次回ハ九月十六日第三本曜日トス  
八月例會ハ休止

新研究事項

一、陸上競技ニ於テ使用ノ決勝點「毛糸テープ」ノ代用トナル、風ニ對シ不動、寫眞ニ映リ、走者ノ「ゴールイン」ニ當ツテ直チニ切斷スルガ如キモノヲ考究セラレクシ(提出 日本陸上競技聯盟)  
一、總務委員會第二部委員堀池英一氏ハ文部大臣官房秘書課長ニ轉セラレ退任セラレタリ  
一、鐵道省運輸局長若原木健三氏ヲ總務委員會第二部委員ニ委嘱セリ  
一、第十二回オリンピック東京大會公式マキ決定ニツキ本號ヨリ使用セリ

雜報

第十二回オリンピック東京大會  
公式マーク



公式マークハ一般に使  
用ヲ禁ジ組織委員會ノ  
ミテ使用スベキモノナ  
リ

第五回冬季オリンピック札幌大會實行委員會  
發會式ニ於ケル會長祝辭

祝辭

本日茲ニ第五回冬季オリンピック札幌大會實行委員會ノ發會式ヲ舉ゲルニ當  
リ一言御祝ヒ申シ上ゲマス  
第十二回オリンピック大會ガ東京ニ於テ開催サレル事ニ決定シテ際際冬季大會  
開催地ハ其決定ヲ保留サレ本年六月ワルツノ國際オリンピック委員會總會デ  
之又日本ニ於テ開クコトニ決定シマシタコトハ誠ニ喜バシイコトデ國ヲ舉ゲテ  
祝福シタイト思ヒマス第五回冬季オリンピック大會ハ第十二回オリンピック大會  
會ヨリモ約六ヶ月早ク開カレルモノデアリマス。此點東京大會ニ比ベ札幌ノ大  
會ハ大會準備迄ニ一般ノ努力ノ必要ナコトハ申ス迄モアリマセン。  
幸ヒ札幌市地元各位及ビスキー、スケート或ハ新ニ誕生セントスルホブスレ  
ノ各協會北海道官民各方面ノ熱心ナル御努力ニヨル來ルベキ札幌大會ガ前同ノ  
ガルミツシユバルテンキルヘン大會以上ノ成功ヲ收メルデアラウコトヲ深ク信  
ジテ疑ハナイ次第デアリマス。  
又明年三月カイロニ於テ開催サレル國際オリンピック委員會總會ニ於テ第五  
回冬季オリンピック札幌大會ノ準備狀況ヲ各國委員ニ報告セネバナラスコトト  
ナツテ居リマス此ノ會議迄ニナスベキ準備ヲ完了シカイロ會議ニ於テ世界各國  
ニ對シ札幌大會ノ準備模様ヲ知ラシメル事コソ本大會ヲ成功ニ導ク第一歩デア  
ルト信ジマス  
冀クハ一致協力札幌大會ノ成功ニ向ツテ邁進セラレントラ祈ツテヤマナイ  
次第デアリマス  
昭和十二年七月十九日

第十二回オリンピック東京大會組織委員會  
會長 公府 徳川 家 達

昭和十二年七月三十日印刷(毎月三回一日)編輯兼  
昭和十二年八月一日發行(十日二十日發行)發行人 西 社 公 利 行 所 東京市赤坂區赤坂町二番地南滿洲鐵道會社ビルヂン印刷所 東京市  
中區三間印刷株式會社  
東京市赤坂區赤坂町二番地南滿洲鐵道會社ビルヂン印刷所 東京市  
中區三間印刷株式會社

I-0489



第十二回オリンピック  
東京大会組織委員会

# 會報

第十二號

昭和十二年八月廿日發行

第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局  
赤坂區葵町滿鐵ビル四階  
電話赤坂(48)三〇〇一五番

## 規程

第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局  
職制中左ノ通改正ス

第二條中「事務局長一名」ヲ「事務總長一名」ニ改メ第二項トシテ左記ヲ加フ  
必要ニ應ジ事務次長一名ヲ置クコトヲ得

## 辭令

事務總長ヲ委囑ス(●月十四日附)  
副會長  
事務局長事務取扱ヲ解囑ス(●月十四日附)

永井松三  
大島又彦  
森村左衛門  
磯村秀雄  
吉村忠夫  
中村岳陵  
矢野

## 議事録

### ○常務委員会

#### 第十回常務委員会議事録

七月卅一日午後二時ヨリ事務局長室ニ於テ開催、大島副會長、伊東、三邊各

伊原宇三郎  
伊藤之助  
石井鶴三  
高村豐三  
成村金兵衛  
土浦龜一  
小森政一  
小崎宗太  
諸井三郎  
中島健三  
深田久彌  
小野寺永藏

専門委員ヲ委囑ス(藝術委員)

I-0489

0042

常務委員、嘉納組織委員、郷競技部長、岩原、高崎各總務委員、廣田書記出席  
 一、前回議事録朗讀  
 一、本會寄附行為ニ關スル件  
 左ノ通り修正可決セリ  
 第二條ヲ第一條トシ、第一條ヲ第二條トシ次ノ如ク訂正ス  
 本會ハ第十二回オリンピック東京大會ニ關スル一切ノ事業ヲ計畫實施シ併セテ第五回オリンピック札幌大會ニ關スル一切ノ事業ヲモ計畫實施スルヲ以テ目的トス  
 第十三條 オリンピック東京大會ノ次ニ、並第五回冬季オリンピック札幌大會ノ字句ヲ挿入ス  
 第十六條 顧問及參與ハ主要ナル事項ニ付會長ノ諮問ニ應ズト訂正  
 第十九條 「理事會及」ノ文字ヲ削除ス  
 第二十三條「四」以上ノ財産ヨリ生ズル果實」ト改ム  
 第四條 東京大會ノ次ニ「並第五回冬季オリンピック札幌大會」ノ字句ヲ挿入ス  
 一、大會豫算ニ關スル件  
 更ニ詳細ナル豫算案ヲ提出セシメ審議スルコトトセリ  
 其ノ他ノ件  
 一、衛生委員ヲ設クルコトヲ承認セリ  
 一、内務省神社局長ヨリ八月十五日付ノ競技場ニ關スル回答書中第四及第六ニ關シテハ郷競技部長ヲシテ交渉セシムルコトトセリ  
 一、萬國議員會議ニ出席スル議員ニ對シオリンピックノ宣傳ヲ依頼スル件ハ之ヲ承認シコレヲ處理ハ宣傳委員ニ一任スルコトトセリ  
 一、都新聞社主催國民體位向上スポーツ展覽會ニ關シ本會後援方依頼ノ件ハ承認スルコトトセリ  
 一、組織委員ニ阪谷男爵及北海道長官ヲ加ヘルコトトセリ  
 一、組織委員中體協副會長二名トアルモ目下一名缺員ニ付副會長新任マデ他ノ理事者ヲ以テ充テテ決議セリ  
 一、顧問及參與ニ關シ大島副會長ヨリ參考意見ノ開陳アリク

第十二回常務委員會議事録

八月五日午後二時事務局局長ニ於テ開催、大島副會長、伊東(代理)若原體育

○競技場施設委員會

第一回競技場施設委員會議事録

時日 昭和十二年八月十三日午後四時於事務局  
 出席者 郷、山本、石川、北澤、二瓶(代理)、宮木、白山、李、山田、坂、佐藤、岩井、河崎、乘富、高島、竹田、岩崎  
 協議事項  
 一、郷部長ヨリ金井外苑管理署長ト會見ノ願末報告  
 (イ) 管理署官制ニ本委員會ヨリ三、四名ノ囑託ヲ推薦スルコト  
 (ロ) 管理署ノ希望ニヨリ至急囑託ヲ推薦スルコト  
 (ハ) 岸田日出刀、内藤多伸兩氏ヲ設計ニ參畫セシメル件ハ管理署側ニ於テ承認スルコト  
 一、宮木島富氏ヲ幹事ニ推薦、承認ス  
 一、次回委員會ニハ主競技場關係委員ト管理署關係者ニ出席ヲ乞ヒ、懇談スル事  
 一、管理署ニ推薦スル囑託ノ人選ハ部長、委員長、幹事ニ一任シ、主競技場關係競技場ヨリ選出ノコト  
 一、次回委員會迄ニ今後本委員會ノ具體的運行ニ關シ研究スルコト  
 一、主競技場以外ノ競技場ニ就イテハ各分科會ヲ開キ月一回位報告並ニ意見ノ交換ヲ行フコト

記事

一九三七年國際オリンピック委員會ワルソニ總會開催ニ關スル一般規定

補正第一 國家ヲ代表シ得ル要件第一項中補正ス  
 オリンピック競技大會ニ於テ或ル國民ヲ代表シ得ル者ハ該國民トシテ生來國籍若ハ歸化國籍ヲ有スル者又ハ主權國ノ構成部分タル國ノ國籍ヲ有スル者ニ限ル、既ニ一度云々  
 「舊文」オリンピック競技大會ニ於テ或ル國民ヲ代表シ得ル者ハ該國民トシテ生來國籍若ハ歸化國籍ヲ有スル者又ハ右國民ガ構成部分タル主權國ノ國籍ヲ有スル者ニ限ル、既ニ一度云々  
 補正第二 國家ヲ代表シ得ル要件第三項末尾ニ第三號ヲ加フ  
 三、體操又ハ競技ノ有給教師、但シ教育課程ノ通常課目ト共ニ體操又ハ競技ノ初歩ヲ附隨的ニ教授スル者ヲ除ク  
 補正第三 國家ヲ代表シ得ル要件第五項中宣稱書ニ署名スベキ文字中ニ追補ス  
 「左ニ署名セル余ハアマチュア精神ニ關スルオリンピック規定ニ準據シアマチュアクト並ニオリンピック規定ノ要求スル條件ヲ遵守スベキコトヲ茲ニ名譽ニ懸ケテ宣稱ス」  
 補正第四 第十二條 競技大會ノ競技組織第五項ヲ追補ス  
 尙各國競技聯盟ハ最高三名ノ技術代表ヲ選定スベシ。技術代表ハ組織委員會ト連絡シ、跳馬、鞍馬、走馬及ヒ障礙物ガ其ノ競技ノ國際競技聯盟ノ制定セル諸規定ニ適應セルヤ否ヲ檢證シ且ツ審判員ノ任務云々

雜報

補正第五 第十六條 競技者ノ資格ニ對スル異議第一項ヲ追補ス  
 競技者ノアマチュア資格若ハ國籍ニ關シ異議アル場合ハ關係國際競技聯盟之ヲ裁定ス  
 補正第六 第二十五條 アタツシエ第一項ヲ追補ス  
 組織委員會ハ同委員會ト各國派遣團團長ト云々  
 補正第七 第二十六條 指定席第一項ニスタント各國國際競技聯盟主事ト開催國各委員會員トノ間ニ新クニ一行ヲ加フ  
 参加各國派遣團團長  
 一、ワルソニ會議出席ノ爲渡歐中ノ副島組織委員並李參事ハ八月六日歸朝セリ  
 一、八月十二日午後六時ヨリエトアルニ於テ徳川組織委員會々長並ニ大島大日本體育協會々長共同主催ノ下ニ副島伯爵歸朝歡迎會ヲ開催セリ

昭和十一年八月二十八日印刷 (毎月三回一日) 西四社●利 発行所 東京市赤坂区南二番地南道株式会社 東京支社ビルヂン 印刷所 東京市京橋區築地四ノ四 中屋三間印刷株式会社

昭和十一年八月二十八日印刷 (毎月三回一日) 西四社●利 発行所 東京市赤坂区南二番地南道株式会社 東京支社ビルヂン 印刷所 東京市京橋區築地四ノ四 中屋三間印刷株式会社

I-0489







第十二回オリンピック  
東京大会組織委員会

# 會報

第十三號

昭和十二年九月一日發行  
第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局  
赤坂區英町滿鐵ビル四階  
電話赤坂(48)三〇八一番

## 議事録

### ○組織委員会

#### 第十七回組織委員会議事録

昭和十二年八月十二日午後四時滿鐵會議室ニ於テ開催、徳川會長、嘉納、副島、伊東、堀内、廣瀬、喜安(代理田園國際觀光局長)、平澤(代理根井工務局長)、三邊、松永、平沼各委員、草間、宮本各幹事、岩原、高島各總務委員、郷兼按部長、廣田(代理富田)、野口(代理鈴木)、各書記出席、前回議事録朗讀確認

#### 報告事項

- 一、第九回乃至第十一回常務委員會議事録報告
- 一、組織委員變更ノ件
- 組織委員東京市助役大久保留次郎氏退任ニ付三邊長治氏代リテ組織委員ニ就任セラル
- 一、前事務局長ニ對シ慰勞ノ件
- 久保田男在職中ノ功勞ニ酬ユル爲金三千圓ヲ贈呈セリ
- 一、總務委員會第二部委員異動ノ件
- 總務部第二部委員鐵道省旅客課長木村隆規氏、文部省文書課長堀池英一氏狀レモ轉任ノ爲退任ニ付兩氏ニ代リ堀木謙三氏、朝比奈策太郎氏ニ同委員ヲ委嘱セリ
- 日本放送協會報道部長阿部勇氏ニ同委員ヲ追加委嘱セリ
- 一、明治神宮外苑競技場改造ニ關スル神社局長回答ノ件

#### 協議事項

- 一、本會寄附行爲原案審議
- 岩原總務委員ヨリ原案作成ノ方針並ニ主要事項ニ付逐條的説明アリ、尙東京大会ト多季オリンピック札競大会トヲ同一機關ニ統合セル理由ニ關スル副島委員ノ質問ニ對シオリンピックノ觀念及ビ慣例ヨリハ之ヲ別個ノモノトナスヲ正論トスルモ我國ノ實情ニ徴シ對内的ニハ兩大會ヲ唯一中樞機關ニ於テ統轄シ、對外的及ビ實際運用上ニ特別ナル考慮ヲナスヲ適當ト認メタル旨解釋ヲ求メタリ
- 原案第三十五條理事、監事ノ氏名記載手續上ノ問題ニ付、三邊委員ヨリ質疑アリタル結果財団法人設立ノ際必要ナル手續及ビ役員ノ選定ハ徳川會長ニ一任スルロトヲ決定シ、尙同條中理事ノ配列ニ誤植アリタルニ付之ヲ左記ノ通り訂正シ、寄附行爲原案ヲ承認ス

會長 理事

副会長 理事 同 理事 同 理事 同 理事 同

一、組織委員追加ノ件
阪谷芳郎男並北海道局長官ニ組織委員ヲ追加スルコト及ビ大日本體育協
會副委員長一名缺員中ニ付副委員長決定迄同協理理事中ヨリ一名ヲ組織委員ニ選
定スルコトヲ滿場異議ヲ承認ス
尙松永委員ヨリ東京市會オリンピック實行委員長ヲ組織委員ニ追加セラレ度
ト希望アリタルモ本事項ハ戶續上常務委員會ノ議ヲ經タル後ニ取扱フベキコ
トヲ決定セリ
一、事務局長委嘱ノ件
徳川會長ヨリ永井松三氏ヲ事務局長ニ推薦ノ旨説明アリ滿場異議ナク之ヲ承
認ス
一、松永委員ヨリ委員代理ノ件ニ關シ質問アリタル結果、市長、助役ノ代理ハ
他ノ助役、市會議長ノ代理ハ副議長トスル如ク關係相當機關ガ代理出席スル
ヲ得ル原則ヲ承認ス
一、事務局職制中改正ノ件
改正案第二條中事務次長ノ設置及員數ニ關シ質疑應答アリタルモ改正原案ヲ
異議ナク承認セリ
一、神戶局長回答ニ關スル件
本件ハ急ヲ要スルニ付事務局長ノ就任ヲ俟テ直チニ研究決定スベキコトトセ
リ
一、松永委員ヨリ主競技場建設地トシテ神宮外苑以外ニ之ヲ求ムルコトハ絕對
不可能ナリヤ又不可能ナリトセバ收容人員拾萬人程度ニ擴大スル要望ニ關シ
副島委員ノ意見ヲ質シタルニ副島委員ハ前者ハ既ニ決定セルモノナリ但シ後
者ニ關シテ個人トシテモ十分努力スベキ旨ヲ答ヘタリ
尙副島委員ノワルソ會議經過報告ハ次回ニ之ヲ延期スルコトトナンシ次回ハ
十九日ニ開催スベキヲ決定シ、午後六時十五分閉會セリ

○常務委員會

第十二回常務委員會議事録

昭和十二年八月二十日午後二時事務局長室ニ於テ開催
伊東、三邊、平沼各常務委員、嘉納委員、永井事務局長、岩原、草間、高島各
總務委員、郷競技部長、宮本幹事、小野市建築課長、白山囃託、廣田(代理常
務委員)出席
一、主競技場以外各競技場ニ關スル豫算ニ付前回常務委員會提出原案ニ基キ檢
討ヲ繼續セルモ水泳競技場敷地ハ神宮外苑トスルカ或ハ他ニ之ヲ求ムルカハ
至急決定ノ要アリ、更ニ次回ニ於テ審議スルコトトナセリ
一、財政計及ビ財源問題ニ關シ研究審議ヲナシタルモ尙一層研究ノ要アルニ
付次回ニ於テ審議ヲ繼續スルコトトナンシ、次回常務委員會ヲ來ル廿四日(火)
午後二時開催ニ決定午後五時閉會セリ

○總務委員會

總務委員會第一回委員會

總務委員會第一回委員會ハ四月廿六日第五回會議開會後大體毎月曜日開會シ
第六回ハ五月三日、第七回同月十日、第八回同月十七日、第九回同月卅一日、
第十回六月七日、第十一回同月十四日、第十二回同月廿一日、第十三回同月廿
八日、第十四回七月六日、第十五回同月九日、第十六回同月十九日、第十七回
八月二日、第十八回同月九日、第十九回同月十六日、第二十回同月廿四日ニ開會
セリ

○競技場施設委員會

第一回主競技場委員會議事録

時日 昭和十二年八月十八日午後四時 事務局
出席者 事務局長、山本、宮本、佐藤、本多、津田、山田、河崎、岩崎、松
澤、友安

主競技場施設計畫案

一、部屋制
イ、選手室ハ陸上競技參加國男子四十箇國、女子二十箇國トシ一室ノ廣サヲ
(6x8m)トシ、男子一室ヲ占メルモノ十箇國、二室ニ二室ヲ當テル
モノ、男子三十箇國、女子二十箇國トシ二十五室、計三十五室トス。蹴球、馬
術等ノ選手室ハ此室ノ内一部ヲ充當ス。選手室ハ一室ニロッカー約二
十個置ク
ロ、シャワー室(6x8m)トシ男三室、女二室、便所ヲ併置ス
ハ、浴場、オリンピックトシテハ強イテ必要ナキモ、現在ノ小サキモノ位ノ
浴室二箇所位希望ス。但シオリンピック後選手室ノ一部ヲ改造シテモヨ
シ
以上各室ハグランド・フロアーナル事ヲ要ス
ニ、役員室。國際聯盟役員室、審判員室ハ正面下部ニ二室以上ヲ要ス
外ニフロントラム攝寫室一、競技團體役員室二以上
ホ、本部室。上層競技部長席ニ附屬シテ設ク、二室以上ヲ必要トス
ヘ、皇族室、貴賓室、オリンピック委員室、隨員室ノ各室ヲ要ス
ト、記者室。記者席ノ後方、記者專門郵便局ト接続シテ設置ス
チ、救急寮室ハベッド三、四ヲ置ク、醫務室、醫事研究室ハ(10x12m)以
上トシ動力線引込ヲ必要トス
リ、警官詰所、憲兵詰所、二三室
ス、電信、電話、郵便局、記者専用ノモノハ記者席後方ニ一室
(10x8)、M.A.N.T.フロアー公衆用ノモノ(4x12)一箇所、他ニ一
三室、電話交換室(10x10)一室、公衆電話多數
ル、寫真現像室、寫真電送室(4x5)
ワ、テレビジョン室、別紙参照
ヲ、擴聲器調整室
カ、放送調整室
ヨ、銀行、外國貨幣兩替ヲ主トス
ク、國旗整理室(掲示室ニ接続)
レ、掲示室(掲示板後方)
ニ、音楽隊控室
ツ、管理署詰所

未受附

ナ、守衛詰所
ラ、器具置場、陸上競技八室、馬術障礙置場、蹴球器具置場
ム、既食、水槽
ウ、物置
キ、器械室
ク、印刷室。本部ニ接続シテ設ク
カ、食堂。小サク數ノ多キ事
ク、賣店
ヤ、便所。收容人數ヲ考慮シテ設ク事
マ、入口。出來ルグケ多數設ク一般觀覽者ハ階段ニテ中央ヨリ入ルラ可トス
ク、通路。費資、役員選手、記者、一般通路ヲ別トスル事、自轉車、オ
トバイ、等ヲ考慮スル事
フ、豫備室
一、觀覽席
(參照) オリンピック一般規定ニ據ル指定席ニ關スル規約左ノ如シ
第二十六條 指定席
新聞通信員ノ爲メ大觀覽席以外ニ組織委員會ハ左記ノ者ニ招待狀ヲ發行シ且
主競技場ニ指定席ヲ設クベキモノトス。即チ
A、スタンド 國際オリンピック委員及ビ其ノ家族
B、スタンド 國內オリンピック委員會長及ビ各國國際競技聯盟會長並ニ其
ノ家族
C、スタンド 國內オリンピック委員會委員及ビ其ノ招待者、但シ其ノ數ハ
最低四枚、最高二十枚ノ範圍ニ於テ參加競技者十名ニ付一枚ノ割合ニ依
リ國內オリンピック委員會之ヲ受領ス
自國ノ參加セル各競技ノ公式代表者
各國國際競技聯盟主席
開備國各委員會委員
D、スタンド 各種審判員
以上ノ外競技者席トシテ決勝貼近クニ千五百ノ座席ヲ設備ス
主競技場以外ノ競技場ニテハ之ノ如シ。即チ通信員及ビA及ビBスタンド占
據者ノ爲メ座席ヲ保留ス
座席ノ許ス範圍ニ於テO及ビDスタンド占據者ノ爲メ觀覽席ヲ用意スベシ

(四)

其人競技場ニ於テ競技ノ競技者席ヲ保留スベシ  
但シ當該競技以外ノ競技者席ヲ必要トセズ  
イ、貴賓席、成ルベク中段ニ設置スル様考慮スル事  
ロ、Aスタンドノ椅子ハ取附ケノモノトセザル事  
ハ、Bスタンド N.O.C.及ビI.S.A.ニ關係ハ約二百  
ニ、Cスタンド  
ニ、記者席、代表的通信社ノ爲ボツクス十二、三  
ト、其他約千(伯林ハ千二百)  
ト、競技部長席、上層中央  
チ、警官席  
リ、指示場、青山側ニ設置、電光ニュース式ヲ研究中  
メ、マラソン塔、四谷側ニ設置  
ヲ、音楽隊席指示場下、合唱隊席之生側中央下  
ワ、救護班席  
一、照明設備、設計圖ニ依ツテ考慮ス  
一、通信設備、場内ノ分ハ設計圖ニ依ツテ考慮ス  
一、各競技場、新聞通信社間ノ専用電話、テレタイプ、普通電話モ設置ス  
一、機噐配置、設計圖ニ依ツテ考慮ス、役員室、選手室ニモ設置ス  
一、寫眞、活動寫眞撮影設備  
一、競技用ノモノハ陸上聯盟等ニテ研究中、一般ハ競技場ニハ入レズ、通路ヨリ  
撮影  
一、表彰、国旗掲揚設備、指示場上ニ設置  
一、裝飾、旗ヲ出来ルダケ多ク建タル事ヲ考慮スル事  
一、駐車場、更ニ研究  
一、競技場設備  
一、トランス、コンキールド、蹴球ノ陸上聯盟ノ意見ヲ斟酌スル事  
一、馬術、障礙、水泳等ハ種々用意スル事  
一、障礙遊藝等ノトランス出入ヲ考慮サレ度  
一、馬術準備運動場ヲ考慮サレ度  
一、式典ニ關シ選手集會場、式典參列者出入口ヲ考慮スル事

報 雜

地下道、設計圖ニ依ツテ考慮スル事  
一、北海道廳長官石黒英彦氏、東京市國際オリンピック委員会長中塚榮次郎氏、  
大日本體育協會事務理事那桐隆氏ハ組織委員会委員ニ推選セラレタリ  
一、八月十九日午後六時ヨリ滿鐵ビル内エトアルニ於テ徳川會長主催永井亦  
務總長就任披露會開催セラレタリ  
一、八月二十日東京會館ニ於ケル日本陸上競技聯盟主催米國代表陸上競技役員  
並選手一行歡迎晚餐會ニ徳川會長ヨリ祝辭ヲ呈セリ、當日ハ會長缺席ノ爲永  
井事務總長右祝辭ヲ代讀セリ  
一、八月二十四日東京ニエトグラントニ於テ組織委員会並大日本體育協會共同  
主催ノ下ニ米國代表陸上競技役員並選手一行歡迎晚餐會ヲ開催セリ、徳川會  
長、米國大使代理エス・クロツカハ氏、嘉納、副島I.O.C.委員、平沼大日本體  
育協會副會長、永井事務總長以下陸上關係者多數參列、徳川會長ノ祝辭、米  
國大使ノ祝辭、次テ一行ノ監督ハンター氏ノ答辭有リ、和氣嘉々裡ニ九時半  
散會ス  
一、組織委員会々長徳川家達公府ハ八月廿八、廿九兩日明治神宮外苑競技場ニ  
舉行ノ日米對抗陸上競技大會名譽會長就任ヲ承諾セラル  
一、八月廿八日明治神宮外苑競技場ニ舉行ノ日米對抗陸上競技大會ニ於ケル百  
十米障礙競走ニ對シ日本I.O.C.委員ヨリトフキー一箇ヲ贈レリ  
八月二十日東京會館ニ於テ永井事務總長代讀  
人會長祝辭  
It is most gratifying to have this opportunity, through the courtesy of  
the Amateur Athletic Federation of Japan, to spend a pleasant evening  
here welcoming the Field and Track team of America.  
We well remember that in 1932 when the Xth Olympic Games were  
held in Los Angeles, Japan, sent a force of two hundred strong and  
they were the recipients of warm reception accorded there, both official  
and private, for which we are exceedingly grateful. In 1934, we were

報 會

fortunate to invite the American team, with whom our men had the  
competitions in Tokyo and Osaka. However, neither party could record  
a complete winning score and the present visit would give the chance to  
decide as to who will carry the day.  
We look forward to the occasion with keen interest and pleasant  
anticipation. It is sincerely hoped that on the 28th and 29th both will  
show their best.  
It happens that the field, where you will meet on those two days is  
going to be the Stadium for the Olympiad, 1940, three years after, and  
the days will be about the same in that year. Kindly bear these in  
your mind and tell your fellow athletes about the experiences, and  
impression you obtain while here. We sincerely hope that your country-  
men will, learning from you about this country, be persuaded to partici-  
pate in the Olympic Games in a very large number.  
As the Chairman of the XIth Olympiad Tokyo 1940, I wish you  
every success in the present meet and congratulate you for the occasion  
you enjoy.

八月二十四日東京ニエトグラントニ  
於ケル徳川會長祝辭

Friends from America and Gentlemen:  
We are very glad to see you here safely arrived after a long journey.  
You are the bearer of the world-wide reputation as the strongest in the  
United States and the Japanese team should be congratulated upon  
having an opportunity to compete with such a fine group of chosen  
athletes. I am more than happy and beg to extend hearty welcome.  
At present we are busily engaged with the great task of preparing for  
the Olympiad which is to be held in Tokyo in 1940.  
On the 28th and 29th of this month, your competition with our men  
will take place at the Meiji Shrine Outer Garden. That is to be the  
very location in which the stadium is built, and the next time you see

us, I am sure, it will be reconstructed into a most ideal Olympic  
Stadium.  
The Olympic Organizing Committee of Japan strongly expects to have  
a large number of delegates from your country present in the coming  
1940 Games, much greater than the number of those whom we sent to  
Los Angeles.  
It is our firm intention to leave no stone unturned to make that event  
finer than those held in Los Angeles and Berlin, not at all inferior to  
any preceded.  
I beg of each and every one of you who are present here to-night  
that you will come again in a large party of your companions and show  
your very best to win worthy results in the coming Olympic Games.  
As the President of the Olympic Organizing Committee, allow me to  
express greetings, sincere though brief, from the bottom of my heart and  
wish you a pleasant stay in this country.

(五)

昭和十二年八月三十一日印刷  
 昭和十二年九月一日發行  
 (毎月三回一  
 十日二十日發  
 行)

西四廿●利 發行所 東京市赤坂區榮町二丁目  
 西四一六號電話二一四〇

東京市  
 中屋三間印刷株式會社

東京市  
 中屋三間印刷株式會社

I-0489





第十二回オリンピック  
東京大会組織委員会

# 會報

第十四號

昭和十二年九月十日發行

第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局  
赤坂區表町滿鐵ビル四階  
電話赤坂(48)三〇八一番  
三〇一五番

## 辭令

事務局競技部事務ヲ環託ス  
堀田 翠  
永井 彰一郎  
専門委員ノ委嘱ス (科舉施設委員会)  
平松 榮  
専門委員ノ委嘱ス (競技場委員)

## 議事録

### ○總務委員会

總務委員会第一部委員会

八月三十日午後四時半より議長室ニ於テ第二十二回委員会ヲ開催セリ

### ○競技場施設委員会

第二回主競技場委員会議事録

時日 昭和十二年八月二十五日 午後四時 事務局

出席者 山本委員長、金井外苑管理署長、宮本幹事、野村、倉垣(代理)、岩崎、佐藤、津田、金井、高野(代理)、下津屋、山田

競技場施設委員会

委員長 山本 忠興

競技部長 郷 隆 殿

主競技場施設ニ關スル件

拜啓、本委員会ニ於テハ去八月十八、二十五兩日主競技場ニ關スル委員会ヲ開催、主競技場施設ニ關スル希望條項ヲ左ノ如ク決定仕リ候間右明治神宮外苑管理署ニ御提出被成下度候。 敬具

主競技場ニ關スル希望條項

一、部屋割

イ、選手室ハ陸上競技参加國男子四十箇國、女子二十箇國トシ一室ノ廣サヲ最小(5×5)トス、男子一室ヲ占メルモノ十箇國、二國ニ一室ヲ當テルモノ男三十箇國、女子二十箇國トシ二十五室、計三十五室トス。  
ロ、選手室ニハ一室ニロッカー約二十人分ヲ置ク  
ハ、日本式浴場、オリンピックトシテハ強ク必要ナキモ、現在ノ小サキモ

ノ位ノ浴室二箇所位希望ス。但シオリンピック後選手室ノ一部ヲ改修シテモコシ  
 以上各室ハグランド・フロアーナル事ヲ要ス  
 六、役員室、因際聯盟役員室ハ正面下部ニ置キ選手室ノ四倍ヲ要シ相當ノ裝飾ヲ希望ス。審判室、聯盟役員室ニ隣接シ候ハ選手室ノ二倍、外ニプロクラム編纂室(選手室ノ二倍)、競技團體役員室(以上二室ハ選手室同様)  
 七、本部室、上層競技部長席ニ附屬シテ設ク、三室(6×6)ヲ必要トス  
 八、皇族室、貴賓室、オリンピック委員会、職員室ノ各室ヲ要ス  
 九、記者室、記者席ノ後方、記者專門郵便局ト接続シテ設置ス  
 十、救急療養室(選手室ノ二倍)ハ選手出入口ニ近ク設置シベツト三、四ヲ置ク、警務室、警事研究室ハ  
 (10×15m) 以上トシ動力線引込ヲ必要トス  
 リ、警官詰所、憲兵詰所、二、三室  
 ス、通信、電話、郵便局、記者専用ノモノハ記者席後方ニ二室(選手室ノ三倍)  
 (10×8)、グランド・フロアーニ公衆用ノモノ、選手室ノ三倍(二箇所、東側ニ一箇所(選手室ノ三倍)、私設電話交換室一室、選手室ノ三倍)、公衆電話二十(四十種)、電池室(6×6)  
 ル、寫眞現像室(選手室二倍)、寫眞電送室(6×6)  
 ソ、テレビジョン室、  
 リ、擴聲機調整室(6×6)、電力電池室(6×6)  
 カ、放送調整室  
 コ、銀行、外國貨幣兩替ヲ主トス  
 ク、國旗整理室(揚示室ニ接続)  
 レ、揚示室(揚示機後方)  
 ノ、音楽隊控室  
 ツ、管理署詰所  
 ネ、受附  
 ナ、守衛詰所(警備員三室)、入夫(二室)  
 ラ、器具置場、陸上競技八室、馬術障礙場、蹴球器具置場、體操器具置場  
 ム、厩舎、水槽(主競技場隣接地ニ置ク)  
 ヂ、物置

平、器械室(電力調整室其他)  
 ノ、印刷室、本部ニ接続シテ四室ヲ設ク(二室 6×6) 製  
 オ、食堂、小サク敷ノ多キ事ヲ要ス  
 ク、賣店  
 ヤ、便所、收容人数ヲ考慮シテ設クル事  
 マ、入口、出来ルダケ多數設ケ一般觀覽者ハ階段ニテ中央ヨリ入ルノ可トス  
 ク、通路、貴賓、役員選手、記者、一般ノ通路ヲ別トスル事、自轉車オートバイ等ヲ考慮スル事  
 フ、豫備室  
 一、觀覽席  
 (參照) オリンピック一般規定ニ據ル指定席ニ關スル規約左ノ如シ  
 第二十六號 指 定 席  
 新聞通信員ヲ爲ノ大觀覽席以外ニ組織委員會ハ左記ノ者ニ招待狀ヲ發行シ且主競技場内ニ指定席ヲ設クベキモノトス。即チ  
 A スタンド 國際オリンピック委員及ビ其ノ家族  
 B スタンド 國內オリンピック委員會長及ビ各國國際競技聯盟會長並ニ其ノ家族  
 C スタンド 國內オリンピック委員會長及ビ其ノ招待者、但シ其一席ノ數ハ最低四枚、最高二十枚ノ範圍ニ於テ參加競技者十名ニ付一枚ノ割合ニ依リ國內オリンピック委員會長之ヲ受領ス  
 自國ノ參加セル各競技ノ公式代表者  
 各國國際競技聯盟主席  
 參加各國派遣團團長  
 開催國各委員會委員  
 開催國各各種審判員  
 D スタンド 各種審判員  
 以上ノ各競技者席トシテ決勝階近クニ千五百ノ座席ヲ設備ス  
 主競技場以外ノ競技場ニテハ次ノ如シ。即チ通信員及ビA及ビBスタンド占據者ノ爲ニ座席ヲ留保ス  
 座席ノ許ス範圍ニ於テC及ビDスタンド占據者ノ爲ニ觀覽席ヲ用意スベシ、其ノ競技場ニ於テ競技ノ競技者ヲ留保スベシ  
 但シ當該競技以外ノ競技者席ヲ必要トセス  
 イ、貴賓席、成ルベク中段ニ設置スルヲ考慮スル事  
 ロ、A スタンドノ椅子ハ取附ケルモノトセザル事、I.O.C.關係ハ約二百

其他各國大使、高官ニテ計五百位ニ留ムル事  
 ハ、B スタンド N.O.C.及ビI.S.F.關係ハ約二百、國內關係者ト合セテ計五百  
 ニ、C スタンド 約二千  
 ホ、D スタンド 約五百 其他計二千  
 ヘ、記者席、代表的通信社ノ爲ホツクス十二、三  
 其他約千(伯林ハ千二百)  
 ト、競技部長席、上層中央  
 チ、警官席  
 リ、揚示場、青山側ニ設置、電光ニュース式ヲ研究中  
 ス、マラソン塔 四谷側ニ設置  
 ル、放送場所  
 ノ、音楽隊席、揚示場下、台階階席、芝生側中央下  
 ソ、救護席  
 リ、照明設備、設計圖ニ依ツテ考慮ス  
 、通信設備、場内ノ分ハ設計圖ニ依ツテ考慮ス  
 、各競技場、新聞通信社間ノ専用電話、テレタイプ、普通電話モ設置ス  
 、擴聲器配置、設計圖ニ依ツテ考慮ス、役員室、選手室ニモ設置ス  
 、寫眞、活動寫眞機設置設備  
 、競技用ノモノハ陸上聯盟等ニテ研究中、一般ハ競技場ニハ入レス、通路ヨリ撮影  
 、表彰、因旗揚揚場設備、揚示場上ニ設置  
 、裝飾、旗ノ出来ルダケ多ク建テル事ヲ考慮スル事  
 、駐車場、更ニ研究  
 、競技場設備  
 イ、トラック、フィールド、蹴球ハ陸上聯盟ノ意見ヲ斟酌スル事  
 ロ、馬術、障礙ノ水溝等ハ豫メ用意スル事  
 ハ、馬術準備運動場ヲ考慮サレク  
 ハ、式典ニ關シ選手集合場、式典參列者出入口ヲ考慮スル事  
 ニ、地下道、設計圖ニ依ツテ考慮スル事

雜 報

一、オリンピック競技會終身名譽會長ヒエルト・クーパー男爵ハ去ル九月二日瀧血ノ爲ニジュネーブニ於テ逝去サレタリ  
 一、クーパー男爵逝去ノ報ニ接シ、徳川、嘉納、副島三I.O.C.委員及組織委員會ヨリ電ヲ發セリ  
 一、クーパー男爵逝去ニヨリ組織委員會及大日本體育協會名ニ於テ花環並函ヲ發前ニ供ヘタリ  
 一、英ニ冬季オリンピック大會札展招致ニ盡力セラレタル橋田昌植男爵ニハ九月十日横濱入港ノ日枝丸ニテ歸朝ノ旨通知アリタリ  
 一、専門委員(競技場委員) 財部實氏ハ同委員ヲ辭サレタリ

クーパー男爵逝去ニヨリI.O.C. 委員ヨリノ弔電  
 Please convey our sincerest condolences to bereaved family on death of beloved founder of Modern Olympiad stop Tokugawa Kano Syusshina

クーパー男爵逝去ニヨリ組織委員會ヨリノ弔電

Japans Organizing Committee expresses deepest condolence for death of Baron Comberth. His monumental service and ideal for sports will unfortunately be cherished by posterities

寄附金 受付

八月三十日 金 五 四 也 田 所 正 治 殿  
 累計金拾參圓貳拾四錢也

昭和十二年九月十八日発行別 (毎月二十日發行) 西四 利 發行所 東京市赤坂區赤坂二番地南 洲鐵道株式會社東京支社ビルヂン 會組織委員會事務局 京橋區築地四ノ四 中屋三間印刷株式會社

[Faint, mostly illegible text, likely bleed-through from the reverse side of the page]

I-0489

0051



第十二回オリンピック  
東京大会組織委員会

# 會報

第十五號

昭和十二年九月二十日發行  
第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局  
赤坂區赤坂町滿鐵ビル四階  
電話赤坂(48)三〇〇八—五番

## 辭令

事務局宣傳部事務ヲ驅罷ス(九月六日附)  
伊勢田智江  
競技部勤務ヲ命ス(九月六日附)  
伊勢田智江

## 議事録

### ○常務委員会

#### 第十三回常務委員会議事録

八月二十四日午後二時事務總長室ニ於テ開催伊東(代理岩原文部省體育課長)三邊、平沼各常務委員、嘉納組織委員、永井事務總長、草間、宮本各幹事、高島總務委員、小野東京市建築課長出席  
一、前回議事録確認  
一、財政計畫及財源問題ニ關シテハ尙一層研究スルコト、セリ  
一、冬季オリンピック札幌大會實行委員追加ニ關シテハ大體之ヲ承認シ組織委員會ニ付議スルコト  
一、冬季オリンピック委員会實行委員規則ノ研討ヲナシタリ

### ○總務委員会

#### 總務委員会第一部委員会

九月六日午後四時半ヨリ總長室ニ於テ第二十二回委員会ヲ開會、委員全部、事務總長等出席セリ  
昭和十二年九月八日午後二時ヨリ滿鐵會議室ニ於テ開催、田、川面、本野、宮本、堀木、高田、高久、成澤、阿部、久富、青木ノ各委員、事務局側ヨリ永井總長、宮本、高橋、白山、市川、坂場、西四辻、出席、協議ニ先チ田委員長ヨリ新任鐵道省旅客課長堀木鎌三氏ヲ紹介シ永井事務總長ヨリ就任ノ挨拶ニ次テ時局概現在各方面ニ於テオリンピック開催ニ付種々ナル臆測ガ行ハレ居ルモ組織委員會事務當局トシテハ從來通り開催ノ方針ニ何等變更ナキ態度ヲ以テ邁進スル覺悟ナルヲ以テ各委員ニ於カレテモ今後一層本事業ノ達成ニ努力セラレタキ旨希望シ協議事項ニ入ル  
協議事項  
一、時局ニ關シテオリンピック宣傳ヲ如何ニスルヤ



本件ニ關シテハ大會中止等ノ豫測ヲ一掃スル爲事務總長ノステートメントヲ發表シ又オリンピック、ニュースニ挿入發送スルコトト決定ス

尙本件ニ關聯シテ内宣傳ニ關スル諸問題出テ其ノ機構、實施、方法等ヲ研究スルコトトナレリ

一、宣傳部ニ寫眞班設置ノ件  
寫眞班ノ設置ハ宣傳ノ實行上極メテ必要ナルモ撮影ニ關シテハ各競技團體ト交渉スルノ要アルヲ以テ競技部ニ於テ研究ノ上設置スルコトト決定ス

二、クリスマス、カード作製ノ件  
本件異議ナク可決作製部數及其ノ費用左ノ如シ

イ、部數、二、〇〇〇部  
ロ、費用、四二、〇〇〇

印刷費、二〇〇、〇〇〇（單價一〇錢）

圖案採擇料、六〇、〇〇〇

發送費、一六〇、〇〇〇

費用ニ關シテハ本年度内宣傳費算内ニテ之ヲ負擔ス

尙目下懸賞募集中ノオリンピック・ホスターノ審査日ハ本月二十四日午後二時ヨリ事務局ニ於テ之ヲ行フコトニ決定ス

### 雜報

會長招待懇談會  
九月七日徳川會長ハ小橋副會長、嘉納、副島、伊東、三邊、平沼各組織委員並ニ永井事務總長ヲ華族會館ニ招待、懇談會ヲ催セリ

首相ト會見  
九月九日徳川會長、小橋副會長、平沼組織委員、永井事務總長ハ首相ト官邸ニ訪問、近衛首相、馬場內相、安井文相等ト協議懇談セリ

稲田昌植男歸朝  
九月十日横濱入港歸朝ノ管ノ所、乗船ノ都合ニ依リ九月九日夜無事歸朝サレタリ

### 寄附金受付

九月七日 金五拾錢也 中村治三郎殿  
尙組織委員會事務局開設以前左記ノ通り寄附金受付ヲ爲セリ

金壹萬圓也 東京朝日新聞社殿  
金五千壹百拾圓也 大阪毎日新聞社殿  
金五千圓也 大坂市東區北區三丁目  
金五百圓也 京阪府錦路一丁目  
金拾圓也 京阪府東區東區三丁目  
金拾圓也 大坂市北區信濃町三丁目  
金拾圓也 野添朝、司殿  
累計壹萬五千壹百拾圓貳拾四錢也

### 永井事務總長ステートメント

#### (Statement of the General Secretary of the Organizing Committee of the XIIIth Olympic Games Tokyo 1940.)

For the past several days various rumours were noted to have been in circulation, some of them even appearing in Tokyo's vernaculars, that Japan will decline the scheduled holding of the 1940 Olympiad in Tokyo. It must be stated here that all these rumours had no ground whatever to attest to their authenticity. They were entirely contrary to the actual circumstance in which the matter at issue now stands.

Although there is no doubt that the international situation in the Far East is strained at the present moment, the fundamental stand as maintained by Japan has undergone no change whatever. It has always been the sole desire and determination of Japan to strive toward a firm establishment of the peace in the region and the belief that the ominous cloud now overhanging will soon pass away is entertained by the nation.

Under the circumstances, Japan sees no reason why she should decide on the abandonment of the forth-coming international athletic meet to be staged in Tokyo three years ahead.

On September 8, the Olympic Committee of the Municipality of Tokyo, the host to the 1940 Olympiad, passed a resolution to continue preparations with a view to holding as scheduled the 12th Olympic Games in 1940 here. Nor to the athletic organizations concerned in Japan alter their unwavering resolve to hold it. The Japanese Government, too, let it be clearly stated here, has on no occasion in the past shown any gesture indicative of its inclination toward declining the 1940 Olympiad.

While taking fully into account the gravity of the current situation confronting Japan, the Organizing Committee will not relax its

efforts and appropriate measures so that all requirements for the realization of the plan for the coming international event will be timely ready.

We hereby wish that all the misunderstandings on the matter be wiped away both at home and abroad so that the foreign nations as well as the Japanese nation may not be misled concerning the question at issue.

Dr. Matsuzo Nagai,

General Secretary of the Organizing Committee of the XIIIth Olympic Games Tokyo 1940.

September 11, 1937

### 諭旨豫告

九月廿二日 競技部委員會  
自午後四時半、於總長室

九月廿四日 オリンピック、ホスター審査會  
自午後二時、於エトアール

昭和十二年九月二十八日印刷

（毎月三回一日  
十日二十日發行）

● 社 長

● 副 社 長

● 發 行 所

東京市赤坂區榮町二番地南滿洲鐵道株式

● 東京大

● 社東京支社ビルヂン

● 綫委員會事務局

● 印刷所

● 東京市

● 中屋三間印刷株式會社

（Faint, illegible text in the upper section of the page, possibly a list or report.)

（Faint, illegible text in the lower section of the page, possibly a list or report.)

I-0489

0054



第十二回オリンピック  
東京大会組織委員会

# 會報

第十六號

昭和十二年十月一日發行  
第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局  
赤坂區英町滿鐵ビル四階  
電話赤坂(48)三〇一五番

## 第二課長

### 議事録

#### ○總務委員會

##### 總務委員會第一部委員會

九月廿日午後四時半ヨリ總長室ニ於テ第二十三回委員會ヲ開會セリ

#### ○競技部委員會

##### 第十一回競技部委員會議事録

時日 昭和十二年九月二十四日午後四時半 於事務所

出席者 郷、宮木、松澤、小澤豊、本井、鈴木(代)、小川、山崎、近、森、小林、石田、小澤吉、小野寺(代)、兒島、二瓶各委員ノ外永井事務局長  
協議並ビニ承認事項

- 一、前回議事録承認
- 一、各報告承認
- 一、永井事務局長挨拶
- 一、時局ニ對スル競技團體ノ動勢懇談
- 一、國際競技聯盟、日本國內競技聯盟及ビ競技部トノ連絡方法ヲ決定
- 一、競技部委員會權限ノ確認

- 一、東京大会規則書第一版ニ記載スベキ諸事項ハ來ル十月十五日迄ニ提出スルコトニ決定
- 一、番外競技ノ整備ヲ協議
- 一、大會期日ニ關スル協議
- 一、クリンケベルグ氏ノ權限説明

### 記事

#### オリンピックポスター審査會

昭和十二年九月廿四日午後二時ヨリ滿鐵ビル内エトアルニ於テ、去九月二十日締切ニテ再募集シクルオリンピックポスターノ審査會ヲ開會、田園隆光局長、永井事務局長、森村大日本體育藝術協會々長、伊藤康、猪熊弦一郎、成澤金兵衛、秋山徹補、東郷青兒、福原信三、足立源一郎、青山義雄、中島健藏、星野辰男、各審査員、高田、高久、總務委員會第二部委員、外ニ小野寺氏、齋藤氏、事務局ヨリ高橋、西四辻、市川、宮武、坂場、等宣傳部關係者集合、正二時ヨリ再募集ニテ應募セラレタル七百八十一點中ヨリ下選リン、發選ニ發選ヲ取左記六氏ノ當選ヲ見ルニ至リクリ

- 一等 黒田典夫
- 二等 山名文夫
- 三等 赤羽喜一
- 同 加藤清澄
- 同 脇田和
- 同 荒川寅一

I-0489



雜報

チエンチエツキー氏來朝

第五回冬季オリンピック札幌大會ニ於ケルホツクスレー・コース建設々計ノ  
爲斯道ノ權威者タルチエンチエツキー氏ハ九月十八日午前八時横濱入港ノブレ  
ジデント・オブ・ジャパン號ニテ夫人同伴來朝、在京二日ニシテ直チニ札幌ニ  
赴キ、コースヲ視シテ檢分目下在札中ナリ

大島副會長辭任

九月廿日組織委員會副會長大島又彦氏ハ大日本體育協會々長ヲ辭任セラレク  
ルニコリ同時ニ副會長ヲモ附セラレ

ポスター審査會

去六月卅日締切七月五日審査センオリンピックポスターハ當時記載シクル如  
ク海外ニ誇リ得ル優秀作品ナキトノ理由ヲ以テ締切ヲ延期、九月廿日再募集  
締切ヲナシ、九月廿四日別記ノ如ク滿鐵ビル内エトアルニ審査會ヲ開會、應  
募數七百八十一點中ヨリ嚴選ノ結果一等一名、二等二名、三等三名ヲ決定シク

稲田男勲迎會

九月廿四日正午徳川會長ハ、冬季競技日本招致ニ盡力セラレ最近歸朝サレク  
ル稲田昌植男ヲ滿鐵ビル内エトアルニ招待、歡迎午會ヲ開會、其ノ勞ヲ謝  
シタル所、稲田男ハ冬季競技招致ニ對スル簡單ナル報告アリ二時散會セリ、  
當日ノ出席者左ノ如シ  
稲田男、徳川會長、永井事務總長、伊東、副島、平沼、各組織委員、岩原、  
高島、各總務委員、小島全日本スキイ聯盟會長、小川、宮木、西四辻、

オリンピックポスター當選者  
氏名發表

一等 (二名) 金壹千圓也

京都市中京區新町通六角

松坂屋京都支店

黒田典夫 殿

二等 (二名) 金參百圓宛

東京市京橋區銀座八丁目

資生堂意匠部

山名文夫 殿

東京市大森區新井宿三ノ一三七四

赤羽喜一 殿

三等 (三名) 金貳百圓宛

京都市中京區新町通六角

松坂屋京都支店

加藤清澄 殿

東京市大森區久ヶ原八二八

脇田和 殿

大阪府中河内郡三野郷村玉井二一九

荒川寅一 殿

寄附金受付

九月十七日 金五圓也 一少女殿

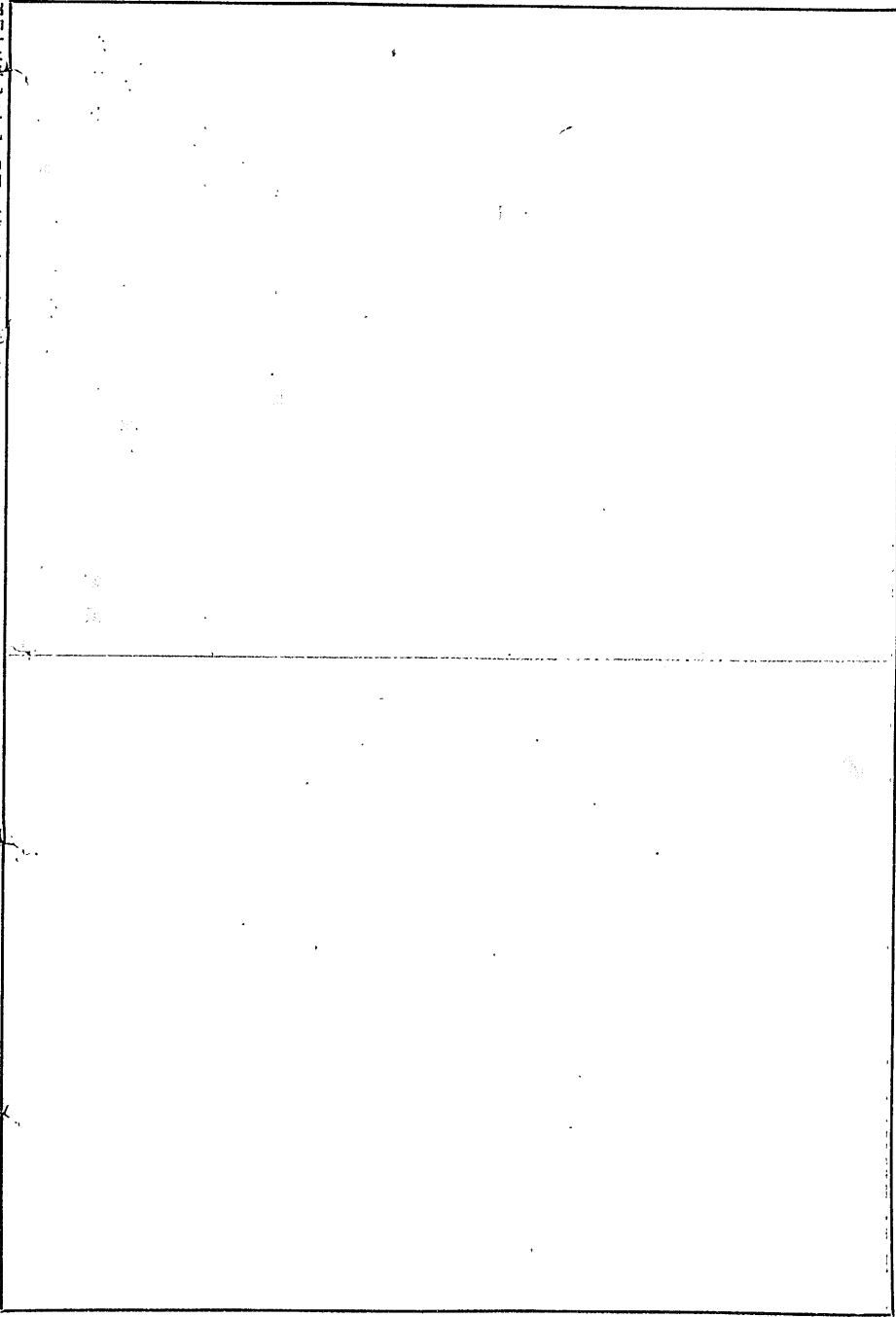
累計金壹萬五千壹百貳拾八圓七拾四錢也

前號中訂正

寄附金累計ヲ左ノ通り訂正ス

累計金壹萬五千壹百貳拾參圓七拾四錢也

昭和十二年九月十九日印刷  
昭和十二年十月一日發行  
（毎月三回）  
十日二十日發行  
編輯者 四辻公利  
發行所 東京市赤坂區赤坂二番地南滿洲鐵道株式會社東京支社ビルヂン  
六樓編輯委員會事務局  
京橋區築地四ノ四  
中屋三間印刷株式會社



I-0489

0050



第十二回オリンピック  
東京大会組織委員会

# 會報

第十七號

昭和十二年十月十日發行  
第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局  
赤坂區英町滿鐵ビル四階  
電話赤坂(48)三〇一五番

## 議事録

### ○總務委員會

#### 總務委員會第一分委員會

九月廿七日午後四時半ヨリ總長室ニ於テ第二十四回委員會ヲ開會セリ  
十月四日午後四時半ヨリ總長室ニ於テ第二十五回委員會ヲ開會セリ

## 雜報

### 久米正雄氏歸朝

英國皇帝陛下敍冠式參列ノ爲東京日々新聞社ヨリ渡英サル、ヲ機ニ、我方東京大会開催ノ宣傳ヲ委囑セン宣傳部囑託久米正雄氏ニハ去九月廿五日神戸着ノ照函九ニテ無事歸朝サレタリ

### 會長、明治神宮體育大會顧問就任

組織委員会々長徳川公爵ニハ明治神宮體育大會々長有馬良徳氏ヨリノ推薦ニ

ヨリ第九回明治神宮體育大會顧問就任ヲ承諾セラレタリ  
**スポーツ展覽會出品**

去十月一日ヨリ同月十五日迄ノ開期ヲ以テ目下横濱商工獎勵館ニ於テ開催中ノ横濱商工會議所主催(神奈川県、横濱市役所、大日本體育協會後援)スポーツ展覽會ニ對シ當組織委員会ヨリ左ノ出品ヲ爲セリ  
一、伯林オリンピック大會々場模倣  
一、其ノ他

### 公認マーク決定

組織委員会ニ於テハ衆ニ募集シタルマーク中一等當選作ニ修正ヲ加ヘ之ヲ公式マークト決定シタルモ、同マークハ一般ノ使用ヲ許ササルモノナルヲ以テ、今回佳作三點中ヨリ別記マークヲ選定、之ヲ公認マークトシテ一般ノ使用ニ供スルコト、決定セリ

### 國民使節諸氏へ委囑

今回國民使節トシテ諸外國へ赴カル、高石真五郎氏、伍堂草雄氏、男爵大倉喜七郎氏、松方幸次郎氏、鈴木文治氏ノ諸氏ニ對シ、彼地ニ於テオリンピック東京開催ノ問題ガ論議サル、ヲ豫想シ、機會アル毎ニ我方東京開催ニ就イテノ不變ナル態度ヲ説明サル、謀求非事務總長名ヲ以テ依頼セリ

I-0489



競技部長聲明

十月六日、本部長は、在京外新聞記者團ヲ通シ、第十二回オリンピック東京大会開催ニ關スルステートメントヲ發表セリ

クリンゲベルグ氏秘書

東京大会技術顧問クリンゲベルグ氏秘書ハルトマン嬢クノレレ嬢ハ十月十三日神戸着ノ由九ニテ來朝ノ豫定

クリンゲベルグ氏

東京大会技術顧問クリンゲベルグ氏ハ、愈々十月十四日桑港出帆、來十月二十八日頃横濱着ノ後父丸ニテ來朝ノ筈

郷競技部長ステートメント(邦譯)

日支事變ノ發生ニ依ツテオリンピック東京大会開催ニ危惧ノ念ヲ抱カレル世界ノ同志ニ對シ、我々ハ屢々聲明シテ通り、之レガ開催準備ニ着々進行中デアル事ヲ重々テ公表スルノ機會ヲ得ク事ヲ欣ブモノデアリマス  
今回ノ事變勃發ニ依リ、競技場設備ノ上ニ、多少ノ改變ヲ餘儀ナクサレテ事ハ事變デアリマスガ、之レニ依ツテ却テE・O・C諸氏ノ屢々指示セラレタル如キ、華美ヲ避ケオリンピック精神ヲ遵守シテ競技會ヲ開催シ得ル事トナツクモノト思フノデアリマス

東京大会ハ、此事變ガ更ニ擴大シテ日本政府ノ充分ナル助力ヲ仰ゲナクナツクトシテモ、我々ハ開催都市東京市ノ熱意ト我々スポーツ関係者ノ努力ニ依ツテ、オリンピック大会ヲ此東洋ノ都市ニ開催シ得ル事ヲ確信シ、此ノ點ニ於テ從來ノドノ開催因ニモ決シテ遜色ナキ大会クランメル事ニ一層ノ努力ヲ惜シマ

昭和十二年十月八日印刷(毎月三回一日一回) 西川社公利 發行所 東京市赤坂區赤坂二番地南滿洲鐵道株式會社東京支社ビルヂン 印刷所 東京市京橋區築地四ノ四 中屋三間印刷株式會社  
昭和十二年十月二十日發行(毎月三回一日一回) 西川社公利 發行所 東京市赤坂區赤坂二番地南滿洲鐵道株式會社東京支社ビルヂン 印刷所 東京市京橋區築地四ノ四 中屋三間印刷株式會社

ナイモノデアリマス

一九三六年十月六日

第十二回オリンピック東京大会  
組織委員會競技部長 郷

陸

寄附金受付

十月六日 金 五拾錢也 中村治三郎 殿  
累計 金壹萬五千壹百貳拾九圓貳拾四錢也

公認マーク





第十二回オリンピック  
東京大会組織委員会

# 會報

第十八號

昭和十二年十月二十日發行

第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局  
赤坂區英町蒲鉾ビル四階  
電話赤坂(48)三〇〇一五番  
二〇八一番

## 議事録

### ○總務委員會

#### 總務委員會第一部委員會

十月十一日午後四時半ヨリ事務總長室ニ於テ第二十六回委員會ヲ開會セリ

## 雜報

### 總長御機嫌奉伺

秩父宮同妃兩殿下 十月十五日御歸朝遊サレタルニ付奉祝ノクメ、永井事務  
總長ハ第十二回オリンピック東京大会組織委員会ヲ代表シ御機嫌ヲ奉伺セリ

### 國民使節へ委囑追加

先般我方東京開催ノ不變ナル態度ニ就キ説明ヲ依頼セン五氏ノ外尙左ノ三氏  
へモ同様之ヲ依頼ヲ爲シケリ

子爵 石井菊次郎氏  
町田 梓 樓氏  
芦 田 均氏

### ツエンチツキー氏

第五回冬季オリンピック札幌大会ニ於ケルホツプスレーコース建設々計ノ爲  
去月十八日來朝セシツエンチツキー氏ニハ、以來札幌ニ滞在、鋭意コースノ建  
設ニ努メラレシ處此ノ程之ガ決定ヲ見タルヲ以テ、工事指導ノ上十八日札幌出  
發、途中各地ヲ見物ノ後歸國ノ途ニ就カル、コト、ナリタリ。左ニ日程ヲ掲載  
スレバ

十月十九日	午前十時廿五分	上野	着
十月二十日			
十月廿一日	午前上野發日光へ	午後東照宮參拜ノ後中禪寺ノ龍頭	
十月廿二日	湯元泊		
十月廿三日	午後日光發歸京		
十月廿四日	午後新宿發	上野	泊
十月廿五日	霧ヶ峯視察	午後上野發	上野泊
十月廿六日	志賀高原視察	午後長野發	歸京
十月廿七日	午後三時東京發	京都	泊
十月廿八日	京都見物	奈良	泊
十月廿九日	奈良見物	大阪	泊
十月三十日	神戸出帆	照國丸ニ乗船	



建築展覧會出品

來ル十月二十日ヨリ同月二十六日迄一週間日本橋白木屋ニ於ケル建築學會主催第十一回建築展覧會ニ對シ左記出品方依頼有リタルニ依リ出品ヲ承諾セリ

一、第十一回オリンピック伯林大會々場模型

クリンゲベルグ氏秘書來朝

第十二回オリンピック東京大會組織委員會技術顧問クリンゲベルグ氏秘書ハルトマン、クノーラー兩氏ハ豫定ノ如ク十月十三日神戸着ノ由山九ニテ來朝、獨逸中央觀光局日本支局長ヨルン、レオ氏ノ案内ニテ關西方面ヲ旅行ノ後入京スルコト、決定セリ

オリンピック記者招待午餐會

十月十五日正午永井事務總長ハオリンピック記者ヲ諸鐵ビル内エトアールニ招待、午餐會ヲ開催シ就任挨拶等々懇談ヲ爲シタリ

公認マーク訂正

會報第十七號誌上ニ發表シタル公認マークハ五輪ノ組合セ方ニ誤リアリタル爲訂正マークヲ印刷配布セリ

オリンピック公認マーク

(會報第十七號記載ノモノハ誤リニツキ訂正)



昭和十二年十月十八日印刷(毎月三回、一頁) 東京市赤坂區赤坂三番地南滿洲鐵道會社支社ビルヂン印刷所 東京市京橋區築地四ノ四 中屋三間印刷株式會社  
昭和十二年十月二十日發行(十日二十日發行) 東京市赤坂區赤坂三番地南滿洲鐵道會社支社ビルヂン印刷所 東京市京橋區築地四ノ四 中屋三間印刷株式會社



第十二回オリンピック  
東京大会組織委員会

# 會報

第十九號

昭和十二年十一月一日發行  
第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局  
赤坂區表町滿鐵ビル四階  
電話赤坂(48)三〇八一番

## 辭令

金原淳  
黒岩浩一  
専門委員ヲ委嘱ス(科學施設研究會委員)  
事務局員 關靜男  
願ニ依リ解雇ス(十月十八日附)

## 議事録

### ○總務委員會

總務委員會第一部委員會

十月十八日午後四時半ヨリ事務局長室ニ於テ第廿七回委員會ヲ開會セリ

### ○競技部委員會

第十二回競技部委員會議事録

時日 十月二十二日午後五時 於事務局

出席者

郷、宮木、小川、山本、山崎、小野寺(代)、二瓶、小林、石田、李、木井、小澤豊、中岡、鈴木、白山、淺野

協議事項

- 一、前回議事録承認
- 一、關係委員中應答者報告
- 一、左記報告ヲ承認
  - イ、チエンチエツキー氏來朝、札幌會場調査及ビ歸國豫定
  - ロ、ボスター決定
  - ハ、競技部長ノ海外聲明
  - ニ、ハルトマン、クノール、兩旗來朝、上京
  - ホ、クリンゲベルグ氏來朝豫定
- 一、クリンゲベルグ氏來信(第二、第三)並ニ聲明書討論承認
- 一、東京大會規約第一版收録大會競技日程ニ關シ協議シ、併セテ各國ヨリノ申込期日ニ關シテハ日程決定ノ上ハ競技部ニ於テ規定ニ從ツテ處理スルコトニ決定
- 一、招待狀ニ關シ協議
- 一、各競技團體ノ役員名ヲ日、英、佛、獨、伊、西ノ各語ニテ競技部ニ通告スルコトト決定(規約第一版ニ使用)
- 一、各競技團體ガ東京大會ニ於テ實施スル競技種目ニ付キ伯林大會ト異ナレル種目ヲ加ヘタキ希望アラバ至急競技部ニ申出ラレ度キコトト決定
- 一、近代五種競技委員會ヲ設置スルコトニ決定

○科學施設研究会

第五回科學施設研究会議事録

日時 昭和十二年十月十四日午後五時  
場所 丸の内中央亭本店

出席者

石本委員長、福島、渡邊(俊)、井深、西村、内藤、明石、丹羽、小林(正)、佐々木、廣瀬、大森、橋元、眞島、今岡(久野氏代理)、田口、手塚、堀、松澤、飯田各委員、永井事務局長、郷競技部長、小川競技部主事

一、第四回例會議事録朗讀、確認  
一、永井事務局長、就任ノ挨拶ヲ兼テ、現下ノ時局ニ對シテ組織委員會ノ方針及財政的立場ヲ説明ス

協議事項

一、ピストル委員會佐々木委員ヨリ研究中ノ競技用競報装置「ピストル」ヲ目下製作中ナル旨報告  
一、冬季競技ニ使用ノ十分ノ一秒計時時計(滑降競走)百分ノ一秒計時時計(ボツフスレー)ニ關シ小川主事ヨリ該時計ノ使用方法等ニツキ説明シ、研究製作ヲ委嘱

小川主事委嘱ノ計時時計ニ關シ各委員間ニ於テ協議ス  
一、冬季オリンピック札幌大會實行委員會内ニ科學施設研究会設置セラレ當研究會トノ連絡ヲ希望ノ意向ナル旨小川主事ヨリ報告

一、西村委員ヨリ競技場掲示板ニ關シ研究中ノ文字ハ電光ニュース式採用ノ案ヲ報告、試作ヲ委嘱

尙掲示板ニ使用ノ文字ニ關シ組織委員會ニ於テ緊急決定ヲ願フコト  
一、決勝點判定用寫眞製作ハ重大時局ノ爲中止中ナル旨報告  
一、選省ヨリ申出ノ金原淳、黒岩浩一兩氏ヲ當研究会委員推薦、確認、次回例會ニ於テ兩氏ヨリレヴィジョンニ關シ説明方委嘱ノコト

一、フエシング協同會ヨリ依頼ノ審判用装置ニ關シ協議シ次回例會ニ於テフエシング協同會役員ヨリ説明ヲ求メルコト  
一、佐々木委員ヨリマラソン競走中ノ疾走距離表示ノ便宜計ヲ製作ノ可能ナル旨報告  
一、佐々木委員ヨリ疾走中ノ走者ノ速度及助走中ノ跳躍者ノ速度ヲ分解シ競技者練習ノ一助クランメル方法ノ可能ナル旨報告  
一、マラソン競走者ノ位置或ハ槍投、砲九投ノ投射地點ヲ「ネオン」ニテ観覽者ニ表示スル方法ノ可能ナル旨佐々木、井深兩委員ヨリ説明  
一、次回例會ニハ各種競技團體ヨリ委員ヲ出席セララルル様依頼ノコト  
一、次回例會ハ十一月十一日(木)午後五時半  
一、散會午後九時

雜報

小橋副會長退院

去ル九月十日腸炎ノ爲慶應醫院へ入院加療中ナリシ小橋組織委員會副會長ニハ其後經過極メテ良好ニテ本月十八日退院致サレタリ

クリスマスカード作成

各國I.O.C及N.O.C委員並ニ運動團體等ニ對シ送付スベキクリスマスカード式千枚ヲ作製セリ、尙掲載ノ繪ハ横山大觀、岩田正巳兩畫伯ニ依頼セリ

ハルトマン、クノール兩嬢入京

去ル十月十三日神戸入港ノ白山丸ニテ來朝シタルエー・ハルトマン、ジー・デー・クノール兩嬢ハ關西見物後愈々本月廿日午後九時入京目下山王ホテニ宿泊中ナリ

ツエッチツキー氏夫妻招待午餐會

十月廿三日正午、過日來札幌ニ於テボツフスレーコース建設ノ爲盡力サレシツエッチツキー氏夫妻ヲ招待滿鐵ビル内エトールニ於テ午餐會ヲ開催共ノ勞ヲ謝シタリ

當日ノ出席者左ノ如シ

ツエッチツキー氏夫妻、永井事務局長、稻田男爵、平沼組織委員、小島全日本スキー聯盟會長、岡見日本ボツフスレー協會副會長、ハルトマン嬢、クノール嬢、麻生、宮下全日本スキー聯盟役員、事務局側ヨリ宮木、小川、坂入、西四辻、及野上夫人

總務部一部移轉

事務局事務遂行上ノ便宜ヲハカル爲今回總務部ノ一部庶務ヲ滿鐵ビル内四〇五號室ニ移轉セリ、從テ總務部、競技部、宣傳部共一室ニ集ルコト、ナリタリ

昭和十二年十月三十日印刷  
昭和十二年十一月一日發行

（每月三回）  
十日二十日

編輯者 西四社  
發行所

東京市赤坂區榮町二番地

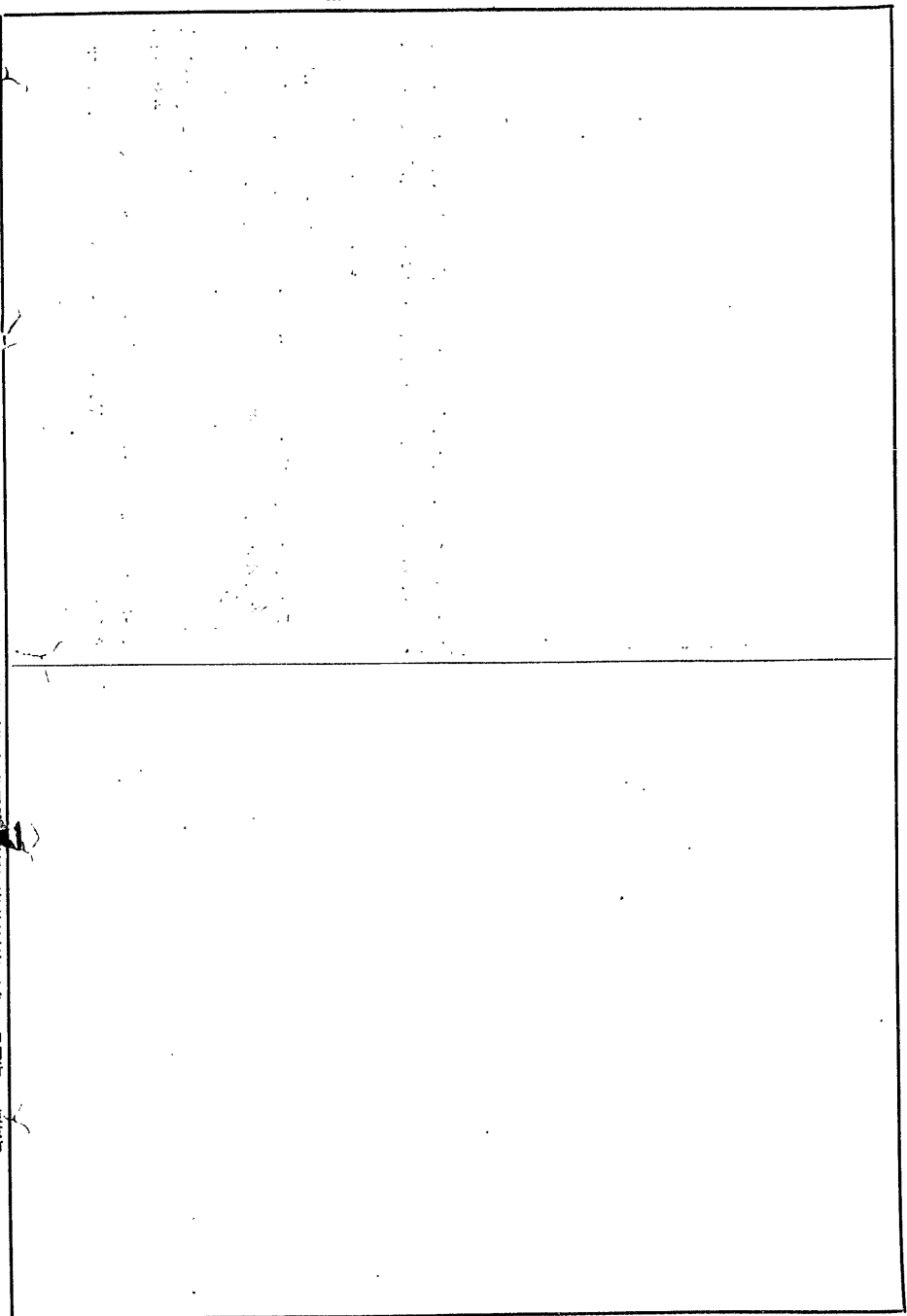
グ四一六號室  
電話二二〇

東京市南區南船場

株式會社東京支社ビルヂン  
東京市南區南船場

印刷所 東京市  
京橋區築地四ノ四

中屋三間印刷株式會社



I-0489

0064



第十二回オリンピック  
東京大会組織委員会

# 會報

第二十號

昭和十二年十一月十日發行

第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局  
赤坂區表町滿鐵ビル四階  
電話赤坂(48)三〇〇八一五番

## 辭令

(各通) 事務局技手 高橋 健次  
事務局庶務 木村 清義

事務終了ニ付解散ス (十月三十一日付)

## 雜報

### 門野重九郎氏歸朝

日本經濟使節團長トシテ歐米諸國へ出向中ノ組織委員会委員門野重九郎氏ハ去ル十月廿九日横濱着ノ秩父丸ニテ歸朝サレタリ

### クリンゲベルグ氏來朝

第十二回オリンピック東京大会組織委員会技術顧問、ウエルナー・クリンゲベルグ氏ハ去ル十月廿九日横濱着ノ秩父丸ニテ來朝直チニ徳川會長、嘉納、副島兩I.O.C委員、永井事務總長、文部省、東京市等ヲ訪問來朝ノ挨拶ヲ述ベ翌日ヨリ出勤セリ

### 在紐育澤田氏來翰

在ニューヨーク組織委員会顧問澤田一郎氏ハ日支事變ニヨル米國ノ輿論ヲ憂ヘオリンピック東京開催ニ就イテ懇切丁寧ナル意見ヲ當委員会宛書面ヲ以テ述ベラレタリ

澤田氏書面  
昭和十二年十月一日

紐育 澤田 一郎

第十二回オリンピック東京大会組織委員会御中

拜啓 時下國事多端ノ砌貴會愈々御隆昌邦家ノ爲メ一方御盛擧ヲ奈ウシ不並ニ御苦心ニ預居候段衷心感銘ニ不申堪、寔ニ難有奉深謝候  
陳者今般勃發ノ日支事變ニ關聯シ東京大会各方面ノ施設促進ニ對シテハ内地現狀ニ鑑ミ貴委員会ガ極メテ微妙ナル立場ニ置カレ居候事海外在住者ノ到底想像ダニモ及バザル所カト思料仕候得共當ニ大會ノ根本精神ニ則リ不斷御活動ヲ續行セラレ居候事ニ對シ亦遙ニ敬意ヲ表シ居候  
然ルニ東京大会ニ對シ米國側一般ノ受クル印象ハ我國ニ頗ル不利ニシテ其ノ最モ大ナルモノニ東京大会中止説有之、右ガ果シテ事實トスレバ日支問題解決ニハ相當長期間ヲ要スルモノト一般ニ觀察セラレ居候(中略)  
右ハ單ニ我國競技界ニ對シ不利ナルノミナラズ國策上ニ於テモ採ラザル所ニシテ(中略)飽ク迄モ開催既定方針ヲ表明セラル事ガ我國ノ大國クル所以ヲ世界ニ汎ク知ラシムルモノニ有之、大所高所ヨリ觀テ國策トシテ斯クアリクキモノニ

有之候、此範圍ニ於テモ就按界トシテ國家ニ御奉公申上度ト存居候  
 本來米國ハ今次ノ事變ニ對シテハ上海事變ノ際トハ態度全ク異リ當初ヨリ充分  
 了解ヲ致居候ヒシガ例々先般ノ南京空爆以來其態度俄カニ硬化シ來リ、政府ハ  
 中立法ヲ發動セザルモノノ宗教、社會並ニ労働團體夫々日貨不買運動ヲ起シ始  
 メ居ルガ現状ニ有之、一般民衆ノ感情ナリ輿論ガ日一日ト漸次惡化シ來レル事  
 モ事實ニ御座候、  
 斯ル事態ヲ誘導シ來レルハ全ク新聞記事ニ依ルモノニシテ支那側ノ遊宣傳又ハ  
 支那側ニ同情ヲ有スル米人記者ノ所爲ト存候、御承知ノ通り米國ニ於テハ輿論  
 ナルモノハ有識者ガ作ラズ衆愚ガ共都合ニ應ジテ作り、之ヲ有識者階級ニ於テ  
 理論化シテ行クモノニ御座候間日支事變ニ對スル我國ノ態度ヲ闡明スル爲メニ  
 ハスポーツニ關シ多大ノ興味ヲ持居ル一般民衆ガ誰一人トシテ例外ナク眼ヲ通  
 ス新聞運動關ニ東京大會開催方針ヲ積極的ニ力説シ、日本ガ國際信譽ニ當ニ忠  
 實クルト共ニスポーツヲ通シ國際平和ニ貢獻セムトスル努力ヲ表明シ置ケバ、  
 假リニ支那側電信ニヨリ我國ニ不利ニ事變成行ガ米國一般民衆ニ訴ヘララルト  
 モ、直チニ運動關ニ於テ明朗ナル我國ノ態度ヲ明確ニ了解セラルル次第トモ相  
 成ル譯ニ御座候間此際東京大會宣傳ヲ日下ノ實情ニ即シテ可急御取扱被下様御  
 配慮相煩シ度在京外國新聞通信特派員トハ絶エズ連絡ヲ保ケレ、事變ガ我國ニ  
 有利ニ伸展シ行ク様何分トモ宜敷御高配賜度奉懸願候(下略)

昭和十二年十一月十八日印刷 (毎月三回) 發行所 東京市赤坂區榮町二番地南青洲鐵道株式會社東京支社ビルヂン印刷所 東京市 中屋三間印刷株式會社  
 昭和十二年十一月十日發行 (十月二十日) 發行所 東京市赤坂區榮町二番地南青洲鐵道株式會社東京支社ビルヂン印刷所 東京市 中屋三間印刷株式會社

編輯 西四 發行所 東京市赤坂區榮町二番地南青洲鐵道株式會社東京支社ビルヂン印刷所 東京市 中屋三間印刷株式會社  
 發行所 東京市赤坂區榮町二番地南青洲鐵道株式會社東京支社ビルヂン印刷所 東京市 中屋三間印刷株式會社

寄附金受付

十一月五日 金 五拾錢也 中 付 治 三 郎 殿  
 累計 金壹萬五千壹百貳拾九圓七拾四錢也

寄附金受付  
 十一月五日 金 五拾錢也 中 付 治 三 郎 殿  
 累計 金壹萬五千壹百貳拾九圓七拾四錢也



第十二回オリンピック  
東京大會組織委員會

# 會報

第二十一號

昭和十二年十一月二十日發行

第十二回オリンピック東京大會組織委員會事務局  
赤坂區英町滿鐵ビル四階  
電話赤坂(48)三〇八一五番

## 辭令

東京市文書課長 磯村 英一  
總務委員會第一部委員ヲ委嘱ス(十一月十日附)

富永 綾雄  
事務局事務ヲ囑託ス(十一月十二日附)

谷 敏太郎  
専門委員ヲ委嘱ス(競技場施設委員)

## 議事録

### ○總務委員會

#### 總務委員會第一部委員會

十一月十五日午後四時半ヨリ事務局總長室ニ於テ第廿八回委員會ヲ開會セリ  
尙本日ヨリ今回新任セラレタル東京市文書課長磯村英一氏、草間氏ニカハリ  
出席セラル

### ○科學施設研究會

#### 第六回科學施設研究會議事録

日時 昭和十二年十一月十一日午後五時半  
場所 丸ノ内 中央亭本店

出席者

石本委員長、大森、渡邊(貫)、渡邊(俊)、今村、今岡、手塚、橋元、小林  
廣瀬、志村、堀、淺山(代理黒岩)、金原、各委員  
宮本、小川主事、小澤(ヨツト)、二瓶(フエンシグ)、下津屋(體操)、鈴  
木(蹴球)、石田(馬術)、岩崎、高野、山本(陸上)諸氏

一、第五回會議事録朗讀確認

一、石本委員長ハ金原、淺山兩委員及競技團體役員ヲ紹介ス

一、金原委員、逕信省工務局長「東京大會ニ於ケルレヴィジョンノ普及」ニ  
關シテ其ノ計畫ノ概略ヲ説明ス

石本委員長ハ本會委員ニ見學ノ便宜ヲ與ヘラルル様番整ス

一、二瓶氏(フエンシグ役員)ハ「フエンシグ競技」ノ種目及競技法ニ付  
キ參考資料ヲ提出ノ上説明シ、從來ノ電氣審判器具ニ關シテ説明ス

一、中村氏(芝浦製作所)ヲ金屬研究ノ爲委員ニ推薦、確認

一、體操競技ニ使用ノ鐵棒ニ關シテ現在、鐵棒ノ熱止、及冷却ニ關シテ研究方  
ヲ申出ラル

一、蹴球競技ヲ夕及夜間舉行ノ際ノ適當ナル「ボール」ノ色彩ニ關シテ研究方ヲ  
申出ラル

一、渡邊(貫)委員ハ各競技場トラツク土質研究ノ結果ヲ報告シ「各地陸上競

技場土質試験成績表」ヲ提出セラレ、日本陸上競技聯盟ニ依頼ノ各競技場ノ適否ニ關スル答申書ノ至急提出方ト豫算提出中ノ「アンツィカ」試走路ノ豫算承認、試作ヲ緊急取計ラレル様申出ラル

一、今村委員ニ各種競技ニ便宜ナル積算時計ノ試作ヲ依頼

一、日本陸上競技聯盟ヨリ因際陸上競技聯盟ニ於テ規定ノ風速ニ關シ根據頗ル薄弱ナル理由ノ作成方ヲ申出ラル

一、本委員内各種分科會研究試作費提出方ニ關シ、石本委員長ハ永井總長ニ懇談ノ上之レガ提出ヲ計ルコト

一、次回例會十二月九日(木)、午後五時半 九ノ内中央亭本店ニ於テ開催

一、散會 午後九時

雜報

草間氏退任

東京市秘書課長草間時光氏ハ今回東京市京橋區長ニ轉任ノ爲組織委員會幹事並ニ總務委員會第一部長委員ヲ退任セラレタリ

グリーンゲベルグ氏歓迎會

十一月十日午後三時ヨリ東京ニューグランドニ於テ事務局主催ノ下ニグリーンゲベルグ氏歓迎會ヲ開催セリ。グリーンゲベルグ氏、ハルトマン嬢、クノノラ嬢、永井事務總長、高島總務委員、麻生全日本スキー聯盟役員外事務局員全部出席、極メテ愉快ナル談笑裡ニ五時散會セリ

競技場施設委員更迭

競技場施設委員會委員岩井澄夫氏ハ今回專門委員ヲ委嘱セラレタル谷敏太郎氏ト更迭セリ

昭和十二年十一月十八日印刷 (毎月三回) 編輯者 四辻公行 發行所 東京市赤坂區榮町二番地南滿洲鐵道會社東京支社ビルヂング印刷所 東京市東區築地四ノ四 中屋三間印刷株式會社  
昭和十二年十一月二十日發行 (十日三回) 發行人 四辻公行 發行所 東京市赤坂區榮町二番地南滿洲鐵道會社東京支社ビルヂング印刷所 東京市東區築地四ノ四 中屋三間印刷株式會社





第十二回オリンピック  
東京大会組織委員会

# 會報

第二十二號

昭和十二年十二月一日發行  
第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局

赤坂區葵町滿鐵ビル四階  
電話赤坂(48)三〇〇八一五番

## 辭令

工學博士 中村 素  
専門委員ヲ委嘱ス(科舉施設研究会)

(陸)	上	野口源三郎
(水)	上	奥野良
(馬)	術	大島又彦
(射)	擊	岩井澄夫
(フエシング)		二瓶俊彦

専門委員ヲ委嘱ス(近代五種競技委員)

## 議事録

### ○常務委員会

#### 第十四回常務委員会議事録

九月十五日午後二時事務總長室ニ於テ開催、伊東(代理岩原體育課長)三邊、平沼、各常務委員、嘉納組織委員、永井事務總長、草間、宮本各幹事、高島總務委員、廣田、野口各書記出席

一、前回議事録確認  
一、去ル十一月發病手術セル小橋副會長ハ其ノ経過順調ナルコトヲ事務總長ヨリ報告セリ

一、クレーベルン男爵ノ逝去ニ當リ組織委員会ヨリ弔電並花環ヲ贈リクル旨事務總長ヨリ報告セリ

一、昭和十二年度八月中經費支拂承認ノ件ハ報告ノ通り異議ナク承認セリ

一、事務局當面ノ財政問題ハ事務局經費ニ關シテハ文部省及東京市ニ於テ考慮セラル、ヤウ事務總長ヨリ希望ヲ陳述シ文部省交付金中ヨリ半額及東京市ニテ各半額宛負擔スルコト、セリ

一、明治神宮主競技場改造納付金ノ件  
主競技場ハ土地ヲ買收シテ擴張スルコトハ不可能ナル故其ノ趣非公式ニ組織委員ニ報告シ時局ヲ踏観スルコト、セリ

一、冬季オリンピック札幌大会實行委員会ヨリ借用金申出ノ件  
事務總長ニ於テ北海道總務部長ト協議スルコト、セリ

一、クリンゲベルグ氏ニ關シテハ來朝ノ上現下ノ事情ヲ説明シ事務従事前本邦實狀ヲ知得セシムル様仕向クルコト、セリ

記事

兼ニ當組織委員會ヨリ、オリンピック参加外國選手、役員、並ニ競技參觀者ニ對スル待遇方法ニ關シ、鐵道省、郵船會社、商船會社、近海郵船、朝鮮鐵道、南滿洲鐵道等ニ對シ、善處方依頼中トコロ、今回左記ノ通り鐵道省ヨリ回答アリタリ、尙西伯利亞鐵道及歐洲側鐵道トノ連絡運賃ノ割引方ニ付テハ交渉中トノコト申添ヘアリ

- 一、外國ノ選手、役員ニ對スル取扱イ、旅客運賃割引
  - 1、割引率 五割
  - 2、割引區間 省線各驛相互間
  - 3、割引期間 競技開催期間及其ノ前後各一ヶ月間
  - 4、等級 各等
  - 5、乗車券 片道、往復、廻遊乗車券(記念乗車券ヲ發賣)
  - 6、本乗車券ハ省ニ於テ發賣スルノ外日本旅行協會、トーマスクック、エキスプレスヲシテ外人用乗車券類ト同一條件ヲ以テ代賣セシムルコト
- 二、無貨扱(無貨乘車證交附)
  - 1、區間 東鐵電車線一般
  - 2、等級 二又ハ三等
  - 3、期間 競技開催期間中
  - 四、外國選手、役員ノ携行スル手荷物、附隨小荷物 無貨(配達ノ取扱ヲ爲サズ)
  - 五、外國選手、役員ノ携行スル貨物

無貨(小口、貨扱扱ニ限ル)

- 二、外國競技參觀者ニ對スル取扱イ、特別引乘車券ノ發賣(ウィークチケット)
  - 1、有效區間 省線一般(關釜間航路ヲ除ク)
  - 2、發賣期間 昭和十五年一月一日ヨリ十月末日マデ
  - 3、種類 通用期間及三等運賃
    - 第一種 七日間有效 三等大人 十二圓
    - 第二種 十四日間有效 同 二十三圓
    - 第三種 廿一日間有效 同 三十五圓
    - 第四種 廿八日間有效 同 四十五圓
  - 二等ハ三等ノ倍額トス
  - 4、等級 二、三等
  - 5、乗車券 記名式(サインセシム)ノ特殊乗車券
  - 6、本乗車券ハ省ニ於テ發賣スルノ外日本旅行協會、トーマスクック、エキスプレス萬國雜貨會社ヲシテ外人用乗車券類ト同一條件ヲ以テ代賣セシムルコト
  - 7、本割引乘車券ハ「パスポート」ト關聯セシムルコト

雜報

近代五種競技委員委囑  
今回專門委員會中ニ近代五種競技委員會ヲ設置、附令閣中記載ノ五委員ヲソレゾレ委囑セリ

組織委員會機構及各委員會英語名左ノ如シ

- |                                         |           |
|-----------------------------------------|-----------|
| The Advisory Committee                  | 總務委員會第一部  |
| Publicity Committee                     | 總務委員會第二部  |
| Standing Committee of O. O. C.          | 常務委員會     |
| Scientific Equipment Research Committee | 科學施設研究會   |
| Stadium Equipment Committee             | 競技場施設委員會  |
| Sports Committee                        | 競技委員會     |
| Modern Pentathlon Committee             | 近代五種競技委員會 |
| Arts Committee                          | 藝術委員會     |
| Secretariate                            | 事務局       |
| Section for General Affairs             | 總務部       |
| Sports Section                          | 競技部       |
| Publicity Section                       | 宣傳部       |

常務委員會開會

昭和十二年十一月廿五日午後二時ヨリ事務總長室ニ於テ第十五回常務委員會ヲ開會、徳川會長、平沼委員、伊東(代理岩原)委員、永井事務總長等出席セリ

石渡組織委員嚴父喪去

組織委員石渡莊太郎氏嚴父權審顧問官石渡敏一氏喪去セラレクルニツキ、當組織委員會ヨリ花輪一個ヲ供ヘ弔意ヲ表セリ

雜誌社編輯幹部招待懇談會

昭和十二年十一月廿五日午後六時雜誌社編輯幹部ヲ滿鐵ビル内エトアールニ招待、オリンピック東京開催ニ關シ準備狀況等ヲ説明、懇談會ヲ開會セリ、事務局側ヨリ永井事務總長、齋田、齋木、雜誌社側ヨリ十名ノ出席者ヲ見タリ

クリンゲベルグ氏招待晩餐會

昭和十二年十一月廿六日午後六時、徳川會長主催ノ下ニクリンゲベルグ氏ヲ華族會館ニ招待、晩餐會ヲ開會セリ  
クリンゲベルグ氏並ニハルトマン、クノラー一兩秘書  
徳川會長、齋納、永井、中塚各委員、西四辻出席

昭和十二年十一月三十日印刷  
昭和十二年十一月二十日發行

（毎月三回）  
十日二十日

編輯者 西 四 木 利

發行所 東京市赤坂區表町二番地南滿洲  
グ 四一六 電話第十二回オリ

株式會社東京支社ビルヂン  
會組織委員會事務局

印刷所 東京市  
京橋區築地四ノ四

中屋三間印刷株式會社

（Faint vertical text columns, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is illegible due to low contrast and fading.)

（Faint vertical text columns, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is illegible due to low contrast and fading.)

I-0489



第十二回オリンピック  
東京大會組織委員會

# 會報

第二十三號

昭和十二年十二月十日發行  
第十二回オリンピック東京大會組織委員會事務局  
赤坂區英町滿鐵ビル四階  
電話赤坂(48)三〇八一番

第一課長

## 議事録

### ○總務委員會

#### 總務委員會第一部委員會

昭和十二年十二月廿九日午後四時三十分ヨリ事務總長室ニ於テ第十九回委員會ヲ開會セリ。

### ○競技場施設委員會

#### 第三回競技場施設委員會議事録

時日 昭和十二年十二月三日 午後五時 事務所  
出席者 山本委員長、宮本幹事、石川、平沼(五)、河崎、野村、佐藤、岩井、安田、下津屋  
明治神宮外苑管理署ヨリ金井署長、小林(賢)、武藤兩技師

### 協 議 事 項

- 一、宮本幹事ヨリ組織委員會ノ財政狀態ト競技場トノ關係並ニカイロ總會ニ對スル事務局側ノ準備狀態ニ關シ報告アリ
- 一、外苑管理署ニテ作成セル主競技場内施設各種平面圖(前回競技場施設委員會ニテ作成セル原案ヲ基礎トセル)ニツキ金井署長、小林(賢)技師カラ詳細説明、會後各委員ニ於テ充分研究スルコト
- 一、金井管理署長ヨリ主競技場、水泳場ノ建築費豫算ヲ組織委員會側ニ於テ連カニ決定、提出サレタキ旨ノ意見ノ開陳アリ

### ○近代五種競技委員會

#### 第一回近代五種競技委員會議事録

日時 昭和十二年十二月六日午後五時 於事務局  
出席者 大島(馬術)、野口(陸上)、奥野(水上)、岩井(射撃)、兵頭(フエンス)、宮本、淺野、松澤。  
協議決定事項  
一、五選ニヨリ大島又彦氏ヲ委員長、野口源三郎氏ヲ幹事ニ選出。  
一、東京大會競技日程原案決定。  
一、伯林大會ニ施行セル規約中變更ノ要ナル部分ハ各競技團體ニ於テ至急立案シ、東京大會ノ規約ヲ決定スルモノトス。

雜報

組織委員會副會長就任

組織委員會副會長へ前任者大島又彦氏辭任後缺員中ノトコロ、今回貴族院議員法學博士下村宏氏大日本體育協會々長就任ニヨリ同時ニ副會長ニ就任スルコト、ナリタリ。

新聞社運動部長招待午餐會

昭和十二年十一月廿九日正午各新聞社運動部長ヲ滿鐵ビル内エトアルニ招待午餐會ヲ開催、國際運動記者クラブトノ連絡等ニツイテ意見ヲ交換懇談ヲ爲シタリ。

出席者左ノ如シ。

新聞社 東京朝日新聞社、東京日日新聞社、讀賣新聞社、報知新聞社、國民新聞社、都新聞社、同盟通信社

事務局 永井事務總長、鷺田、土肥、鈴木

東京市オリンピック關係者招待會

昭和十二年十二月一日午後六時ヨリ日比谷山水樓ニ於テ、東京市オリンピック關係者ヲ招待懇談會ヲ開催セリ。

昭和十二年十二月八日印刷 毎月三回発行 昭和十二年十二月二十日印刷 毎週四回発行 東京市赤坂區榮町二番地市協同會道場式會堂東京支社ビルヂン印刷所 東京市中區三間印刷株式會社

當日ノ出席者左ノ如シ。

- 平山 素氏 磯村英一氏 草間時光氏
- 安井大吉氏 清水照男氏 林連氏
- 中塚榮次郎氏 森富太氏 桑原信助氏
- 橋本祐幸氏 横井春野氏 富田滋氏
- 廣田傳藏氏 下村宏氏 平沼亮三氏
- 久富達夫氏 永井事務總長
- 宮木、小川、鷺田、坂入

事務局職員懇親會

十二月二日正午滿鐵ビル内エトアルニ於テ永井事務總長以下事務局職員ノ懇親會ヲ開催セリ。



第十二回オリンピック  
東京大會組織委員會

# 會報

第二十四號

昭和十二年十二月二十日發行

東京大會組織委員會事務局  
赤坂區葵町滿鐵ビル四階  
電話赤坂(48)三〇〇一五番

## 議事録

### ○總務委員會

#### 總務委員會第一部委員會

昭和十二年十二月十三日午後四時三十分ヨリ事務總長室ニ於テ第三十回委員  
會ヲ開會セリ。

### ○科學施設研究會

#### 第七回科學施設研究會議事録

日時 昭和十二年十二月九日午後五時半

場所 丸ノ内中央亭本店

出席者 石本委員長、佐々木、福島、大島、渡邊(俊)、井深、今岡、手塚

今村、橋元、中村、志村、松澤、田口、山本、金澤、渡邊(實)、永井、立

上、堀、眞島、西村各委員

永井事務總長、田總務委員會第二部委員會委員長、宮木、小川主事、白山

囑託、クリンゲベルグ技術顧問、高野、岩崎(陸上)、坂口(拳闘)、岩井射

弊)各競技團體役員

一、永井總長ハ食卓ニ於テ石本委員長ガ伊國ニ交換教授トシテノ鹿島立テヲ祝

シ、送別ノ辭ヲ述ベ、福島委員ノ出征ヲ祝シ、併ヒテクリンゲベルグ技術

顧問ノ紹介ノ辭ヲ述ブ

二、第六回例會議事録朗讀確認

三、新委員中村泰博士ヲ紹介ス

四、石本委員長ハ本研究會研究試作費ニ關シ永井總長ト折衝ノ結果本年度内研

究費トシテ金壹千圓也提出セラレル旨報告ス

五、永井總長ハ目下ノ組織委員會ノ財政的立場ヲ説明シ加急的速カニ期待ニ沿

フ可キ旨ヲ述ブ

六、本年度研究試作費ヲ次ノ如ク決定ス

アンツーカー試作費 金五百圓也

活動寫眞試作費 金貳百圓也

ピストル試作費 金貳百圓也

フエシング試作費 金壹百圓也

各分科會ハ次年度豫算ヲ緊急提出スルコト

一、大日本射擊協會ヨリ本會ニ依頼スル射擊標的隱顯裝置ノ書籍ヲ朗讀シ、

岩井氏ハ隱顯裝置ニ關スル伯林大會ノ參考資料ヲ提出ノ上説明ス

二、西村委員ニ關シテ隱顯裝置ノ研究ヲ依頼ス

三、中村委員ハフエシング競技ノ劍ノ硬度等研究ノ結果ヲ報告ス

四、フエシング競技ノ電氣審判器ニ關スル研究分科會委員ハ丹羽、志村、佐

々木、今岡、金原各委員、フエシング金屬研究分科會ハ志村、中村兩委

員トス

五、寫眞分科會ハ神宮大會ニ於ケル實驗ノ資料ヲ提出ノ上、資料ニ關シ批判セ

ラレタキ旨ヲ述ブ

六、岩崎氏ハ右ノ資料ハ季節ノ關係上稍々露出ノ點ニ難アル旨ヲ述ブ

- 一、風連計ノ調査ニ關シ金澤委員ニ依頼
- 一、金澤委員ハ夕刻ニ於ケル蹴球ノボールノ色彩ニ關シテ報告ス
- 一、石本委員長ヨリ次ノ二事項ヲ提出、確認
  - (イ)、例會ニ出席セザル委員ノ交替ノ件
  - (ロ)、各分科會ノ研究報告ノ提出ノ件
- 一、永井委員長ヨリ本研究會委員諸氏ノ協力ニ對シ謝意ヲ述べ、クリンゲベルグ技審顧問ヨリ近ク伯林大會科學研究會ノ主要事項ノ報告ヲ提出ノ旨ヲ報告ス
- 一、石本委員長ノ海外旅行中ハ丹羽保次郎委員ガ委員長ノ事務ヲ代行ノ件ヲ計リ確認ス
- 一、次回第八回例會ハ昭和十三年一月十三日午後五時半九ノ内中央亭ニ於テ開催
- 一、散會 午後八時三十分

### ○藝術委員會

#### 第一回藝術委員會議事録

日時 昭和十二年十二月八日 午後六時  
場所 赤坂山王下 山王ホテル

出席者 森村委員長、澁澤副委員長、碓、深田、中島、建高、池田、齋藤、矢澤、吉村、土浦、小森、澤崎、諸井、高村、伊原、成澤、小野寺各委員  
永井事務局長、松澤、李兩參事、宮本主事等

一、午後六時一同會食  
一、午後七時森村委員長開會ノ挨拶ヲ述べ澁澤副委員長長司會  
一、永井事務局長オリンピック東京開催ニ就テ挨拶並ニ說明  
一、第十二回オリンピック東京大會組織委員會競技部藝術委員會ノ構成ニ關シ  
宮本主事ヨリ說明承認  
一、期日ハ原案通り承認  
一、宮本主事ヨリ「オリンピック藝術規則」ニ就キ說明、右規則中藝術競技ニ關スル種目、出品受付期日等ニツキ意見ヲ異ニスル點アルニヨリカイロ總會ニハ種目ノ二種目追加其他ニ關シ理由書ヲ附シテ提出シ其ノ改正ヲ圖ルコトト決定

### 記事

- 一、I.O.O.ニテ決定セル改正規約ニツイテハ近日クリンゲベルグ氏ヲ招致シテノ説明ヲ求ムルモ我邦トシテハ大日本體育藝術協會ニ於テ作製セル案ニ改正スル權努力シカイロ總會ニ改正案提出ノ準備ヲ爲スコト
- 一、規約改正案ノ翻譯ニ就テハ事務局ニ一任スルコト
- 一、審査員比率ノ問題ハ之ヲ承認スルコトヲ得ス藝術委員會各部門ニ於テ外人審査員數ヲ決定之レヲ指名ニヨル方法ヲ研究シカイロ總會ニ提案スルコト
- 一、展覽會場並ニ倉庫ニ關スル件事務局ヘ交渉方委任
- 一、演奏ニ關スル版權ニツキ協議
- 一、午後九時三十分散會
- 尚澁澤副委員長ヨリクリンゲベルグ氏トノ會見ノ際ハ萬障聯合出席サレンコトヲ依頼ス

### 雜報

#### オリンピック記者招待會

十二月八日午後六時ヨリ日比谷山水樓ニ於テ、オリンピック記者ヲ招待、宣傳部トノ間ニ懇談晚餐會ヲ開催セリ、出席者左ノ如シ

組織委員會事務局競技部ニ於テハ東京大會ニ行フベキ競技中左ノ二種目ニ關シ各聯盟本部宛參加國數問合セ中ノトコロ左記ノ通り返電アリタリ

- カヌー競技
- カヌー競技ニハ十六ヶ國參加ノ豫定
- ハンドボール競技
- 米國、玖瑪、伊太利、羅馬尼、獨逸ガ參加スル筈

#### 寄附金受付

十二月九日 一金五拾錢也 中村治三郎殿  
累計 金壹萬五千壹百參拾貳拾四錢也

#### クリンゲベルグ君放送

技審顧問クリンゲベルグ君ハ十二月十日午前五時十五分ヨリ十五分間、オリンピック東京大會準備狀況ニ關シ東京中央放送局ヨリ全歐州ヘ向ケ放送シタリ

#### 事務局長、クリンゲベルグ君等

#### 横濱ヨットハーバー視察

十二月十四日永井事務局長並ニクリンゲベルグ君ハ平沼組織委員、李參事、宮本主事ト共ニ横濱港ニ赴キヨットハーバー豫定地ヲ視察、青木横濱市長ノ招宴ニ臨ミクル後歸京セリ

東京日々新聞社 北澤君  
讀賣新聞社 川本君  
報知新聞社 田鶴濱君  
都新聞社 野本君  
同盟通信社 平岡君  
アドヴァンタイザー社 沖田君  
磯村東京市文書課長 富田氏  
齋田 坂入 齋木

十二月九日 一金五拾錢也 中村治三郎殿  
累計 金壹萬五千壹百參拾貳拾四錢也

昭和十二年十二月二十八日印刷  
昭和十二年十二月二十日發行  
（毎月三回、十日二十日發行）  
編輯 西 四 大 利  
發行所 東京市赤坂區赤坂町二番地南滿洲鐵道ビルヂン  
グ四一六號第十二回オロツキ東京會社東京支社ビルヂン  
京橋區築地四ノ四  
中 屋 三 間 印 刷 株 式 會 社

（The main body of the page contains several columns of vertical Japanese text, which is mostly illegible due to the quality of the scan. The text is arranged in a traditional newspaper layout with multiple columns per page.)

I-0489

0076



# Olympic News

## XIIth Olympiad, Tokyo, 1940



Issued monthly by the Organizing Committee of the XIIth Olympiad, Tokyo, 1940  
Mantetsu Building, Tokyo Cable address: "SOSIKI TOKYO"

No. 14

June 10, 1938

XIIth OLYMPIC GAMES, TOKYO, SEPT. 21st—OCT. 6th 1940

### NEW OLYMPIC STADIUM PLAN FINALLY DECIDED

It has been decided that the main stadium for the XIIth Olympic Games, Tokyo, 1940, will be newly constructed at Komazawa, as stated in the previous issue of "Olympic News." The task of designing the stadium and surveying the site are being carried on speedily. The Tokyo Municipality has officially approved the plans for this construction at their municipal assembly held on May 23rd, 1938. The final step before the start of the construction has been thus completed by this unanimous consent. The budget allotted for the various projects are as follows:—

Main Stadium .....	5,670,000.00 Yen.
Swimming Stadium .....	1,357,735.00 Yen.
Olympic Village .....	1,222,075.00 Yen.
Park Const. Exp's .....	854,038.00 Yen.

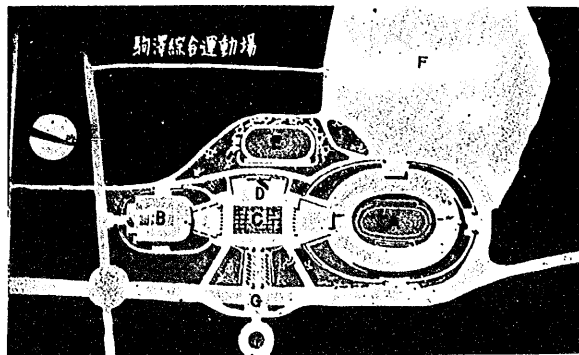
Other constructions in charge of the Tokyo Municipality:—

Cycling Stadium .....	475,000.00 Yen.
Olympic Gymnasium .....	1,887,152.00 Yen.

The start and finish of the construction have been planned as follows:—

The Main Stadium:—	To be started October 1938 and completed during July 1940.
The Swimming Stadium:—	To be started in October 1938 and completed during March 1940.
Olympic Gymnasium:—	To be started in October 1938 and completed during July 1940.
Cycling Stadium:—	To be immediately started and completed during September 1939.
Olympic Village:—	To be started January 1939 and completed during March 1940.

The Olympic village being located near the main stadium will not arouse the complaints that were experienced during the XIth Olympic Games, Berlin, 1936, but some people may think its location will not be suitable for the quiet rest of the athletes. So the Olympic Organizing Committee has taken these points into full consideration to ensure undisturbed rest for the participating athletes by allowing a spacious area for the village and planting large trees to isolate it from all the commotion of the crowd.



- A. Main Stadium
- B. Swimming Stadium
- C. Central field
- D. Memorial tower
- E. Training ground
- F. Olympic Village site
- G. Olympic Memorial boulevard

( 1 )

### Extensive Publicity Programme Resolved

It has been decided to work out large scale Olympic propaganda through the publicity department of the Olympic Organizing Committee with the agreement of the advisory committee for Olympic Publicity. The achievements of the publicity department to this date are listed as follows:—

1. Daily news dispatches to domestic and foreign newspapers.
2. Monthly publication and distribution of the official Olympic News, printed in English, German, French, and Spanish (Spanish to be issued every other month.)
3. Publication and distribution of the illustrated pamphlet "We Call the Youth of the World," printed in English, German and French.
4. Other individual propaganda activities.

In addition to the above mentioned activities, the following will be included:—

1. Olympic posters will be printed and distributed throughout the world in the near future.
2. Attractive Olympic seals will be made to be used on all outgoing mails.
3. Folder:

A simple illustrative folder depicting the life of Tokyo and preparations for the XIIth Olympic Games, Tokyo, 1940, will be made up and distributed to the ships, hotels and other places of the various nations, in order to inform their tourist passengers.

Besides the foreign propaganda, domestic publicity will be aggressively carried out as the Olympic

Games draw near.

The plans for domestic propaganda will be mainly carried out through the following educational methods:—

1. Publication of a children's Olympic reader.
2. Publication of a people's Olympic reader.
3. Co-operation with the magazine published by the Japan Amateur Athletic Association.
4. Flags, stationery, fans, calendars, and maps pertaining to the Olympic Games will be made and issued for sale.
5. Olympic song—A method for public subscription is being studied.

Plans for foreign propaganda which will be carried out toward the end of this year or the beginning of next year include the dispatch of special envoys to the nations of the world to invite their officials and athletes to the XIIth Olympic Games, Tokyo, 1940. Also preparations are being carried out so as to station Olympic propaganda attachés in the principal cities of America and Europe. The above mentioned are the main methods of propaganda, but other efficient plans are being considered.

Those who wish to secure the Olympic News and the pamphlet "We Call the Youth of the World" will please send their names and addresses to the Organizing Committee of the XIIth Olympic Games, Tokyo, 1940.

XIIth OLYMPIC ORGANIZING COMMITTEE  
MANTETSU BUILDING  
AKASAKA-KU, TOKYO, JAPAN.

發行所 東京市品川区 品川ビルディング西階  
第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局 西川正次

( 2 )

PRINTED IN JAPAN  
IMPRIMÉ AU JAPON  
IN JAPAN GEDRUCKT

I-0489

0077

**Scientific Equipment Research Committee.**

Monthly meetings have been held under the leadership of Dr. Ishimoto, and is composed of forty-nine authorities in the various fields of scientific research for the organization of the XIIth Olympiad Tokyo and the Vth Olympic Winter Games Sapporo. The Committee work is divided into the following special lines of research :

1. Broadcasting Department.
2. Distance Surveying Department.
3. Sound Department.
4. Geological Department.
5. Photographic Department.
6. Pistol Starting and Olympic Torch Department.
7. Illumination Department.
8. Metallic Department.
9. Yacht Department.
10. Yacht Monotype Department.

During the eight meetings of this Committee, all questions referred to it by the various Sport Federations, have been studied and carefully discussed. These questions include the following :

1. Heating apparatus to be installed in the Kishi Memorial Gymnasium for the Scientific Equipment Research Committee.
2. Powderless starting pistol.
3. Motion picture device to be used for facilitating close decisions at the finish line.
4. Announcement Board facilities.
5. Type of turf to be used for the Stadium field.
6. En-tous-cas.
7. Apparatus to prevent waves in the swimming pool.
8. Apparatus to facilitate decisions in fencing.
9. Measuring the effect of the wind velocity on the runner.
10. Details of the Main Bulletin Board- names, number, nationality, records and other notices.
11. Rapid reporting device for use in the field.
12. Timing apparatus.
13. Device for recording the time during the course of a race.
14. Study of the white line.
15. Best kind of sand for the jumping pits.

( 3 )

16. Desirability of applying "Cathetometer" for the High Jump measure.
17. Desirability of applying a "Range Finder" on the Javelin throw measure.
18. Installation of apparatus for measuring atmospheric pressure; also anemometer and hygrometer.
19. Best methods of illuminating the field, dressing rooms and stands.
20. Loud-speaker installation-amplifiers for both track and stands, for the athlete's and officials' rooms. Also an investigation of the best position for the transmitter and loud-speakers.
21. Investigation of increasing the visibility of the marks on the steel measuring tapes.
22. Installation of an electric recording device connecting the start and finish of the Bobsleigh Course (about 200 meters difference in altitude).
23. Installation of electric time measuring device connecting the start and finish of the Downhill Ski Race Course. The special conditions to be considered include :
  - a. The temperature at the start is considerably colder than at the finish. At the start is may be 20 degrees below zero Centigrade.
  - b. Method of starting :—Skiers start only after the one ahead of him reaches the goal, or skiers start every minute, one after another.
  - c. The timing device must be accurate to a tenth of a second.
24. Replacing the finish line "tape" with a wollen yarn which will be constant in air currents, visible in a photograph and cut instantaneously by the touch of the runner.
25. A study of the Electric Anemometer.
26. A study to prevent " Duck weed " ( a kind of water moss ) from forming on the water surface of the boat course.
27. A study to prevent the deformation of the ball to be used in handball by the reaction of moisture on it.
28. A study of the silhouette target for shooting.
29. A study of the luminosity of the ball which is to be used in night football games.

**Support from the Principal Cities.**

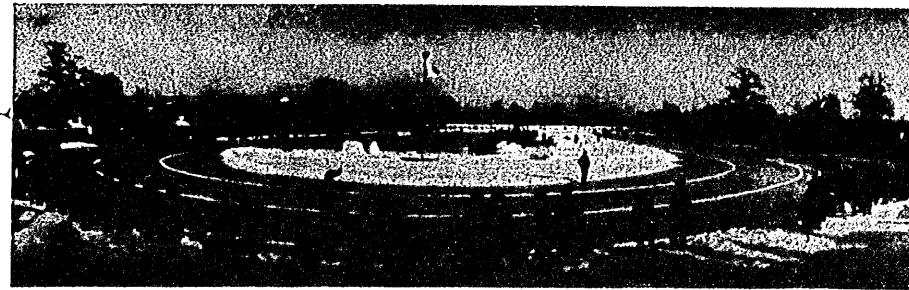
In order that every possible effort may be exerted for the ultimate success of the XIIth Olympic Games Tokyo 1940, the City of Tokyo has recently taken a more positive attitude and has sent representatives to Yokohama, Osaka, Kyoto, Kobe, Nagoya and Hiroshima to negotiate with and secure the assistance of these six principal cities.

The delegates from the Tokyo Municipal Office included Mr. E. Isomura, General Secretary of Tokyo City, Mr. S. Kuwahara, member of the O.O.C., and Assembly members Abe and Kato, who left Tokyo on February 19th to visit these various cities where they gave detailed information concerning the progress of preparations for the coming Olympic Games and enlisted further support of the Games from these cities. The municipal offices of each of the cities have sent words of encouragement and reassurance of their support to Prof. Kano, I.O.C. member and representative of the O.O.C., and Mr. Nakatsuka of the Tokyo Municipal Office, who are attending the Cairo Session.

**Japan's Winter Sports Candidates Selected.**

The 1938 Ski, Skating and Bobsleigh National Championship Meets, which were held in Sapporo on the site of the Vth Olympic Winter Games, proved that the site will be very satisfactory. It is felt, therefore, that with the present facilities, the Vth Olympic Winter Games can be carried out without any difficulty. Further preparations, however, are being steadily carried on in order to assure a most successful celebration in 1940. Furthermore, the plans for the coming year include sponsoring the Ski, Skating and Bob-sleigh contests from February 3rd to the 14th, a period of 12 days which correspond to the schedule set for the Vth Olympic Winter Games Sapporo in 1940. The Ski Association and the Skating Union of Japan selected their Olympic candidates immediately after the National Championship Meets as follows :—

Ski (67 members)	
Distance and Endurance .....	18 members.
Jumping .....	15 members.
Combined (Distance and Jump) .....	11 members.
Combined (Downhill and Slalom) .....	13 members.
Women .....	10 members.
Skating (60 members)	
Speed .....	22 members.
Ice Hockey .....	31 members.
Figure (men) .....	4 members.
" (women) .....	3 members.



発行所編集所印人 東京市赤坂區霞町 霞町ビルヂング内  
第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局 西川北公村

( 4 )

PRINTED IN JAPAN  
IMPRIME AU JAPON  
IN JAPAN GEDRUCKT

I-0489

0078

# Olympic News

## XIIth Olympiad, Tokyo, 1940



Issued monthly by the Organizing Committee of the XIIth Olympiad, Tokyo, 1940  
Mantetsu Building, Tokyo Cable address: "SOSIKI TOKYO"

No. 11

March 10, 1938

### STADIUM CONSTRUCTION TO START.

Careful consideration and study of the location, capacity and other matters pertaining to the main stadium and various other stadiums for the XIIth Olympic Games to be held at Tokyo in 1940, have been carried on during the past months. Definite conclusions have been reached and construction of new units will be started in the very near future. On February 25th, the Standing Committee of the O.O.C. appointed the necessary committee to take over the problems of the various expansion plans. The members of the Construction Committee are as follows:—

#### From the Organizing Committee:

Dr. Hiroshi Shimomura  
Mr. Ryozo Hiranuma  
Mr. Choji Minabe  
Dr. Izutaro Suehiro  
Dr. Takashi Goh  
Mr. Fumio Takashima  
Mr. Masatsune Miyaki (Representative, Mr. Genzaburo Shirayama)  
Dr. Tadaoki Yamamoto  
Dr. Yasujiro Niwa

#### From Home Department and Meiji Shrine Outer Garden Administration:

Mr. Takeshi Usami General Secretary of the Shrine Administration.  
Mr. Yoshinori Tasaka Engineer of the Shrine Administration.  
Mr. Saku Kanai President of the Meiji Shrine Outer Garden.  
Dr. Masaichi Kobayashi  
Dr. Hideto Kishida

#### From the Ministry of Welfare:

Mr. Masasuke Kodama Chief of the Bureau of Physical Development.  
Mr. Goro Murata Chief of the Physical Education Department.  
Mr. Hiroshi Nagai Chief of the Equipment and Facilities Department.

#### From the Tokyo Municipal Office:

Mr. Shigeru Hayashi Chief of the City Planning Department.  
Mr. Jiro Ono Chief of the Construction Department.  
Mr. Kiyoshi Inoshita Chief of the Park & Playground Department.  
Mr. Shinichi Hori Chief of the Road Construction Department.  
Mr. Shigetomo Yamaguchi Chief of the Physical Education Department.  
Mr. Saburo Morita Chief Engineer of the Tokyo Bay Administration Bureau.  
Mr. Daikichi Yasui Chief of the Finance Department.  
Mr. Noboru Tanikawa Chief of the Planning Department.  
Mr. Eiichi Isomura General Secretary of Tokyo City.

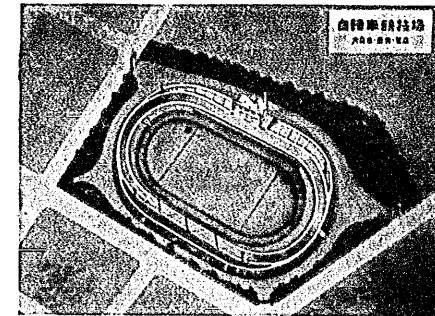
( 1 )

### The Cycling Stadium Construction to Start.

The construction of the Cycling Stadium in preparation for the XIIth Olympic Games Tokyo 1940 will be started in April, at Shibaura by the Tokyo City with an approximate budget of 600,000 yen. The proposed Cycling Stadium with a 500 metre track will surround a Track and Field ground with a 400 metre track, the general seating capacity of which is estimated at 10,000. The Cycling Road Race course is located on the Nakasendo Course (National Highway No. 9) in Saitama Prefecture. The details of the Cycling Stadium and the Road Race Course are as follows:—

#### Cycling Stadium.

- a) Name:—Tokyo Municipal Shibaura Cycling Stadium.
- b) Address:—No. 9 Shibaura, Shibaku, Tokyo.
- c) Location:—
  - 1) East faces Tokyo Bay, with plans to build a pier to facilitate water communications with Yokohama.
  - 2) West faces the canal and Shinagawa Station.
  - 3) North faces the arterial highway to the center of Tokyo City (Ginza).
  - 4) South faces undeveloped land.
- d) Cycling Course:—
  - 1) 500 metre track, width 9 metres including 1 metre neutral zone on the inner side.
  - 2) Degree of angle of the track:
    - Straightaway..... 1/15 degree.
    - Curves..... 25 to 50 degrees.
  - 3) Highest point on the curve from the ground is 5.40 metres.
  - 4) Asphalt surface.
  - 5) The curves are 50 metre semi-circles.
  - 6) A wooden barrier will be constructed surrounding the track.
  - 7) Possible maximum speed on the course, 170 kilometres per hour.  
Average maximum speed on the course, 70 kilometres per hour.
- e) Field:
  - 1) On the inside of the Cycling Track there will be constructed a 400 metre Track and Field Course similar to that of the Berlin Stadium.
- f) Spectator's Stands:—
  - 1) A sloping turf stand of 5.40 metres height will surround the course and in accordance with the budget available a wooden stand will be erected. Seating capacity 10,000 persons.
- g) Lighting:—
  - 1) Flood lights will be installed to enable night cycling.
- h) Other equipment:—
  - 1) A glass partitioned judges' stand will be erected at the finish line.
  - 2) The exits and entrances will be located on both ends of the home stretch and connected with the officials stands by subways.
  - 3) Electric score boards will be installed.
  - 4) Six outlets for the water sprinkling system will be placed at various places on the outer side of the field.
  - 5) Above the seats for the I.O.C., officials and press will be the flag pole. Provisions will also be made for athletes, bathing facilities, medical needs as well as repair and storage rooms.
- i) Estimated Cost:—
  - 1) 600,000 Yen.



- i) Transportation Facilities:—
  - 1) Ten minutes by bus from Tamachi or Electric Railway from Shinagawa or by auto to Ginza.

#### Road Race Course.

- a) Name:—Saitama Prefecture, Nakasendo Course. (National Highway No. 9).
- b) Location:—From the north-east edge of Tokyo suburbs extending to Jimbohara.
- c) Road Race Course:—
  - 1) Distance:—One way 75 kilometres.  
Round trip 150 kilometres.
  - 2) Width:—6 to 12 metres.
  - 3) Surface:—Asphalt pavement.
  - 4) Inclination:—Practically level.
  - 5) Start and Finish:—Starting point at the Olympic Rowing Course at Todabashi; turning point at Jimbohara and returning by the same route to the finish line at Todabashi.
  - 6) Turning Point:—A banked turn with a 50 metres radius will be constructed.
- Additional Features:—
  - 1) At every 50 kilometres on the course there will be medical, refreshment and repair stations.
  - 2) At the starting point and turning point of the course there will be installed loud speakers connected by telephone.
- Traffic Regulations:—
  - 1) The traffic police department of the Saitama Prefectural Office have assured that all traffic, on the day of the race, other than the Olympic Contests will be prohibited.
- Distance to Road Race Course:—
  - 1) Twenty-five minutes by auto from the center of the city to the start line.
  - 2) Motor buses will be available from the city to the course.
- Extra features in planning:—
  - 1) At present there are two points where there are railroad crossings, it is planned by the Home Ministry, in cooperation with the Saitama Prefecture, to make bridges over the crossing or to lay a new section of highway towards the east side of the railroad to avoid crossings. (Intervening distance between the two railroad crossings is 6 kilometres.)
  - 2) The construction is planned to be completed by the spring of 1940.
  - 3) If the distance of the present course, 150 kilometres, is too short, the turning point may be extended out to Takasaki City (Gumma Prefecture). This will make the length of the course 200 kilometres.

( 2 )

I-0489

0079

### Third World Recreation Congress.

Following the worthy examples set in connection with the Xth and XIth Olympiads, the Olympic Organizing Committee in Japan has taken the initiative in starting preparations for the Third World Recreation Congress, which is scheduled to take place in Japan in 1940. In the absence of any national recreation movement, such as exist in the United States, Germany and other countries, a group of interested individuals, sponsored by the O.O.C., has been laying the foundations for a national organization which can initiate a real recreational movement in Japan as well as make definite plans in preparation for the Third World Congress. It is the expectation at the present time that this Congress will be held in the Kansai region (Osaka, Kyoto, Kobe). An active group in Osaka is at

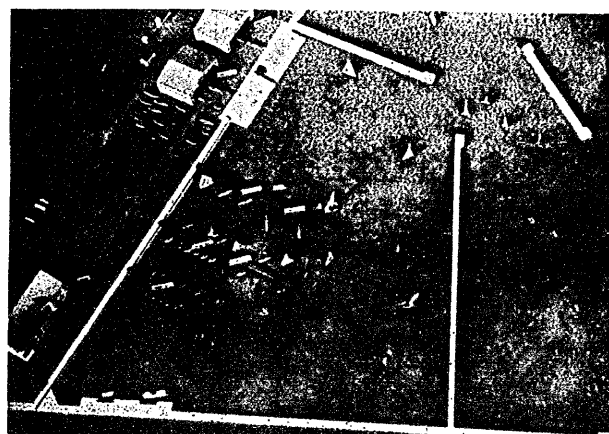
### Ministry of Welfare Established.

The recently established Ministry of Welfare of the Japanese Government will hereafter take charge of all affairs pertaining to the XIIth Olympic Games in Tokyo in 1940, according to a recent informal announcement by Dr. T. Iwahara, chief of the Physical Education Department of the Government Department of Education. All the necessary preliminary and preparatory arrangements for the coming Tokyo Olympiad have been in charge of the Department of Education.

work studying the various aspects of the problem. Japan will be represented at the demonstration meeting on Recreation and Leisure Time which is to be held in Rome from June 26 to July 3, 1938.

### Tokyo Bay.

Yokohama, the main gateway of Japan will become a famous yachting center of the Orient. Tokyo Bay, adjoining the port city of Yokohama, is favoured by winds which enable local fishermen to use native sailing vessels for trawling purposes, a type of a vessel which is similar in length but faster than the six meter R-boat. The regatta courses are divided into four groups, namely those for the eight and six meter classes, that for the Star class, the course for the Monotype class and a reserve course. In the background there is majestic Mt. Fuji which can be clearly seen on fine days. From the hillside near the shore, where the construction of the Olympic Home for the competitors is being planned, a commanding view of the Yacht Harbour and the courses can be had. The harbour will shelter about three hundred boats. A crane for measuring purposes and two slipways for making repairs will be provided. For administration and press service a clubhouse will be erected on the shore.



YACHT HARBOR

執行委員長西田四郎 東京市赤坂区東町 廣瀬ビルディング内  
第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局 西田社公啓

( 4 )

PRINTED IN JAPAN  
IMPRIMÉ AU JAPON  
IN JAPAN OEDRUCKT

I-0489

0080



**Summary of General Secretary's International Broadcast Speech.**

Recent news dispatches from this part of the world seem to have been giving a more or less militant and provocative impression abroad, and we greatly regret that, consciously or unconsciously, the public abroad may have been persuaded by some of the alarming and inaccurate information that the Japanese people are no longer interested in anything which has to do with the peaceful attainments of mankind.

Our people are ready to respond to any call, no matter how hard it may be, which will help in the restoration and establishment of a durable and equitable peace in the East, and they are determined not to suspend the present movement till the final solution of the problems involved is reached. At the same time, it will be of interest to realize that one notices but few changes, if any, in the ordinary life of the people at large from that of ordinary times. Foreign visitors are, without exception, impressed by the order and tranquillity which characterizes the everyday life of our people. Commerce and industry are proceeding in a normal way, trade shows no tendencies of depression, agricultural needs are being provided for, and recreational resorts and places of wholesome amusement are being frequented by the people as usual. Sports of all kinds are continuing to provide health and vigor to multitudes of our youth, while the spectators at the numerous athletic contests are as eager and responsive as ever to the thrill of physical competition and friendly contest.

The spirit and enthusiasm with which our people are looking forward to the XIIth Olympiad Tokyo 1940 gives ample testimony to this fact. The Xth Olympiad in Los Angeles was followed by that of Berlin, and it is but natural perhaps that, as Europe followed America, Asia should come next. In 1932 at Los Angeles, Japan expressed the hope of being

host to the Games in 1940, and at Berlin in 1936 the final decision to hold the XIIth Olympiad in Tokyo was made by the International Olympic Committee. The attainment of this great desire in so short a time is a sign of the general confidence in Japan by the whole athletic world, and we fully intend to prove ourselves worthy of that honour and confidence. In awarding these Games to Tokyo, due recognition has been given to the conviction that the spirit of the modern Olympics must expand and permeate to the four corners of the earth, thus benefiting and elevating the ideals and lives of all the peoples concerned.

With regard to the sporting facilities and equipment, Tokyo even today is not lacking in structures adequately and appropriately fitted for international competition. These include the Stadium for Track and Field contests at the Meiji Shrine Outer Gardens, the Swimming Pool which is considered the best in the whole Orient, the Baseball Grounds with a seating capacity of over 60,000 people, as well as the indoor athletic gymnasiums. In case of necessity, all these would provide sufficient facilities, as they are, for holding the Olympic Games. In order, however, to fully meet all expectations, a budget of fifteen million yen is now being raised to adequately prepare in a larger way. The Japanese government has already granted its first annual installment of Yen 750,000 toward the preparatory expenses, and the City of Tokyo has likewise shown its hearty support by definite financial assistance. With this definite financial assurance, plans are being pushed for the enlargement of the Stadium to accommodate 80,000 spectators, and the Swimming Pool will be enlarged to provide a seating capacity of 30,000.

There have been occasional rumors to the effect that, because of the present disturbances in this part of the world, Japan might have to abandon her responsibility at the last moment. But, as I stated at the outset, the people of Japan are leading an ordinary and tranquil life, and there is no reason why Japan should even consider stopping the active preparations for 1940. Some pessimists may consider that the financial difficulties which may appear as an aftermath of the troubles in China will cause unsurmountable hardships for our nation and people. In reply, I would say that every possible precaution is being taken by our financiers and statesmen to ward off any such emergency. Already their efforts in this direction have been effective, as is seen in the normal financial and economic conditions of the country at the end of the year which has just come to a close. These serve to encourage us as we whole-heartedly proceed with the preparations for a most successful Olympiad in 1940. But, some may ask finally, what if the situation in China develops in an even worse way? Our answer is, as already indicated above, that even our present equipment, with certain comparatively modest but necessary alterations and improvements, would be quite sufficient for holding the Olympic Games in full keeping with the true spirit of the modern Olympics.

**Japanese Delegates to Cairo Session.**

Prof. J. Kano, Member of the I.O.C. and prominent member of the Olympic Organizing Committee, has been named the representative of Japan to the Cairo Session of the International Olympic Committee. The members of his staff to accompany him in Cairo are :

Dr. M. Nagai, General Secretary of the Organizing Committee.

Mr. W. Klingeberg, Technical Advisor to the O.O.C.

Mr. E. Nakatsuka, Member of the Organizing Committee.

Mr. M. Miyaki, Director of the Sports Department of the O.O.C.

Mr. Y. Suzuki, Secretary of the Sports Department of the O.O.C.

Mr. T. Mitsufuji, Member of the Sports Department of the O.O.C.

Mr. T. Shimizu, Member of the Publicity Department of the O.O.C.

Dr. S. Ohno, Vice-chairman of the Executive Committee of the Vth Winter Games, Sapporo.

Mr. M. Tsuda, Member of the Sports Department of the O.O.C.

Prof. Kano sailed on the 15th of February from Kobe aboard the Hakozaki Maru. Dr. Nagai and Mr. Klingeberg sailed from Yokohama on the 3rd of February, via America. Mr. Mitsufuji sailed on the 25th of January together with Dr. T. Kinoshita, a representative of the Amateur Athletic Federation of Japan, enroute to Paris via America, where they will attend the Congress of the International Amateur Athletic Federation. The other members, except Dr. Ohno and Mr. Tsuda who are already in Europe, sailed from Kobe

on the 3rd of February aboard the Fushimi Maru, via the Indian Ocean.

**Olympic Budget Approved.**

The total budget of the government for the coming year which met the approval of the Lower House on February 22nd, includes a 750,000 Yen subsidy for the Olympic Games.



PROF. JIGORO KANO



M. NAGAI



M. MIYAKI



Y. SUZUKI

# Olympic News



XIIth Olympiad, Tokyo, 1940

Issued monthly by the Organizing Committee of the XIIth Olympiad, Tokyo, 1940  
Mantetsu Building, Tokyo Cable address: "SOSIKI TOKYO"

No. 10

February 10, 1938

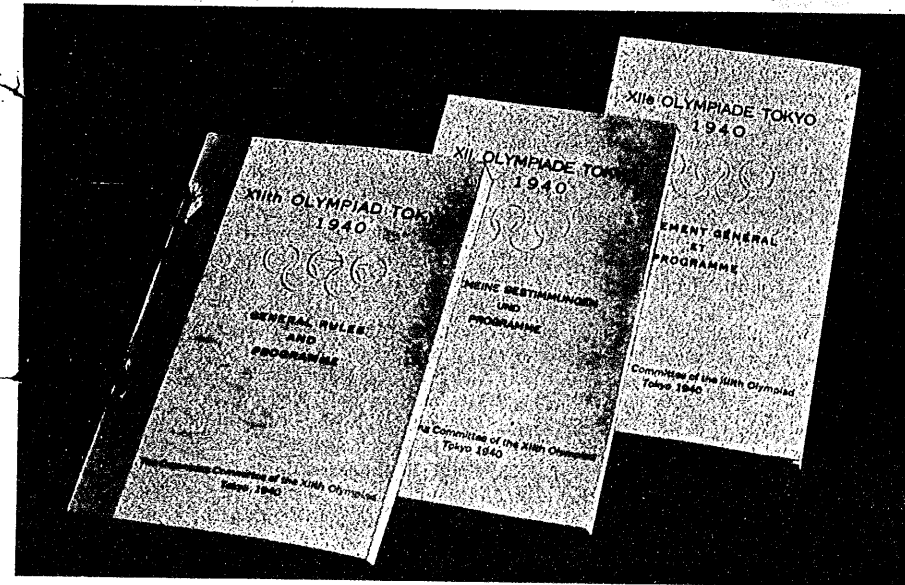
## GENERAL RULES AND PROGRAMME PUBLISHED.

The first edition of the book containing the General Rules and Programme for the XIIth Olympic Games Tokyo 1940, on which the Olympic Organizing Committee has been hard at work, was completed by the end of January. This edition is printed in English, German and French, and follows the general size, style and color of the standard set at the Xth Olympiad in Los Angeles. The present edition has been printed on a special Japanese paper and its beautiful binding combines to give it a very attractive appearance.

Copies have been sent to the various Sports Federations and to the National Olympic Committees of the different nations. The Japanese representatives to the Cairo Session of the I.O.C. have also taken copies of this preliminary edition for presentation to the members of the I.O.C. and for the purpose of securing their reaction to this edition.

Preparations for the publication of a second edition have been started, and present indications are that an even better edition than the first will be completed in the near future.

The delegates to the I.O.C. meeting have also taken with them a number of special pamphlets which will be of help in showing the members the preparations which have been made for holding the XIIth Olympiad. Among these is a general pamphlet describing the actual conditions of the preparations for the Games. This constitutes a worthy example of Japan's artistic beauty and printing. The cover design was painted by one of Japan's well-known artists. The booklet contains 31 pages and is fully illustrated with descriptive and artistic photographs. A copy of this pamphlet, which is entitled, "We call the youth of the world—XIIth Olympiad Tokyo 1940," will gladly be sent upon request.



( 1 )

I-0489

0082

### REDUCTION IN RAILWAY AND STEAMSHIP FARES

For European athletes participating in the Tokyo Olympic Games, there are the following three routes by which to reach Tokyo:

- (1) By boat via the Mediterranean Sea and Indian Ocean.
- (2) Across the Atlantic Ocean by boat, across the North America by train, and again by boat across the Pacific.
- (3) By the Siberian and Manchurian railways.

For participants from countries other than European, there are the South American, Australian and other lines.

As the railway and steamship fares for the athletes and officials will amount to a considerable sum, and will be a great burden on the organizations who are responsible for sending the representatives to the XIIth Olympiad Tokyo, the Organizing Committee is negotiating with various railway and steamship companies concerning the reduction in fares on their respective lines. Mr. Klingeberg, technical adviser to the Tokyo Olympic Games, has also conferred with various organizations on this question on his way to Japan, and the Nippon Yusen Kaisha is also carrying on negotiations with other steamship companies.

As the result of these efforts, the following reductions were decided to be placed in force for the benefit of Olympic participants.

- (1) European steamship lines (via Mediterranean Sea and Indian Ocean) Single ticket, 20% reduction; return ticket, about 21% reduction.
- (2) For through tickets via Atlantic Ocean, America and Pacific Ocean
  - A. Atlantic Ocean
    - Single, about 40% reduction;
    - Round Trip, about 40-45% reduction
  - B. Railway lines across North America
    - Single, about 5% reduction;
    - Round Trip, about 5% reduction.
  - C. Pacific Ocean
    - Single, about 32% reduction;
    - Round Trip, about 37% reduction.
- (3) South American lines
  - Single, about 15% reduction;
  - Return, about 21% reduction.

On the Siberian route, for passengers travelling in groups of over ten members, reductions ranging from 25 to 50 per cent—i.e. 25% for 10-24 persons, 30% for 25-49, 40% for 50-99, 50% for over 100—are in force on various lines participating in the through transportation of passengers from Europe to Japan and vice versa. As regards reductions on the Australian steamship lines, a reduction similar to those on the European lines will be placed in force. As soon as all the negotiations are settled, the Organizing Committee will publish a pamphlet giving detailed lists of the reductions.

Beside the reductions in railway and steamship fares, the Organizing Committee is considering various other measures to lighten the financial burden of the participating athletes and officials.

#### Olympic Games arouse interest in Hellenism

Since the selection of Tokyo as the site of the XIIth Olympic Games, keen interest has been aroused in Japan on Hellenism, and studies on ancient Greece in general, and on old Olympic Games in particular, have become extremely popular. Many Japanese sportsmen have made special trips to Athens to visit the Delphi Temple and other places reminiscent of the ancient Marathon races. Many books, too, are being published in Japanese on the subject of Olympic Games of old.

Among noted persons who have visited Greece recently are Professor Osamu Miyabara of the Peers' School and Isamu Kawai, formerly Honorary Secretary of the Amateur Athletic Federation of Japan. Professor Miyabara's visit was made several years ago, and Mr. Kawai's visit was made immediately prior to the Berlin Games when he was a special correspondent of the Tokyo Asahi. More recently, Professor Shinjiro Honryo of Waseda University

(captain of the Waseda rugby team in 1927) who is now in Germany, made a tour of Greece in October, 1937, and his travel diary which appeared serially in the Tokyo Nichi Nichi received favourable comments from various quarters. The Organizing Committee plans to send a representative to Greece shortly before the I. O. C. Session at Belgrade in 1939 to visit the site of the ancient Olympic Games.

Among the most recent publications on the subject of Olympics are the translation by Professor Miyabara of Captain E.A.M. Webster's "Evolution of the Olympic Games"; translation of Baron Pierre de Coubertin's "*Souvenir de l'Olympique*" prepared by the Japan Amateur Athletic Association; and the reports on the Berlin Olympic Games, also published by the same Association. Mention must also be made of the three widely read publications of Mr. Yoshinori Suzuki on the staff of the Sports Department of the Organizing Committee: "An Introduction to the Olympic Games"; "History of the old and modern Olympic Games"; "Guide to the Olympic Games".

発行所 日本オリンピック委員会 東京市赤坂区南青山 電話ヒヤクシヤク  
第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局 印刷社公刊

( 4 )

PRINTED IN JAPAN  
IMPRIMÉ AU JAPON  
IN JAPAN GEDRUCKT

I-0489

0083

**Time-Table Drawn up for Olympic Swimming Events**

The time-table for swimming events at the Tokyo Olympic Games, drawn up by the Japan Amateur Swimming Federation and approved by the Sports Department of the Organizing Committee, was despatched toward the close of last year to the International Amateur Swimming Federation. Under this schedule, the swimming events will take place both in the forenoons and in the afternoons at the Olympic Swimming Pool during the period from August 31 to Sept. 7, 1940. The arrangements of events follow in the main the schedules adopted for the XIth Olympic Games, Berlin.

**SWIMMING**

**1940 Tokyo Olympiad Time-Table**

- 1st day.*—(Saturday, August 31st) *Morn.*: 100 metres free style for men. Heats. 200 metres breast stroke for ladies. Heats. Waterpolo matches.  
*Aft.*: 100 metres free style for ladies. Heats. 100 metres free style for men. Semi-finals. Waterpolo matches.
- 2nd day.*—(Sunday, September 1st) *Morn.*: 200 metres breast stroke for ladies. Semi-finals. Waterpolo matches.  
*Aft.*: 100 metres free style for ladies. Semi-finals. 100 metres free style for men. Final. Waterpolo matches.
- 3rd day.*—(Monday, September 2nd) *Morn.*: Spring board diving for men. Final. Relay race, 4 by 200 metres free style for men. Heats. Waterpolo matches.  
*Aft.*: 100 metres free style for ladies. Final. 400 metres free style for men. Heats. Waterpolo matches.
- 4th day.*—(Tuesday, September 3rd) *Morn.*: 400 metres free style for men. Semi-finals. 100 metres back stroke for ladies. Heats. Waterpolo matches.  
*Aft.*: Display of spring board diving for men by the three first placed. Relay race. 4 by 200 metres free style for men. Final. 200 metres breast stroke for ladies. Finals. Waterpolo matches.
- 5th day.*—(Wednesday, September 4th) *Morn.*: Spring board diving for ladies. Final. 100 metres back stroke for men. Heats. Relay race, 4 by 100 metres free style for ladies. Heats. Waterpolo matches.  
*Aft.*: Display of spring board diving for ladies by the three first placed. 400 metres free style for men. Final. 100 metres back stroke for ladies. Semi-final. Waterpolo matches.
- 6th day.*—(Thursday, September 5th) *Morn.*: 400 metres free style for ladies. Heats. 1500 metres free style for men. 1st and 2nd heat. Waterpolo matches.  
*Aft.*: 1500 metres free style for men. 3rd heat. 200 metres breast stroke for men. Heats. 100 metres back stroke for men. Semi-finals. 100 metres back stroke for ladies. Final. Waterpolo matches.
- 7th day.*—(Friday, September 6th) *Morn.*: High diving for ladies. Final. 100 metres free style for ladies. Semi-finals. Waterpolo matches.  
*Aft.*: 200 metres breast stroke for men. Semi-finals. 1500 metres free style for men. Final. Relay race, 4 by 100 metres free style for ladies. Final. Waterpolo matches.
- 8th day.*—(Saturday, September 7th) *Morn.*: High diving for men. Final. Waterpolo matches.  
*Aft.*: Display of high diving for men by three first placed. 200 metres breast stroke for men. Final. 400 metres free style for ladies. Final. 1500 metres free style for men. Final. Display of high diving for ladies by the three first placed. Waterpolo matches.

**PROGRAMME OF THE XIIth OLYMPIC GAMES TOKYO**

The programme of the XIIth Olympic Games Tokyo 1940, which had been drawn up by the Sports Department of the Organizing Committee was completed early in December. This programme is based mainly on that of the XIth Olympic Games Berlin, at the same time taking into consideration suggestions made by international sport federations. It will be submitted to the I. O. C. Session to be held at Cairo next March for official approval.

According to the programme, the Opening Ceremony will be held on 24th of August, the Games will be held over the period of fifteen days commencing on 25th, and the Closing Ceremony on 8th of September.

At the I. O. C. Session, held at Warsaw in July 1937, the question of including Canoeing and Handball was left undecided. However, as the participation of over five countries in these two items was guaranteed by two international sport federations by the middle of December, they are expected to be included in the programme of the Tokyo Olympic Games with the approval of the Cairo Session of the I. O. C.

The Track and Field events will be held at the Olympic Stadium, Swimming at the Olympic Pool nearby, Wrestling, Weight-lifting and Boxing at Kokugi-kan Amphitheatre, Fencing at two places, namely Kokumin Taiiukan (Education Gymnasium) and Ocha-no-mizu court (outdoor), Hockey at the Shiba Park Stadium, Canoeing on Toda and Arakawa rowing courses, Football at the Olympic Stadium on 2nd, 3rd, 5th and 7th of September, Gymnastics at Kishi Memorial Gymnasium at Ocha-no-mizu, Yachting in the Tokyo Bay adjoing outside the Yokohama harbour, Shooting at Murayama Shooting Ranges, Basketball at Kishi Memorial Gymnasium and Meiji Jingu Basketball court (outdoor), Handball at the Olympic Stadium on 4th and 6th of September, and Rowing on Toda course in Saitama prefecture. For track races in Cycling, Shibaura cycling stadium will be used, and Nakasendo course for road races. The dressage tests in the Equestrian Sports will be held at Setagaya Equestrian Stadium, cross-country rides in the neighbourhood of Fuchu or Setagaya, and the last of the events, "Prix des Nations" Jumping Competition, at the Olympic Stadium.

**PROGRAMME OF THE XIIth OLYMPIAD TOKYO 1940**

Date	August	September	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	Competition Ground
Day	Sun.	Mon.	Tues.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.	Sun.	Mon.	Tues.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.	Sun.	Competition Ground		
Athletics	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	Olympic Stadium.	
Wrestling	M	E	M	E	M	E	M	E	M	E	M	E	M	E	M	E	Kokugi-kan Amphitheatre	
Modern Pentathlon	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	Ocha-no-mizu Court, Murayama etc.	
Fencing	M	E	M	E	M	E	M	E	M	E	M	E	M	E	M	E	Kokumin Taii-kan (Education Gymnasium) & Ocha-no-mizu Court	
Hockey	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	Shiba Park Stadium	
Canoeing	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	Toda Rowing Course & Arakawa Course	
Football	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	Olympic Stadium & other grounds	
Gymnastics	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	Kishi Memorial Gymnasium	
Yachting	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	Tokyo Bay	
Weight-lifting	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	Kokugi-kan Amphitheatre	
Shooting	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	Murayama Shooting Ranges	
Basketball	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	Kishi Memorial Gymnasium & Jingu Court	
Swimming	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	Olympic Swimming Stadium	
Handball	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	Olympic Stadium & other grounds	
Boxing	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	Kokugi-kan Amphitheatre	
Rowing	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	Toda Rowing Course	
Cycling	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	Cycling Stadium & Nakasendo Road Course	
Equestrian Sports	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	M	A	Equestrian Stadium & Olympic Stadium	

OPENING CEREMONY: Sunday, August 24th, 1940, Olympic Stadium 4:00 p.m.  
 CLOSING CEREMONY: Sunday, September 8th, 1940, Olympic Stadium 3:00 p.m.  
 EXHIBITION OF ARTS: August 10th to September 8th, 1940, at the Tokyo Art Gallery.  
 The programme for the DEMONSTRATIONS will be arranged at a later date.

Note:—Those printed in   will be performed in the Olympic Stadium. (Subject to Changes.)



# Olympic News

## XIIth Olympiad, Tokyo, 1940



Issued monthly by the Organizing Committee of the XIIth Olympiad, Tokyo, 1940  
Mantetsu Building, Tokyo Cable address: "SOSIKI TOKYO"

No. 9

January 10, 1938

### TIME-TABLE OF THE TRACK AND FIELD EVENTS IN THE TOKYO OLYMPIC GAMES

The drawing up of the Time-Table of the Track and Field Events in the Tokyo Games has been going on for some time in the hand of the Amateur Athletic Federation of Japan. It was completed as follows toward the end of December, and, with the approval of the Sports Department of the Organizing Committee, was sent to the office of the I.A.A.F. This tentative programme is expected to be officially decided with the approval of the I.O.C. Session to be held in Cairo in March this year, and of the General Meeting of the I.A.A.F. to be held in London in the same month. The events, whose inclusion in the programme of the Tokyo Olympic Games is to be discussed at the General Meeting of the I.A.A.F. to be held in London in March, are the 10,000 metres for men, 200 metres, broad jump and shot-put for ladies. The Amateur Athletic Federation of Japan has decided to send a representative to this General Meeting.

#### Track and Field Time-Table

- |                                              |                                                  |
|----------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 1st Day (Sunday, August 25th).               | 4.45 p.m. 1,500 metres (Heats)                   |
| 10.00 a.m. 100 metres (1st heats)            | 5.00 p.m. Shot Put (Trials, finals)              |
| 10.00 a.m. High Jump (Elimination)           | 5.15 p.m. 80 metres Hurdles-ladies (Semi-finals) |
| 4.00 p.m. 100 metres (2nd heats)             | 5.30 p.m. 200 metres (Final)                     |
| 4.00 p.m. High Jump (Final)                  | 5.40 p.m. 50 kilometres Walk (Finish)            |
| 4.30 p.m. 800 metres (Heats)                 | 5th Day (Thursday, August 29th).                 |
| 5.00 p.m. 400 metres Hurdles (1st heats)     | 10.00 a.m. Javelin (Elimination)                 |
| 5.00 p.m. Discus-ladies (Trials, final)      | 4.00 p.m. 400 metres (1st heats)                 |
| 5.30 p.m. 10,000 metres (Final)              | 4.00 p.m. High Jump-ladies (Final)               |
| 2nd Day (Monday, August 26th)                | 4.30 p.m. 110 metres Hurdles (Semi-finals)       |
| 10.00 a.m. Hop, Step and Jump (Elimination)  | 5.00 p.m. 1,500 metres (Final)                   |
| 10.00 a.m. Hammer Throw (Elimination)        | 5.00 p.m. Javelin (Trials, final)                |
| 4.00 p.m. 400 metres Hurdles (Semi-finals)   | 5.15 p.m. 80 metres Hurdles-ladies (Final)       |
| 4.00 p.m. Hop, Step and Jump (Trials, final) | 5.30 p.m. 400 metres (2nd heats)                 |
| 4.15 p.m. 100 metres (Semi-finals)           | 6.00 p.m. 110 metres Hurdles (Final)             |
| 4.30 p.m. 100 metres-ladies (1st heats)      | 6th Day (Friday August 30th).                    |
| 5.00 p.m. 800 metres (Semi-finals)           | 10.00 a.m. Decathlon: 100 metres                 |
| 5.00 p.m. Hammer Throw (Trials, final)       | 10.00 a.m. Decathlon: Broad Jump                 |
| 5.15 p.m. 3,000 metres Steeplechase (heats)  | 4.00 p.m. 400 metres (Semi-finals)               |
| 5.45 p.m. 400 metres Hurdles (Final)         | 4.00 p.m. Decathlon: Shot Put                    |
| 6.00 p.m. 100 metres (Final)                 | 4.15 p.m. 5,000 metres (Final)                   |
| 3rd Day (Tuesday, August 27th).              | 5.00 p.m. Decathlon: High Jump                   |
| 10.00 a.m. 200 metres (1st heats)            | 5.30 p.m. 400 metres (Final)                     |
| 10.00 a.m. Pole Vault (Elimination)          | 6.00 p.m. Decathlon: 400 metres                  |
| 10.00 a.m. Discus (Elimination)              | 7th Day (Saturday, August 31st).                 |
| 3.00 p.m. Pole Vault (Final)                 | 10.00 a.m. Decathlon: 110 metres Hurdles         |
| 4.00 p.m. 100 metres-ladies (Semi-finals)    | 10.30 a.m. Decathlon: Discus                     |
| 4.30 p.m. 200 metres (2nd heats)             | 3.00 p.m. Decathlon: Pole Vault                  |
| 4.30 p.m. Discus (Trials, final)             | 4.00 p.m. 4x100 metres Relay (Heats)             |
| 5.00 p.m. 800 metres (Final)                 | 4.30 p.m. 4x100 metres Relay-ladies (Heats)      |
| 5.15 p.m. 5,000 metres (Heats)               | 4.30 p.m. Decathlon: Javelin                     |
| 6.00 p.m. 100 metres-ladies (Final)          | 5.00 p.m. 3,000 metres Steeplechase (Final)      |
| 4th Day (Wednesday, August 28th).            | 5.30 p.m. 4x400 metres Relay (Heats)             |
| 10.00 a.m. 80 metres Hurdles-ladies (Heats)  | 6.00 p.m. Decathlon: 1,500 metres                |
| 10.00 a.m. Broad Jump (Elimination)          | 8th Day (Sunday, September 1st).                 |
| 10.00 a.m. Shot Put (Elimination)            | 3.00 p.m. Marathon (Start)                       |
| 1.00 p.m. 50 kilometres Walk (Start)         | 4.00 p.m. 4x100 metres Relay (Final)             |
| 4.00 p.m. 200 metres (Semi-finals)           | 4.00 p.m. Javelin-ladies (Trial, final)          |
| 4.00 p.m. Broad Jump (Trials, final)         | 4.30 p.m. 4x100 metres Relay-ladies (Final)      |
| 4.15 p.m. 110 metres Hurdles (Heats)         | 5.00 p.m. 4x400 metres Relay (Final)             |
|                                              | 5.30 p.m. Marathon (Finish)                      |

( 1 )

I-0489

0089



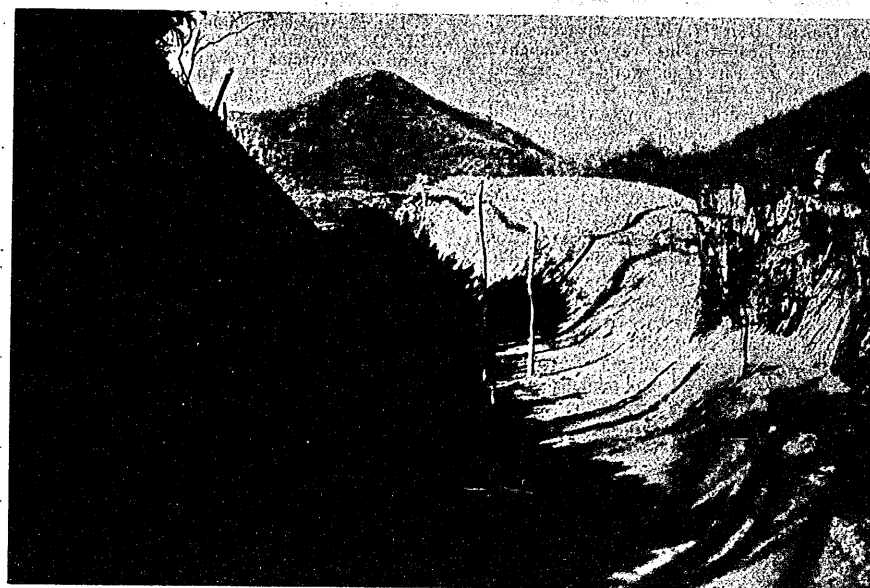
**Art Exhibition Reflects Physical Culture**

The First National Art Exhibition under the auspices of the Department of Education opened on October 16th and lasted till November 20th, in the Tokyo Art Gallery in the Ueno Park, Tokyo,—the building which will house the art contests during the Olympic Games in 1940.

The exhibits numbered 779 and among them there were nearly forty paintings and sculptures which had sports and athletics as their *motif*. The work reproduced here is by Eiji Yoshida and is entitled "Archery" and was one of those specially selected for the Exhibition.

**Counsellor Suma addresses the Convention of A. A. U.**

Addressing the Forty-ninth Convention of the Amateur Athletic Union of the United States held on November 13 in Boston, Counsellor Suma of the Japanese Embassy reassured his listeners that Japan is making preparations for the Tokyo Olympics of 1940. He said: "It is unfortunate that the present China Affair had to occur. But it is likely to end soon and peace will again be established in the Far East in the near future. And Japan is doing everything possible to prepare for the XIIth Olympics. Congresses of learned societies have often been held in Japan, but the 1940 Olympics will be the first athletic meet of world importance to be held in Japan. To make it a success, and to utilize this opportunity to promote international friendship, Japan is exerting utmost efforts in its preparation. I hope America will join us to make this events a great success."



Part of the Sapporo Bob-sleigh course. It will be used and tested during this winter.

発行全製版後印刷人 東京市志保區島町 廣瀬ビルヂング内  
第十二回オリンピック東京大會組織委員会事務局 西川社公刊

( 4 )

PRINTED IN JAPAN  
IMPRIME AU JAPON  
IN JAPAN GEDRUCKT

I-0489

0086

### Radio Broadcasting at the XIIth Olympics

The Berlin Olympics was the first occasion on which radio broadcasting was employed extensively to convey abroad the general atmosphere of the Games and the actual proceedings of the events. The favourable results of broadcasting and advantage of radio must be plain to those who listened in to the broadcasting from Berlin.

Twenty-one countries sent their representative announcers to the Winter Games at Garmisch-Partenkirchen, and about one hundred announcers and their assistants representing thirty-two countries from all over the world attended the Berlin Olympics in order to broadcast the news to their home countries.

As soon as the decision was made to award the next Games to Tokyo, the Broadcasting Corporation of Japan set about making preparations for the overseas broadcasting at the coming Olympics. Members of the Corporation who were then in Berlin were given orders to make investigations, and the Preparatory Committee of Olympic Broadcasting has been established composed of the heads of the Bureaus and Departments concerned in the Corporation. At the same time, the Corporation has been keeping a close touch with the Preparatory Committee established in the Department of Communication, the governmental department which superintends radio broadcasting, and preparations and researches are rapidly proceeding to fulfil the great mission of radio on the great occasion.

Meanwhile, the Broadcasting Corporation dispatched letters, in May 1937, to sixty-two broadcasting corporations all over the world enquiring whether they would send representative announcers to the Tokyo Olympics to broadcast the proceedings of the Games to their respective countries. By the end of September, replies have arrived from the N.B.C. and C.B.S. in the United States and broadcasting corporations in Canada, Holland, Dutch East Indies, Hungary, Poland, Switzerland, Germany, Finland, Italy, England, Roumania, Australia and others, expressing their wish to take part in the broadcasting and send their announcers to Tokyo. Other countries are also rapidly follow-

### REDUCTION IN RAILWAY FARES FOR PARTICIPANTS IN THE TOKYO OLYMPICS

The attitude of the Japanese Government Railways towards the problem of reduction in fares on the government railway lines for the participating foreign athletes and officials and spectators from abroad on the occasion of the XIIth Olympic Games has long been attracting the attention of all concerned. The decision has now been reached as follows:

For foreign athletes and officials, 50% reduction will be made on all lines of the Government Railways during and a month before and after the Games. This reduction will cover all classes and all kinds of ticket (single, return and circular-tour tickets). Their hand baggage, parcels and goods will be transported free of charge. No provision will be made, however, for delivery. The reduction tickets will also be sold at the Japan Tourist Bureau, Thos. Cook & Son, Ltd., and American Express Co. at the same rate of reduction.

The athletes and officials will be provided, as at the Berlin Olympics, with free railway passes (2nd and 3rd class) valid on all electric tram lines in the Tokyo Region of the Government Railways during the Games.

For foreign spectators, the following four kinds of special week-tickets, valid on all government lines excepting Shimonoseki-Fusan ferry-boat, will be sold between January 1st and October 31st in 1940.

(a) Valid for 7 days.	Adult. 3rd class	¥12
(b) Valid for 14 days.	do. do.	¥23
(c) Valid for 21 days.	do. do.	¥35
(d) Valid for 28 days.	do. do.	¥45

Second-class fares will be twice the fares above quoted.

These tickets must be signed by the owners, and will be sold in connection with passports. They will also be sold at the Japan Tourist Bureau, Thos. Cook & Son, Ltd., and American Express Co. as well as at principal stations on the government lines.

Considerable reduction will be made on private lines for passengers who possess the week-tickets. The Government Railways will further negotiate with Siberian Railway and various European railways concerning the connection and reduction in fares on their respective lines.

### Government decides its share of next fiscal year's expenses

At a recent meeting of the Cabinet, the Government decided to include the sum of Yen 750,000 in the next year Budget to be approved by the Imperial Diet so that the government's share of the expenses required during the next fiscal year in preparing for the Tokyo Olympics be met. The same amount was given last year by the Government as its share of the expenditures of the current fiscal year. These sums are portions of the total of Yen 4,300,000 which the Government had indicated as its subsidy for the 1940 Olympics.

ing the lead, and it is expected that the number of participating countries in the Olympic Broadcasting in Tokyo will exceed that at the Berlin Olympics.

As Japan is surrounded by sea on all sides, the short-wave radio system must be used for the broadcasting from Tokyo, unlike Berlin and other European cities. Accordingly, the transmitter and antenna of the Nazaki Transmitting Station in Ibaragi prefecture, owned by Kokusai Denwa Kaisha (International Telephone Service Company), which is at present used for short-wave broadcasting, must be improved and enlarged by the time of the Games.

The details of the proposed plans of improvement will be made known to all the countries concerned, as soon as they are decided upon, in collaboration with the Organizing Committee of the Tokyo Olympiad.

For queries concerning the overseas broadcasting, the Overseas Section of the Broadcasting Corporation of Japan, Tokyo, is ready to give prompt attention.

The Broadcasting Corporation is also planning to give notices concerning the Games and a series of lectures on Japanese to the rest of the world by the present system of overseas broadcasting starting half a year or a year before the holding of the XIIth Olympic Games.

### Dr. Ishimoto to leave for Italy as Exchange Professor.

Dr. Mishio Ishimoto, director of the Institute of Seismological Research in the Imperial University, Tokyo, has been chosen as exchange professor to Italy. Dr. Ishimoto has held important positions not only at the University but in organizations outside the university. He was the chairman of the Scientific Equipment Research Committee for the Olympic Games. He has long been a member of the council of the Amateur Swimming Federation of Japan. The Japanese swimming circles owe a great debt of gratitude to Dr. Ishimoto, for without his untiring efforts Japan would have never attained the eminent position she now holds in swimming.

Dr. Ishimoto will leave Kobe on January 8th on the Yasukuni Maru, arriving in Napoli on February 7th. He will stay in Rome for a period of about three months during which time he will give lectures on seismology at the University of Rome. His plan includes also a field study of Italian volcanos. After his sojourn in Italy, he will tour various countries of Europe and is expected to return to Japan towards the end of June via the U. S. A.

### General Wallenius visits Japan

Major General Kurt M. Wallenius, retired, of Finland visited Japan on his way to Shanghai. He was sent to this part of the world as a special war correspondent of the three largest newspapers in Finland, to despatch war news which would impartially depict the activities of the Japanese forces in China. While in Tokyo, he visited the office of the Olympic Organizing Committee. General Secretary Nagai of the Organizing Committee described to him the various preparations being made for the coming Olympics, and took him to see the various athletic fields in Tokyo. The General gave an interview to reporters in Tokyo, in which he denied the rumour that Finland had started to exert its efforts to have the XII Olympiad held in Finland on receipt of news which



alleged that Japan was thinking of giving up the Olympic Games on account of the Sino-Japanese Affairs. "In fact," he stated, "we felt deeply sorry when we heard the news. I am happy indeed to be re-assured that the coming Olympics shall be held in Tokyo."



Dr. Shimomura, the new President of J. A. A. A.

The post of the presidency of the Japan Amateur Athletic Association, which has been vacant since the resignation of Lieutenant-General Matakiko Oshima, was filled on November 29 when the Council of the association recommended and appointed Dr. Hiroshi Shimomura as the new president. Simultaneously with the appointment, Dr. Shimomura assumes the vice-presidency of the Organizing Committee of the XIIth Olympiad Tokyo 1940.

The newly-elected President Hiroshi Shimomura, LL. D., a member of the House of Peers, was born in Wakayama Prefecture in 1875, and is now 63 years of age. Specialising in jurisprudence at the Tokyo Imperial University, Dr. Shimomura was even then a great lover of track and field events and swimming. After graduation, he found a position in the Department of Communications. He gradually rose in his official status, and was at one time Civil Governor of Formosa.

After retiring from official service, he toured through American and European countries. He was then made the Vice-President of the Asahi Shimbun, one of the foremost vernacular newspapers in Japan. He was in the post till 1936 and contributed much toward the progress of journalism in Japan.

Dr. Shimomura was one of the closest friends of the late Dr. Seitchi Kishi, ex-president of the J.A.A.A., and, on that account, was early connected with the association; in 1915 he was appointed a member of its Council; in 1921 was appointed a member of its Board of Directors; in 1924 he became its general secretary, and in the following year was appointed its superintendent when the Association underwent a thorough reorganisation. In February this year he became an adviser, and now he assumes his office as the new president of the association.

Dr. Hiroshi Shimomura is a recognised authority on financial and population problems. Under the pen name "Kainan" Dr. Shimomura has published many essays as well as collections of his "waka" (Japanese poem) pieces.

# Olympic News



## XIIth Olympiad, Tokyo, 1940

Issued monthly by the Organizing Committee of the XIIth Olympiad, Tokyo, 1940  
Mantetsu Building, Tokyo Cable address: "SOSIKI TOKYO"

No. 8

December 10, 1937



### THE LAST MESSAGE OF BARON DE COUBERTIN

On his arrival in Japan, the technical adviser of the International Olympic Committee, Werner Klingeberg, handed over to the Organizing Committee of the XII. Olympiad an auto-graphed letter of the late Baron de Coubertin.

This is the last statement of the founder of the modern Olympic Games concerning the work of his life.

True to Baron de Coubertin's wishes the Organizing Committee of the XII. Olympiad will prepare and carry through the XII. Olympic Games 1940.

I want to thank you most heartily for your very nice visit which you paid me in Geneva.

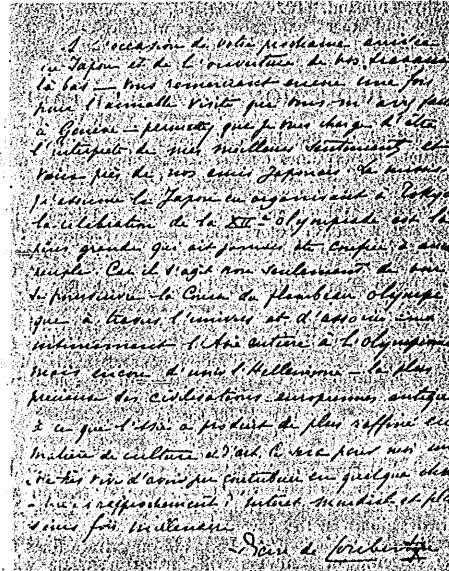
Arriving and starting your work in Japan I want you to act as my interpreter and to transmit my sincere regards and my very best wishes to our Japanese friends over there.

The task of celebrating the XII<sup>th</sup> Olympic Games will be the greatest ever given to a country, for it does not mean merely to pursue the Olympic Torch through the universe and to unite the whole of Asia with the modern Olympism in a most cordial manner, but also to combine Hellenism, the most precious civilization of ancient Europe, with the refined culture and art of Asia.

It is a most enjoyable thought to me to be able to promote the rapprochement of world interest.

Pierre de Coubertin  
Geneva, 29, July, 1937

Translation of the letter of Baron de Coubertin



I-0489

0088

### Tennis Players Arrive from Germany

In spite of the present Sino-Japanese affair, sports world in Japan continues to show great activity. During the summer, track and field, swimming, and wrestling teams were invited to Japan from America. With the coming of autumn, Germany comes into limelight in Japan. A team of German tennis players—Captain Kleinschute, von Cramm, Henckel, and Hiss Höhn—arrived in Yokohama on October 24 via the United States. During their four weeks' stay in Japan, these players will participate in international matches to be held in Tokyo and Osaka, as well as in the All-Japan Championship matches. The party will then leave Japan for Australia, returning to Germany around April of next year.

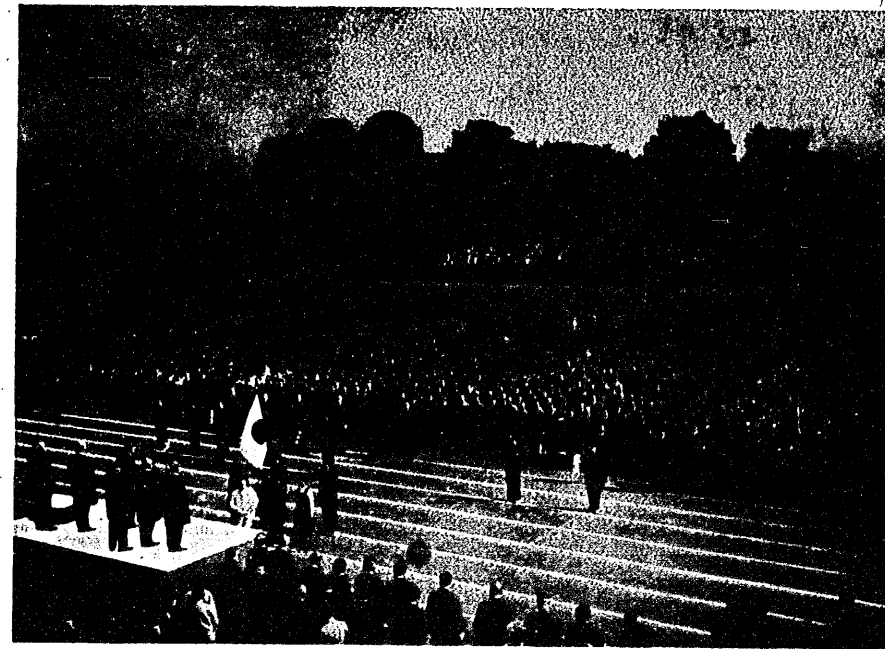
### The 9th Meiji Jingu Athletic Meet

The ninth Meiji Jingu Athletic Meet, the biggest sport event in Japan, took place at the Jingu Stadium over a period of one week from September 28 to October 3.

The Opening Ceremony was featured by a grand parade participated by the competing athletes and officials numbering 25,000 in all.

The sport programs, numbering 23 events, at the Meet include traditional Japanese sport events as well as all of the track and field and aquatic varieties which are included in the programs for the 12th Olympic Games to be held in Tokyo 1940.

Opening Ceremony, 9th Meiji Jingu Athletic Meet, September 28



発行所 東京新聞社印刷部 東京市芝浦区東横町 編者 七尾文子氏  
第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局 社内社公刊

( 4 )

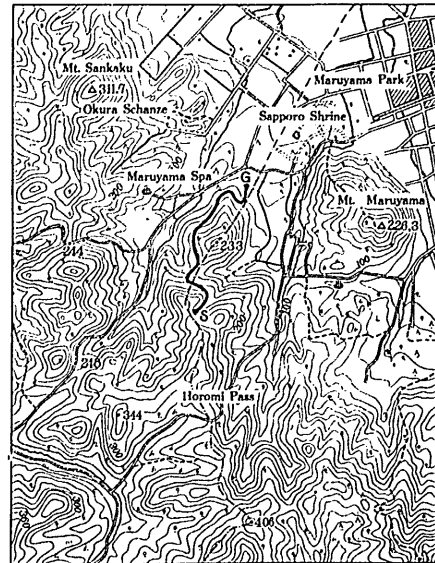
PRINTED IN JAPAN  
IMPRIME AU JAPON  
IN JAPAN GEDRUCKT

I-0489

0089

### BOB-SLEIGH COURSE AT SAPPORO DECIDED

Mr. St. M. Zentzytzki, who came to Japan to supervise the laying of the bob-sleigh course for the Vth Olympic Winter Games, Sapporo, arrived in Sapporo accompanied by Mrs. Zentzytzki on September 20th. During his stay there which extended about a month, he made various investigations in the district and selected the site for the new course in a hilly district in the south of the Main Grounds. The new course, which will have its start at a point, 210



metres in attitude, on the east side of a hill adjoining the south side of Jinjaya, crosses the pass of Jinjaya, runs north through the woods on its west side, and finishes at a point, 60 metres in attitude, in a wooded part in the south of the Main Grounds. It shapes sigmoid curve, and the whole course measures 1718.60 metres.

Mr. and Mrs. Zentzytzki left Kobe for home on board the Terukuni-Maru on October 30th.

### First Issue of Tokyo Olympics Rules to be Published

At the last I.O.C. Session held at Warsaw, it was decided that the First Issue of the Rules relative to the Tokyo Olympics were to be submitted to the next Session to be held at Cairo next March. Accordingly, the Sports Department of the Organizing Committee has set about compiling the "General Rules and Programme," and it is expected that it will shortly appear in print. For its compilation, those issued at the Los Angeles and Berlin Olympics were referred to, and proposed conditions submitted by various International Sports Federations, which Mr. Klingeberg, Technical Adviser to the Organizing Committee in Tokyo, brought with him, were also taken into consideration. It will be printed in English, German, French, Spanish, Italian and Japanese.

### Olympic Mark for Commercial Use

The prize-winning design for the Tokyo Olympics Official Mark, which was selected at the competition conducted by the Organizing Committee of the Tokyo Olympic Games in July this year, has been in use on the official documents and publications of the Committee. It has been decided, however, to specify a separate design to be used on commercial goods, such as souvenirs, associated with the Games, and the newly selected mark, which is a modification of one of the three which were awarded honourable mention at the competition, has recently been licensed at the Patent Bureau as a registered design of the Committee. The use of the registered mark is not open to public, and it is expected that the permission will be given to the applicants upon inspection of the goods.



( 2 )

### Mr. W. Klingeberg Arrives in Japan

Mr. Werner Klingeberg who had charge of sport events at the Berlin Olympics, has accepted the position of technical adviser to the Tokyo Olympic Games. He was recommended to the post by the I.O.C. After visiting the I.A.A.F. headquarters in the various parts of Europe to confer with the different countries on matters relating to the Tokyo Olympics, Mr. Klingeberg travelled via the United States and arrived at Yokohama on October 29 on the N.Y.K. liner Chichibu Maru. Two foreign secretaries, Miss Hartmann and Miss Knoller, travelled via Suez and arrived at Kobe on October 13 on the Hakusan Maru. After a sightseeing tour through Osaka, Kyoto, and Nara, they arrived in Tokyo on October 20.



Mr. Klingeberg arrives at Yokohama

( 3 )

### Transportation Facilities to the Main Stadium

The site selected for the Main Stadium of the XIIIth Olympic Games, Tokyo, is the Outer Garden of the Meiji Shrine, which is dedicated to Meiji Tenno, the most revered Emperor of the Japanese nation, and is situated in the western part of the city of Tokyo. As Japan's important athletic meetings are mostly held there, transportation facilities are well developed in its neighbourhood, radiating in all directions. From the Tokyo Station, the main entrance of the metropolis, the Stadium may be reached in 20-30 minutes by government or municipal electric lines, or by buses run by the municipality or private concerns, and 10 minutes by taxi.

With these traffic facilities, the maximum transportation capacity to accommodate visitors to athletic meetings held in the Outer Shrine is at present estimated at 136,000 persons per hour. In order to provide for a greatly increased number of visitors both from abroad and from the provinces expected on the occasion of the Olympic Games in 1940, however, all the transportation facilities concerned are taking active measures to meet the situation.

Of the above facilities, the government electric lines have the greatest transportation capacity, and can convey the largest number of passengers not only from various parts of the city, but also from that international port Yokohama and its vicinity. It is natural, therefore, that these government lines will bear the main burden of transportation in 1940, and plans of extending and reconstructing the two stations situated closest to the Main Stadium, Shinanomachi and Sendagaya, are well under way, so that by the time of the Games, they will be ready to accommodate with ease a far greater number of passengers. It is expected that an increase from the present 72,000 to 140,000 persons per hour will greatly improve the transportation capacity.

Alongside these extension plans of the governmental lines, other train and bus lines, municipal or private, are also making plans to increase the number of direct routes to the Stadium from various important points of the city by increasing the number of cars and altering certain operation systems. Moreover, a new underground railway between the centre of the city and the Stadium will shortly be opened. There are also plans of constructing new roads, eighteen in number, and 7,000 metres in their aggregate length, between the termini of the transportation systems and the Stadium, and from the Stadium on to the suburbs.

It should be plain, from the above plans, that by the time of the Olympic Games three years hence, means of communication to the Stadium will be in excellent order, and will provide every facility for the visitors to this great national event.

I-0489

0090

# Olympic News



XIIth Olympiad, Tokyo, 1940

Issued monthly by the Organizing Committee of the XIIth Olympiad, Tokyo, 1940  
Mantetsu Building, Tokyo Cable address "SOSIKI TOKYO"

No. 7

November 10, 1937

## PROGRAMME OF THE WINTER OLYMPICS, SAPPORO

The Programme of the Vth Olympic Winter Games, Sapporo, 1940, has recently been decided as the following by the Vth Olympic Winter Games Committee which is in charge of the Games. It will be submitted to the I.O.C. Session, to be held at Cairo next March, for official approval. The Games will be held in Sapporo between 3rd and 14th of February. During the period of time thus scheduled for the Games, both the snow and ice are expected to be in the best condition judging from the experience derived from the contests held there in the past.

### Saturday, February 3rd

9.0 a.m. : Opening Ceremony in the Olympic Stadium.  
2.0 p.m. : Speed Skating (500 m)  
6.0 p.m. : Ice Hockey  
8.0 p.m. : Ice Hockey

### Sunday, February 4th

9.0 a.m. : Speed Skating (5000 m)  
11.0 a.m. : Skiing, Downhill Races for ladies  
2.0 p.m. : Ice Hockey  
6.0 p.m. : Ice Hockey  
8.0 p.m. : Ice Hockey

### Monday, February 5th

8.0 a.m. : Bobsleigh (4 men)  
9.0 a.m. : Speed Skating (1500 m)  
11.0 a.m. : Skiing, Downhill Race for men  
2.0 p.m. : Ice Hockey  
6.0 p.m. : Ice Hockey  
8.0 p.m. : Ice Hockey

### Tuesday, February 6th

8.0 a.m. : Bobsleigh (men)  
9.0 a.m. : Speed Skating (10000 m)  
10.0 a.m. : Skiing, Slalom (ladies)  
2.0 p.m. : Ice Hockey  
6.0 p.m. : Ice Hockey  
8.0 p.m. : Ice Hockey

### Wednesday, February 7th

10.0 a.m. : Skiing, Slalom (men)  
1.0 p.m. : Figure Skating, compulsory figures (men)  
2.0 p.m. : Ice Hockey  
6.0 p.m. : Ice Hockey  
8.0 p.m. : Ice Hockey

### Thursday, February 8th

9.0 a.m. : Skiing Relay Race (4 x 10 kilometres)  
10.0 a.m. : Ice Hockey  
1.0 p.m. : Figure Skating, compulsory figures (men)  
6.0 p.m. : Ice Hockey  
8.0 p.m. : Ice Hockey

### Friday, February 9th

8.0 a.m. : Bobsleigh (2 men)  
1.0 p.m. : Figure Skating, compulsory figures (ladies)  
2.0 p.m. : Ice Hockey  
8.0 p.m. : Ice Hockey

### Saturday, February 10th

8.0 a.m. : Bobsleigh (2 men)  
10.0 a.m. : Skiing, 18 Kilometres Race (Special and Combined Events)  
1.0 p.m. : Figure Skating, compulsory figures (ladies)

### Sunday, February 11th

11.0 a.m. : Ski Jump (Combined Events)  
2.0 p.m. : Pair Skating

### Monday, February 12th

8.3 a.m. : Skiing, 50 Kilometres Race  
1.0 p.m. : Figure Skating, Free Skating (men)  
6.0 p.m. : Ice Hockey

### Tuesday, February 13th

9.0 a.m. : Military Ski Patrol Race (Display Competition)  
1.0 p.m. : Figure Skating, Free Skating (ladies)  
6.0 p.m. : Ice Hockey

### Wednesday, February 14th

10.3 a.m. : Ski Jump (Special Event)  
4.0 p.m. : Closing Ceremony in Olympic Stadium.

( 1 )

I-0489

0091

**Statement of Dr. Takashi Goh, Chief  
of the Sports Department**



I wish to take this opportunity to reiterate our previous statement to all those concerned with or interested in the Olympic Games who may be under the impression that, in view of the present China Incident, the Tokyo Olympic Games stand in danger of abandonment. The preparations for the Games are, as we have repeatedly stated, making rapid progress in the hands of the Organizing Committee. It is true that, in view of the Incident, plans for the construction of the Stadium had to be modified to a certain degree; but as the result of this modification, the Games will be held more economically and simply, thus conforming to the real spirit of the Olympic Games, and avoiding the extravagances of which the I. O. C. has so often accused the Games in the past.

We firmly believe, moreover, that, even if the Incident be prolonged so that the Government is unable to give us the same measure of support that it would have otherwise given us, the enthusiasm shown by the city of Tokyo and the effort of all those interested in sports in Japan will overcome all the difficulties. The XIth Olympic Games shall be held in Tokyo. Let there be no doubt on that score.

In grandeur and display, the Tokyo Olympics may fall short of the standards set in some of the Olympic Games in the past, but on matters which manifest the true Olympic spirit, the Organizing Committee is determined that the Tokyo Olympics shall rank second to none.

**Tokyo Olympic Posters chosen**

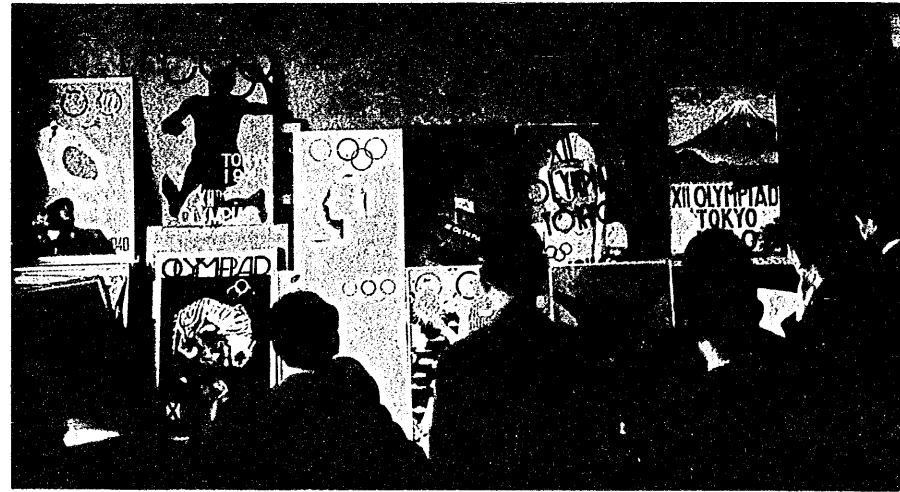
The judging of posters for the Tokyo Olympics submitted in the competition held under the auspices of the Organizing Committee took place at the Committee's offices on September 24th at 2 o'clock p. m. in the presence of Baron Morimura, President of the Japan Association of Arts in Physical Culture, the members of the jury of award, Dr. Nagai, General Secretary of the Organizing Committee, and others. Out of 1992 entries, one for the first place, and two and three for the second and third places respectively were selected after an elaborate judging.

What great expectations are entertained of the Tokyo Olympic Games may be conjectured from the enthusiasm shown by the entrants, one of them having sent in his work from Paris, and from the characteristic features which marked the designs of the posters entered for this competition.

As the year 1940, the year in which the Olympic Games will be held, will coincide with the 2,600th anniversary of the founding of the Japanese Empire, the exaltation of national spirit and the international comity through the Olympic Games are admirably harmonized, while World Peace and the elevation of national health are equally stressed.

The design which won the first prize portrays a warrior dressed in ancient Japanese costume symbolizing the national spirit and the great many years which have elapsed since the founding of the Empire. He stands under the branches of an oak tree with a bow in his hand, and behind him is seen a distant view of Mt. Fuji. The whole picture is done in relief style in gold and the background is dark blue. It is the work of Mr. Norio Kuroda, a young artist living in Kyoto.

Selecting the Winning Entries in the Poster Contest



発行印刷権者印図人 東京市赤坂区高島町 益野ビルヂング内第  
第十四号オリンピック東京大会組織委員会事務局 西川正公刊

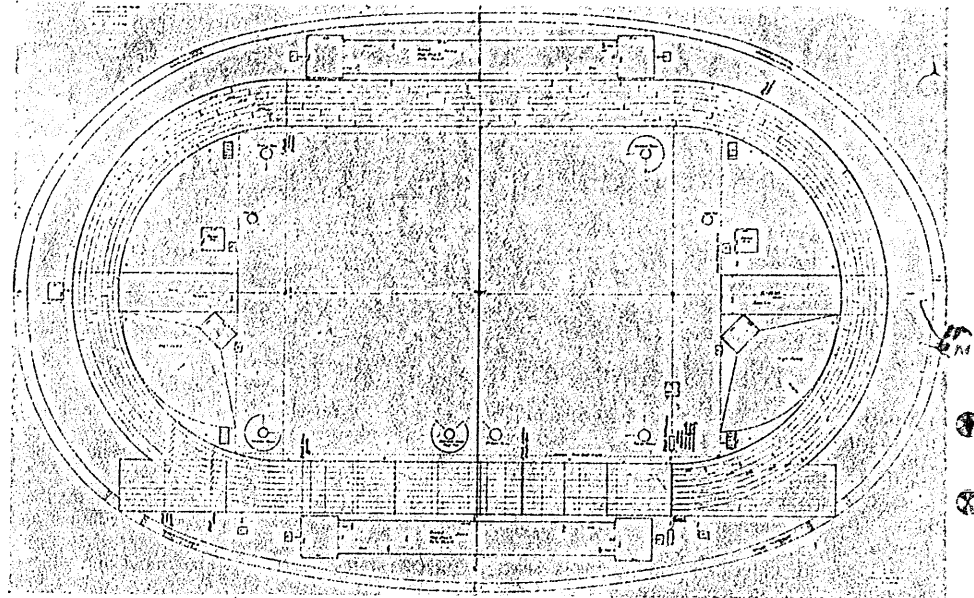
( 4 )

PRINTED IN JAPAN  
IMPRIMÉ AU JAPON  
IN JAPAN GEDRUCKT

I-0489

0092





Plan of the Field and Track ground in the Main Stadium

#### Planning of the Field

For the convenience of spectators, it is desirable to place the jumping fields in the Field proper, that is to say inside the Track. But, as Football matches will be played there, the two jumping fields are placed outside and on either side of the Track parallel to the stands. The one nearer to the Main Stand will be used for the final, and the other for eliminating trials.

There are sand-pits at both ends of each of the jumping fields to provide for a change in the direction of the wind. The distance between the sand pits is 60 metres, allowing 40-50 metres as the standard length of a runway. The whole width of the runway is 7.20 metres, allocating 2.40 metres to each of the three events to be held there, namely, Pole Vault, Broad Jump, and Hop, Step and Jump. As the take-off boards used in the Broad Jump, and Hop, Step and Jump are 1.22 metres wide, 2.40 metres, or about twice this width, were calculated sufficient for the width of a runway, providing for the shifting of the take-off boards, and taking into consideration the mental condition of the jumpers on a run. The width of the sand pit is 9.20 metres, or 2 metres more than that of the whole runway, and the length is 8 metres, assuring the jumpers absolute safety, taking 8 metres as the mark at which the Broad Jump will be won.

Fields for the High Jump are situated inside the Track facing the Main Stand, one close to the starting-line of the 100-metre race, and the other in a corresponding place close to the finish-line, in order to afford the spectators an unobstructed view of the competition, and at the same time taking into consideration the position of the sun, and, as in other cases, the mental strain of the participants. The sand-pits measure 7 metres by 5 metres, giving sufficient safety for any of the various methods of

jumping such as roll-over and others. For the runway, 18 metres are taken as the standard length.

Runways for the Javelin Throw are provided at both ends of the Field, and are 8.60 metres in width, the maximum available because of the presence of the High Jump runway. The length of the runway ought to be over 30 metres, and from the standpoint of the participating javelin throwers, it is desirable not to place the runways inside the Main Track. In order to comply with these conditions, however, the goal-posts to be used in Football matches must be removed. After a discussion on this point, the Athletic Federation conceded, and the runways for the Javelin Throw were placed inside the Main Track. This disadvantage on the javelin throwers will have to be relieved as much as possible by a suitable schedule in the programme.

For the elimination trials of the Hammer Throw and Discus Throw, circles and cages placed in the four corners of the Field will be used for the sake of safety and spectators' convenience, and in the finals those placed at the centre of the Home Stretch will be used for the convenience of both participants and spectators.

Circles for the Shot Put are placed at both ends of the Field and parallel to the Main Stand. In the finals, however, the circle for the finals of the Hammer Throw will be used. It was at first suggested to use the spaces left in the semi-circles, opposite the High Jump fields, at both ends of the Field as the circles for the Shot Put. But, as they proved to be too narrow for the purpose, sandpits of 5 metres square were installed there for the warming-up of the participants and as provision for future use.

The Field is provided with watering equipment to keep the lawn and tracks in good condition, and with a drainage system to carry off the rain.

( 2 )

#### Yoshioka equals record of 10.2 seconds in 100 metre dash

The American track and field team which visited Japan during the summer participated in meets held at Tokyo, Nagoya, and Osaka. One of the most notable achievements of these meets was the winning of the 100 metre race at Osaka by Yoshioka who took 6th place at the Los Angeles Olympics. Assisted by a strong wind which registered a velocity of 15 metres, Yoshioka showed excellent speed from the start, and ran the 100 metres in 10.2 seconds, out-distancing Tolmich and Weierhauser. Tolmich, the all-American junior 100 metre dash champion, came second, running the distance in 10.3 seconds. The third place was taken by Taniguchi whose time was 10.4 seconds.

In the Nagoya meet, Yu Hai Wei of Manchoukuo, who participated by special invitation, created a sensation by winning the 800 metre race, defeating Woodruff, the undefeated champion since the Berlin Olympics.

In the pole vault, Sefton, who was Oe's rival when Oe visited America last spring, won the Osaka meet, clearing the bar at 4.35 metres. However, he yielded to Oe in Tokyo and to both Oe and Adachi at the Nagoya meet. Meadows was injured during the Tokyo matches.

Other notable records registered during these matches were the 14.3 seconds made by Tolmich in the high hurdles, and 1 minute 55.0 seconds made by the American team in the Swedish relay.

#### Bado Raymond, noted wrestling coach, arrives in Japan

Wrestling organizations in Japan are making extensive preparations for the Tokyo Olympics. As a part of the training, international matches were held and a team of American wrestlers specially invited to come to Japan to participate in them. With the close of this series of matches, no time was lost in providing for a second training programme. Taking advantage of the visit to Tokyo of Bado Raymond, the former Hungarian heavyweight champion in the Greco-Roman style wrestling, an arrangement was made for a month's training period during which time Japanese wrestlers received training in the Greco-Roman style wrestling in the Waseda University gymnasium.

Bado Raymond's experience in wrestling extends over a period of nineteen years. He is a graduate of a physical culture college in Budapest. He won the third place in the Greco-Roman style and fifth place in the free style at the 1924 Paris Olympics; and second place in the European championship meet in 1925. Two years later, he won the coveted championship. In the 1928 Olympics at Amsterdam, he was placed fifth. His appearance at the Berlin Olympics was made in the capacity of coach to the Egyptian Olympic team.

#### Mr. S. Zentzytzki at Sapporo

Mr. S. Zentzytzki, accompanied by Mrs. Zentzytzki, arrived in Sapporo on Sept. 20. He came to Japan to supervise the laying of the bob sleigh course for the VII Olympic Winter Games to be held in Sapporo. The members of organizations interested in the Olympic Games, the members of the Bob-sleigh Association, and others connected with various athletic associations, turned out *en masse* to meet the distinguished expert at the Sapporo Station. At the Grand Hotel, he was introduced to the various persons connected with the work in preparation for the Olympics.

Mr. Zentzytzki is expected to stay in Sapporo for three weeks, during which period he will select the site for the course and give directions for the necessary work to be undertaken.



The day after his arrival in Sapporo, he conducted a careful examination of possible sites near the Olympia Schanze. Sankaku-yama and the grounds surrounding the Silver slope were also studied. On the 22nd and 23rd, a survey was made of a stretch of land about 200 metres between Horomi-toge and Ban-kei-toge where removal of shrubbery will be necessary, and a course about 800 metres long between Kamiji Yama and Horomi-toge was selected.

Aside from surveying and other field work, Mr. Zentzytzki is expected to be kept busy with conferences with the Mayor of Sapporo and the Governor of Hokkaido, in addition to his social obligations at the various parties to be given in his honour.

( 3 )

I-0489

0093

# Olympic News



## XIIth Olympiad, Tokyo, 1940

Issued monthly by the Organizing Committee of the XIIth Olympiad, Tokyo, 1940  
Mantetsu Building, Tokyo Cable address: "SOSIKI TOKYO"

No. 6

October 10, 1937

### PLANS FOR THE MAIN STADIUM OF THE TOKYO OLYMPICS

● Construction plans for the Main Stadium of the XIIth Olympic Games, Tokyo, have been drawn up by the Sports Department of the Organizing Committee with the co-operation of the Amateur Athletic Federation of Japan, member of the I. A. A. F., and will shortly be sent to the International Amateur Athletic Federation for official approval.

● The plans call for a reconstruction of the existing Meiji Shrine Stadium. In drawing up the plan, the Main Stadium of the Berlin Olympic Games was taken as a model, and stadiums at Amsterdam and Los Angeles were also referred to.

In this issue, only the plans of the Track and Field will be described. The Stand and other plans will appear in later issues.

Special underground passages are provided for participating athletes entering and leaving the Track and Field ground. Pits are provided at several important points for photographers in order to prevent them from getting in the way of athletes and spectators.

The foremost part of the Main Stand and the jumping field are separated by 6 metres, the maximum distance obtainable on the site allotted for the Stadium in the Outer Garden of Meiji Shrine, to ease the congestion expected at the Opening Ceremony and for the smooth running of the programme. On the opposite side of the Track, 4 metres separate the Stand and the second jumping field in order to relieve the mental strain of the jumpers during the elimination trials.

● Mr. C. Hunter, coach, and Mr. W. Sefton, captain of the U. S. Track and Field Team which visited Japan this summer, expressed their satisfaction with these plans.

#### Planning of the Track

● The Track measures 400 metres a lap, and the curves are mono-centric semi-circles of 36.50 metre radius. The number of lanes is nine on the Home Stretch and eight on the Back Stretch, adding one each to the numbers provided in the Stadium of the Berlin Olympics. The width of a lane is 1.25 metres, conforming to the rules of the International Amateur Athletic Federation and the Amateur Athletic Federation of Japan, and taking into consideration the width of the newly-adopted hurdles.

For the 100-metre, 110-metre hurdle, women's 100-metre and women's 80-metre hurdle races, six of the lanes on the Home Stretch, omitting two on the inside and one on the outside, will be used, and for the 200-metre, women's 200-metre, 400-metre, 400-metre hurdle, 400-metre relay and women's 400-metre relay races, six lanes, omitting the innermost and the outermost, will be used. As the innermost lane will be continuously used in various races of over 800 metres, and will naturally get cut up, it was considered advisable not to use this lane for races of less than 400 metres for which separate lanes are provided.

The Home Stretch is made 5 metres longer than that at the Stadium at Berlin at the starting-end, and about 10 metres longer at the finish end. This will give the starter ample space for carrying out his mission, since, with this extension, a space of 10 metres in length is available behind the starting-line of the 110-metre hurdle race. The corresponding extension at the other end of the Stretch is made in order to give symmetry in the construction of the Track, at the same time taking into consideration the momentum of the sprinters after passing the finishing line.

The water-jump of the 3,000-metre Steeple-chase is apt to cause trouble when placed close to the starting-line, so it is placed on the opposite side, that is, on the side of the starting-lines of the 100-metre and 110-metre hurdle races. It may, however, be moved to some other point if it happens to interfere with the holding of ceremonies. At the point where the water jump is to be situated, a space of about 100 metres wide between the Track and the Main Stand will serve to relieve congestion. There is a corresponding space of equal width on the opposite side to provide for symmetry.

( 1 )

I-0489

0094

### U.S.A. Swimming Team Invited to Japan

Japan is making elaborate preparations for the Olympic Games to be held three years hence.

Even in swimming, in which Japan's supremacy is generally acknowledged, it is considered advisable to give impetus to the Japanese swimmers from time to time and give them chance to study various foreign methods. It was from this point of view that the Amateur Swimming Federation of Japan decided to invite the following five American Olympic swimmers to the Championship Meet held at the Meiji Shrine Pool on August 14, 15 and 16.

The visitors were, Adolf Kiefer, back-stroke; Jack Medica, free-style; John Higgins, breast-stroke; Elbert Root, diving; and Miss Katherine Rawls, diving, who also participated in free-style and back-stroke events.

In the 400-meter free-style,—an event in which Japan had been unable to place a winner since the time antedating the Los Angeles Olympic Games in 1932—Makino managed to beat Medica. Higgins

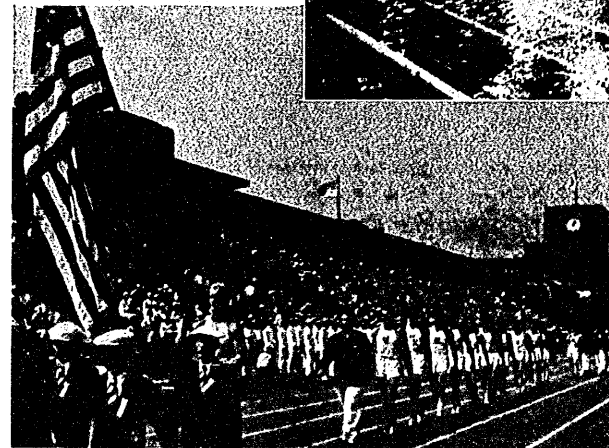
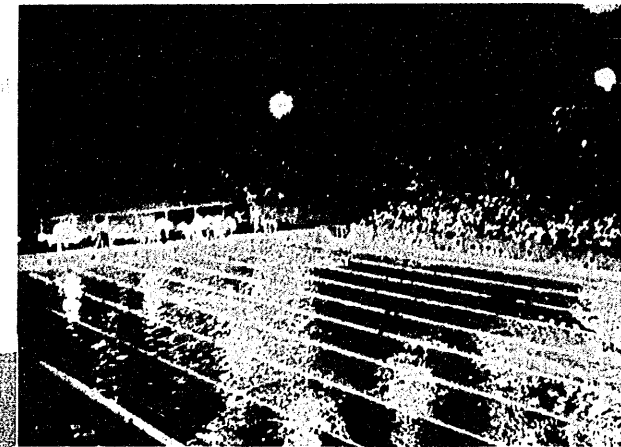
showed his famous "butterfly stroke" but he was no match for the Japanese breast-stroke swimmers, and it was with some difficulty that he managed to pass the semi-final. He even lost to two or three Japanese swimmers who adopted the "butterfly strokes." Hamuro, who represented Japan in the Berlin Olympic Games, won this event. His time, 2:40.2 minutes, betters the world's record.

In diving, Shibahara did very well against Root, and lost only by a narrow margin. Root also beat him in the high dive.

Miss Rawls was unbeatable in women's events, but the number of promising women swimmers and divers in Japan is rapidly increasing, and it is generally believed that by 1940 several of them will approach the standard now set by Rawls.

As regards the water polo, it has been decided to select promising players to form a national team, and make them undergo a systematic training over a long period in order to turn out a first-class team for the coming Olympic Games.

Opening Night of Japan-American Swimming Meet, Meiji Shrine Pool, August 14



Opening Ceremony, Japan-American Track and Field Meet, August 28

発行金版権者印紙人 東京市志保区藤町 藤田ビルディング内第  
第十二号オリンピック東京大会組織委員会事務局 西本社公刊

( 4 )

PRINTED IN JAPAN  
IMPRIMÉ AU JAPON  
IN JAPAN GEDRUCKT

I-0489

0095

**Messrs. Klingeberg and Zentzytzki to come to Japan as Technical Advisers.**

On the recommendation of the International Olympic Committee, Mr. W. Klingeberg, who had charge over the Olympic sports events at Berlin,



will come to Japan to act as a technical adviser to the Organizing Committee in Tokyo. He is expected to come via the United States, arriving in Yokohama on October

15. On the way, Mr. Klingeberg will confer with the officials of the International Sports Federation in the various countries, on problems connected with the regulations for the competitions in Tokyo, schedule of events, etc.

**American Wrestling Team Presented with Japanese Short Swords**

At the Berlin Olympic Games, champions were presented with young oak trees. The problem of what to present at the Tokyo Olympics is now being studied. The Japan Amateur Athletic Association has put the question before the readers in its official periodical "The Olympics." From the various expressions of opinion received by the Association, it appears that many are in favor of presenting swords to men champions and mirrors (ancient Japanese-style) to women champions. The Kamakura Amateur Athletic Association took up this idea and presented a Japanese short sword 19 cm. long (blade length 11 cm.) to each of the members of the American wrestling team when they visited Kamakura. These swords were forged by Tsunahiro, the 23rd master swordsmith in the famous Masamune family of Kamakura.

In some quarters it is proposed that the *icho* (gingko) tree should take the place of oak at the Tokyo Olympics. The Japan Bonsai (fancy dwarfed potted trees) Association is strongly supporting this proposal. As an experiment, several gingko trees were planted in the gardens of Mr. Ryozo Hiranuma (chief of the Japanese delegation to the Berlin Olympics and O. O. C. member) in Yokohama.

Mr. M. Zentzytzki, famous designer of bob-sleigh courses, will leave Germany accompanied by his wife and, travelling by way of Canada, is expected in Tokyo on September 19, when he will take up his duties as technical adviser for the Sapporo Winter Games. The bob-sleigh courses at Lake Placid and at Garmisch-Partenkirchen, as well as that at Cortina d'Impezzo, Italy, reputed to be the finest in the world, were all designed by Mr. Zentzytzki. With respect to topography, temperature, ice, snow, and other natural conditions, Sapporo qualifies as an excellent site for the Winter Games.



Under the able direction of this noted adviser, Sapporo is expected to become one of the world's best grounds for winter sports.

**Japan-American Track and Field Meet**

The Second Japan-American Track and Field Meet was held at the Meiji Shrine Stadium on August 28th and 29th, approximately the same time of the year as that scheduled for the Olympic Games in 1940. The first meet, it may be recalled, took place in 1934 at Tokyo and Osaka and resulted in a draw.

The U.S.A. team visiting this year, which is in charge of Mr. Charles F. Hunter who acts as coach and manager, consists of the following fifteen athletes; William Sefton (captain), Earle Meadows, David Albritton, John Woodruff,—these four hold world records,—Robert Young, Allan Tolmich, Thomas Moore, Jack Weiershauser, Charles Fenske, Floyd Lochner, Kermit King, Richard Ganslen, James Reynolds, William Reitz, and Irving Folwarshtny.

Japan was represented by Tsukamoto (captain), Murakoso, Oye, Yoshioka and twenty others.

At 2 o'clock on 28th, the playing of the Army and Navy bands opened the meet. The opening ceremony was immediately followed by the first of the events, the 1,500 meter race, before a capacity crowd.

Many outstanding performances were witnessed, and four new records were established. The Americans finally won by 94 points to 84, winning 14 out of 19 events.

#### PREPARATIONS FOR TOKYO OLYMPIC GAMES MAKING RAPID PROGRESS

On August 6th, the Army officially announced that seven officers, including well-known Captain Takeichi Nishi, had been chosen for the Equestrian events of the XIIth Olympic Games to be held in Tokyo in 1940, and that these expert horsemen were to devote their time to practice and training of their horses for three years prior to the Games.

Unfortunately, however, on account of the recent Sino-Japanese incident the Army authorities are of opinion that it is undesirable, in the circumstances, for those officers in active service to devote themselves entirely to preparations for the Olympic Games.

This aroused much comment in all quarters, and some people even suspected that it meant the abandonment of the whole of the Olympic Games. The Organizing Committee is anxious to clear up such a misunderstanding, and declared its intention to make a greater effort for the preparation for the Games without being disturbed by the present state of affairs.

#### Official designation for the Winter Games at Sapporo

The Olympic Organizing Committee held a meeting at its offices in the Mantetsu Building on August 24, and deliberated on the rules relative to the committee in charge of the Winter Games at Sapporo.

After the meeting, the Organizing Committee announced the following.

(1) The "Vth Olympic Winter Games Sapporo 1940" shall be the official designation for the international competition to be held at Sapporo in 1940.

(2) The committee in charge of the event shall be known as the "Vth Olympic Winter Games Committee."

#### The Question of Languages to be used at the Olympics

In accordance with the Olympic Rules, French, English, and German will be used in correspondence with the I. O. C., the N. O. C., and the International Sports Federation.

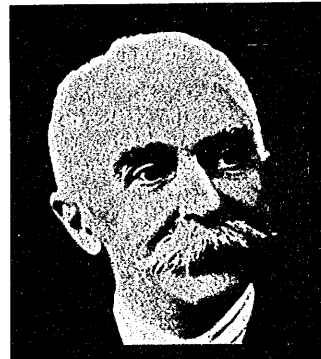
For the Olympic Games heretofore, the regulations for the sports events were printed in French, German, English, and Spanish. Starting with the Tokyo Olympics, an edition in Italian will be issued in addition, under a decision of the I. O. C. made at its Warsaw session.

It is expected, however, that Japanese and English will be the principal languages to be used at the time of the Olympic Games. All printed matter as well as every notice issued by the Organizing Committee to the general public will be printed in both Japanese and English.

#### Japan Deplores Passing of Baron de Coubertin

It is with profound regret that we announce the passing of Baron Pierre de Coubertin, founder and life Honorary President of the Olympic Games, who died on September 2, 1937. Baron de Coubertin's death is a great loss to the Olympic Games, with which he had been so intimately associated ever since their foundation in 1896. Japan had hoped that it might be possible to see him at the 1940 Games, and to give him a cordial welcome in appreciation of his loyalty to the cause he had sponsored for so many years, the cause which has proven and is proving to be so beneficial to the welfare of mankind. Baron de Coubertin's name will live forever in history as a world benefactor.

Organizing Committee of XIIth Olympiad, Tokyo, 1940



Baron de Coubertin was born at Paris on New Year's Day 1863. After graduating from the Normal School in Paris where he studied history, he went to England for further study. It was in 1894, when he was still a young writer and educator, that the Baron first presented his plan to revive the Olympic competitions of ancient Greece. Many difficulties were met and overcome by his noble love of sport, and two years later, the first Games were held at Athens.

The Baron fittingly became the first President of the International Olympic Committee and served actively in that capacity from 1896 until 1925, when he retired in favour of his collaborator, Count Henri de Baillet-Latour. From then until his death he remained honorary president of the organization which he had founded. He was the author of a number of books of which the "Reminiscences on Olympia" is the most famous.

#### Statement of the General Secretary of the Organizing Committee of the XIIth Olympic Games Tokyo 1940



Dr. Matsuzo Nagai

For the past several days various rumours were noted to have been in circulation, some of them even appearing in Tokyo's vernaculars, that Japan will decline the scheduled holding of the 1940 Olympiad in Tokyo. It must be stated here that all these rumours had no ground whatever to attest to their authenticity. They were entirely contrary to the actual circumstance in which the matter at issue now stands.

Although there is no doubt that the international situation in the Far East is strained at the present moment, the fundamental stand as maintained by Japan has undergone no change whatever. It has always been the sole desire and determination of Japan to strive toward a firm establishment of the peace in the region and the belief that the ominous cloud now overhanging will soon pass away is entertained by the nation.

Under the circumstances, Japan sees no reason why she should decide on the abandonment of the forthcoming international athletic meet to be staged in Tokyo three years ahead.

On September 8, the Olympic Committee of the Municipality of Tokyo, the host to the 1940 Olympiad, passed a resolution to continue preparations with a view to holding as scheduled the 12th Olympic Games in 1940 here. Nor do the athletic organizations concerned in Japan alter their unswerving resolve to hold it. The Japanese Government, too, let it be clearly stated here, has on no occasion in the past shown any gesture indicative of its inclination toward declining the 1940 Olympiad.

While taking fully into account the gravity of the current situation confronting Japan, the Organizing Committee will not relax its efforts and appropriate measures so that all requirements for the realization of the plan for the coming international event will be timely ready.

We hereby wish that all the misunderstandings on the matter be wiped away both at home and abroad so that the foreign nations as well as the Japanese nation may not be misled concerning the question at issue.

Dr. Matsuzo Nagai,

General Secretary of the Organizing Committee of the XIIth Olympic Games Tokyo 1940.

September 11, 1937.

# Olympic News



XIIth Olympiad, Tokyo, 1940

Issued monthly by the Organizing Committee of the XIIth Olympiad, Tokyo, 1940  
Mantetsu Building, Tokyo

Cable address: "SOSIKI TOKYO"

No. 5

September 10, 1937

## COUNT SOYESHIMA'S REPORT ON WARSAW CONFERENCE

Immediately following their return to Japan on August 6, Count Michimasa Soyeshima, Japanese delegate to the I. O. C. Session held at Warsaw in June of this year, and Mr. Sohaku Ri, a member of the Sports Department of the Organizing Committee, who also attended the I. O. C. session, submitted their formal report on the proceedings of the Session at a meeting of the Organizing Committee called on August 12 and 19, and the report was accepted unanimously at the meeting.

The principal decisions of the Warsaw Conference covered the Programme of the XIIth Olympiad Tokyo 1940, and the nomination of Sapporo as the site for the Vth Olympic Winter Games.

The Organizing Committee is showing a renewed vigour in taking up the task of preparing for the events on the basis of Count Soyeshima's official report. With the appointment of Mr. Nagai to the post of General Secretary, the Committee is entering upon a period of great activity.

Preparations for the Winter Games will proceed under the control of the O. O. C. for summer events, with Prince Tokugawa as President. A special committee known as the Vth Olympic Winter Games Committee, however, has been organized at Sapporo, with Mr. Hidehiko Ishiguro, Governor of Hokkaido, as Chairman. This committee has begun to function already, with a resolve to realize the proposed plans for the Games as described in the "Olympic News" No. 3.

The programme of the Tokyo Olympics adopted at the Warsaw Conference is as follows:—

### Programme of the XIIth Olympiad Tokyo 1940

Decided at Warsaw, June 11th, 1937

Date: Last week of August and first week of  
September 1940

Sports: Athletics  
Boxing  
Cycling  
Equestrian Events  
Fencing  
Gymnastics  
Modern Pentathlon  
Rowing  
Shooting  
Weight-lifting  
Swimming  
Wrestling  
Yachting  
Art Competitions

#### Games from the selective group:

Association Football  
Waterpolo  
Hockey  
Basket Ball

#### Demonstrations:

National Sport: Original Japanese Sports  
Budo  
A Sport foreign to the organizing country:  
Baseball

#### Decision:

Handball and canoe will not remain on the Programme if the International Federation concerned do not in six months' time give the guarantee that five countries will compete.

#### Regulations:

First edition: March 1938/IOC-Session at Cairo  
Final edition: January 1939/mailing date.



Takashi Goh, M. D.  
Manager of Sports Department

( 1 )

I-0489

0098

**Count Soyeshima Returns from Olympic Warsaw Session**

Count Michimasa Soyeshima, Japanese member of the International Olympic Committee and Japan's delegate to the 34th annual session of I.O.C held at Warsaw last June, returned on August 6 by the

N. Y. K. liner Heian Maru, completing a three-months tour of Europe and the United States. On the Count's arrival in Yokohama, appreciation was expressed for his efforts in swinging the Warsaw Conference to a decision to hold the 1940 Winter Games at Sapporo, Hokkaido.

**CLIMATIC AND OTHER CONDITIONS IN JAPAN IN RELATION TO FOREIGN HORSES TO BE USED IN THE OLYMPIC GAMES**

The following information about Tokyo is given for the benefit of those participating in equestrian events in the Olympic Games.

Tokyo is situated at Lat. 33°30' north, midway on the southern coast of the main island of the Japanese archipelago. Its climate is mild but the rainfall is heavy, measuring as high as 1557 mm. per year. This heavy rainfall makes the water soft, and enables animals and vegetation to grow with vigour.

Most of the principal breeds of horses from Europe do well in this climate, as do Holstein cattle, Yorkshire hogs and leghorn poultry.

In July and August, the weather conditions are fairly stable, most of the days being clear with refreshing breezes.

Both well and tap water are soft and the temperature is between 14° and 18° C. in the summer. The surface of the soil is rich in humus.

Water is obtainable at a depth of from 4 to 6 metres below the surface of the soil. Unpaved

roads are thus resilient.

Oats, corn, and barley, as well as timothy hay and soy-bean hay are available for fodder. On account of the damp climate, fodder easily becomes mouldy, and grasses are somewhat difficult to dry, but with due care these difficulties can easily be overcome.

Radishes used for livestock feed are not available but Japanese carrots, green grass, and bamboo-grass leaves are plentiful throughout the year. Imported horses take well to these foods in one or two weeks. Rice hay is used both as fodder and straw for the bedding down of animals.

Stables are wooden structures. The climate being damp, stone and concrete structures are not suitable.

All in all, foreign contestants will not find it difficult to familiarize themselves with local conditions, and when they do, they will find that climatic and other conditions in Japan compare favorably with those in Europe.

ANALYSIS OF FODDER OBTAINABLE IN JAPAN

Ingredients Classification	Liquid Matter	Solid Matter	Distribution					Pure Albumen	Remarks
			Crude Albumen	Crude Fat	Crude Ashes	Carbohydrate			
						Coarse Fibre	Soluble Non-Nitro- gen Com- pound		
Barley	14.3	85.7	9.4	2.1		3.9	67.8		
Oats	13.3	86.7	10.3	4.8		10.3	58.2		
Corn	13.0	87.0	9.9	4.4		2.2	69.2		
Wheat bran	12.2	87.8	14.3	4.2		10.2	52.2		
Timothy hay	14.3	85.7	8.5	2.4		28.5	41.1		
Soy-bean hay	16.0	84.0	17.2	2.2		29.5	28.9		
Hay from the grasses	15.0 13.7	85.0 86.3	5.3	2.0	6.9	23.7	48.4		
Leaf from "Sasa" (bamboo-grass)	10.6	89.4	7.2	2.3	9.0	23.9	47.0		
Japanese carrot	87	13	1.2	0.2		1.3	9.3		
Rice hay	13.2	86.8	5.5	2.2		35.3	33.5		

発行所 農務省印刷局 東京市本郷區西町 電話セルヂング内線  
第十二回オリンピック東京大會組織委員会事務局 印刷社公刊

( 4 )

PRINTED IN JAPAN  
IMPRIMÉ AU JAPON  
IN JAPAN GEDRUCKT

I-0489

0099

The City of Tokyo purposes to undertake, in concert with the the Department of Home Affairs, to improve considerably the communications around the Outer Gardens in order to facilitate the coming and going of the large Olympic crowds. The city's plans include new thoroughfares for both vehicular and pedestrians traffic. Until the final plans for the Stadium were completed this project was naturally difficult to effect. Now that plans have been formulated, however, the City of Tokyo has decided to speed up its scheme to effect the making of new roads in order to eliminate all danger of the slightest congestion in either reaching or leaving the Stadium.

Early obstacles have now been removed, and it is therefore much easier for the Organizing Committee to go ahead with its plans in order to guarantee that nothing shall be left undone to house the Games in a fitting manner and to make it easy for those attending to find all that they would wish in 1940.

#### Mr. Nagai appointed General Secretary

On July 2nd, Baron Keiichi Kubota, General Secretary of the Organizing Committee of the XIIth Olympiad, tendered his resignation to Prince Tokugawa, Chairman of the Committee. Baron Kubota was appointed to the post at the meeting of the Organizing Committee held on the 9th of last March. The Committee did their utmost to persuade him to retain his post, but the Baron felt



Mr. Matsuzao Nagai

that his failing health would not permit him to continue in office; and the Committee, voicing the strongest sentiment of regret, accepted his resignation at its meeting held on July 8th.

At the 17th session of the Committee held on August 12, Prince Tokugawa recommended the appointment of Mr. Nagai to succeed Baron Kubota. The recommendation was unanimously approved. Mr. Nagai was formerly Japanese Ambassador to Berlin and the news of his appointment is being received with enthusiasm and gratification in all quarters.

#### Scientific Research for the Olympic Games

The Organizing Committee for the 12th Olympiad, Tokyo, has established a Committee for scientific research in its Sports Department. This research committee is composed of some forty members, including leading scientists in Japan. Professor Mishio Ishimoto of the Tokyo Imperial University has been appointed chairman. A regular meeting of the committee will be held each month to study problems of a scientific nature arising in connection with the facilities for conducting the various games.

Among the studies that have already been taken up by the Committee are the following: a substitute for gunpowder to be used in firing pistols to start the races; various kinds of stop-watches; an installation to minimize the waves in the swimming-pool. Various materials for surfacing the track in the stadium have been studied, and it is probable that the material used at the Berlin Olympics, described commonly as "En-tout-cas," will be selected. The selection of the kind of lawn to be laid on the field within the stadium is another problem that is being studied. The lawn must be the kind that will be able to withstand heat in summer and frost in winter. *Korai* lawn will probably be selected, as it is strongly recommended by Dr. Suehiro, President of the Japan Swimming Association, who served for many years on the Greens Committee of the Kasumiga-seki Golf Club. Studies are also being made to improve the steel tape-measure so that the markings can be more easily read. Improvements in cameras for photographic records of contests are also being made.

#### Design for Tokyo Olympic Mark Selected

12,113 designs were submitted for the competition conducted by the Organizing Committee. The judges awarded the first prize to the design reproduced on this issue, and honorable mention to three others. The prize-winning design will be used on the publications and official stationery of the Organizing Committee.



Lieutenant-General  
Matabiko Oshima  
The President of the Japan Amateur Athletic Association and Vice-President of the Organizing Committee of XIIIth Olympiad, Tokyo, 1940.



Ryozo Hiranuma  
The Vice-President of the Japan Amateur Athletic Association and Member of the Organizing Committee of XIIIth Olympiad, Tokyo, 1940.

#### International Sports events to be Held

The various National Sport Federation in Japan are doing everything possible to improve the performance standards of their members. As participation in contests provides good opportunity for training, international meets have been arranged and foreign teams have been invited to participate in them.

The first team to come to Japan under this invitation was a wrestling team from the United States. The team took part in various mat competitions during July. These wrestlers will be followed by a team of American swimming stars headed by coach Stanley Brauning. The team is composed of Medica, Kiefer, Higgins, Root, and Miss Katherine Rawls. The swimmers will participate in the All-Japan Swimming Championship Meet to be held on the 14th, 15th and 16th of August at the Swimming Stadium in the Shrine grounds.

Towards the end of August, an American track and field team of 16 members headed by Coach Hunter will arrive in Japan and Japan-American contests will be held at the Meiji Shrine stadium on the 28th and 29th. Among the members of this team are Meadows, champion polevaulter at the Berlin Olympics; Sefston, who won fourth place in pole-vaulting at the Berlin Olympics; Woodruff, Berlin Olympic champion in the 800 metre race; Albritton, running high-jump champion; and others. On August 28th, the opening ceremony will be held on a grand scale as a sort of rehearsal for the similar ceremony at the Olympic Games in 1940. A chorus of a thousand voices will participate in this ceremony.

#### Lodging for Foreigners in Tokyo and its Vicinity

One of the most serious problems that arise in connection with the 1940 Olympic Games is the question of providing lodging quarters in Tokyo for foreigners. This problem is being studied in earnest, and the government has decided to encourage the construction of hotels by advancing the necessary capital at low interest out of the National Treasury.

Hotels in Japan have improved greatly in recent years, and many of them now offer accommodation equal to that of the best European and American hotels. A considerable number of these Western-style hotels are to be found in Tokyo. These, together with hotels in Yokohama, Kamakura, Zushi, Atami, Hakone, etc., which are within easy reach from Tokyo, may all be used by foreigners at the time of the Olympic Games. Besides these, Tokyo has quite a number of apartment-hotels, clubs, and lodges. Though clubs and lodges are operated by various organizations for the convenience of their members and are not ordinarily available to the general public, they will be open to foreigners during the Olympic Games. A number of new hotels are now under construction, and enlargement of the premises is being planned by several hotels. When these are completed, Tokyo will be able to accommodate at least twice the number of foreigners that can be accommodated at present.

There are innumerable Japanese inns in Tokyo. Facilities at these inns have improved greatly of late, and some of them can now be said to offer accommodation satisfactory to foreigners. The operators of these inns are taking a lively interest in the movement to modernize their establishments. By 1940 quite a number of them will have become suitable for foreigners.



# Olympic News



XIIth Olympiad, Tokyo, 1940

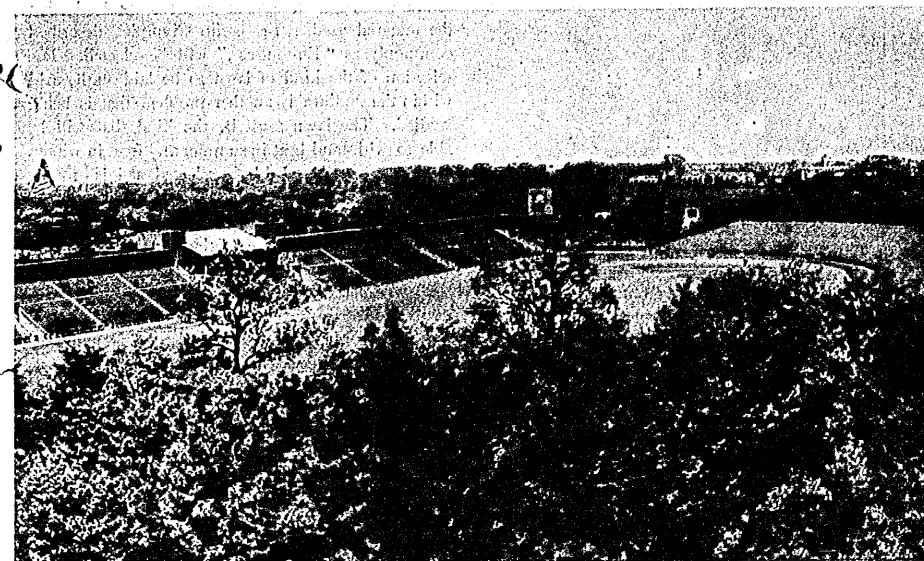
Issued monthly by the Organizing Committee of the XIIth Olympiad, Tokyo, 1940  
Mantetsu Building, Tokyo Cable address: "SOSIKI TOKYO"

No. 4

August 10, 1937

## OLYMPIC SITE PLAN APPROVED

- As the proposed site for the Olympic Games in Tokyo was the Outer Gardens of the Meiji Shrine, approval first had to be sought for holding the Games there. This is because the Meiji Shrine and its Outer Gardens enjoy, as it were, a sort of sacred extraterritoriality in the Japanese nation.
- Since the demise of the illustrious Emperor Meiji, both the Shrine and its Outer Gardens have been considered a sort of sacred reserve, to which the whole nation regularly makes pilgrimages. Both the Shrine and the Outer Gardens, therefore, have been administered independently of the Department of Home Affairs. But as the Outer Gardens and the object to which they have been dedicated since their construction have always been in harmony with the very ideals which the Olympic Games foster, it was thought fitting, not only geographically but also sentimentally, to hold the Olympic Games there. However, it was first necessary to ask for formal permission to hold the Games in the Outer Shrine. This the Meiji Shrine Supervising Committee readily gave, so that the Department of Home Affairs is now able to announce that the site has been officially approved.



Stadium of The Outer Garden of Meiji Shrine, approved as the site of the Main Stadium for Tokyo Olympic Games.

( 1 )

I-0489



MR. KOBASHI APPOINTED  
MAYOR OF TOKYO

On June 28, Mr. Ichita Kobashi became the Mayor of the City of Tokyo, succeeding Mr. Torataro Ushizuka. The mayor takes the place of Mr. Ushizuka as a member and Vice-President of the Olympic Organizing Committee.

MODEL OF BERLIN STADIUM GIFT  
TO PRINCE TOKUGAWA

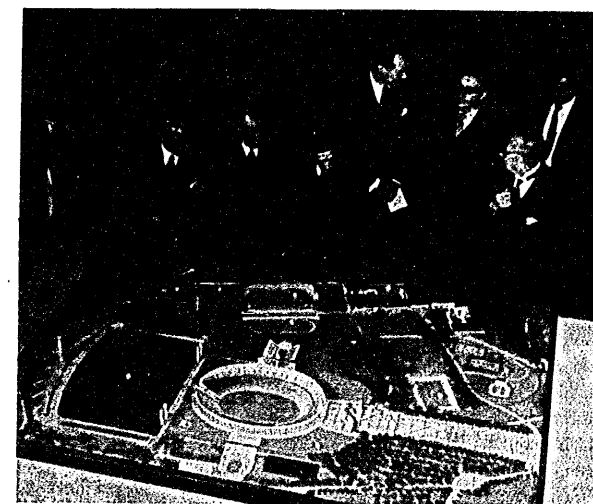
A large model of the Berlin Olympic stadium, a gift from the German State Railway Publicity Office in Berlin and the former Berlin Olympic Or-

The cable address of the office for the Organizing Committee of the Games of Tokyo is registered as follows; "SOSIKI Tokyo."

ganizing Committee, was presented to Prince Iyesato Tokugawa, president of the Tokyo Olympic Organizing Committee, in a brief ceremony in the main banquet hall of the Imperial Hotel.

On the invitation of Mr. Joern Leo, the Japan representative of the German State Railway Publicity Office, more than 50 persons prominent in the Japanese sports world attended. After a brief welcome address by Mr. Leo, the German Ambassador, Mr. Herbert von Dirksen, presented the model to Prince Tokugawa on behalf of the whole German nation, stressing in his brief speech the close cultural relations between the two nations. Prince Tokugawa responded.

Prominent among the guests present, in addition to the principals in the ceremony, were Marquis T. Okubo, Mr. Kenkichi Yoshizawa, former Foreign Minister, General M. Oshima, president of the J.A.A.A., and Mr. R. Hiranuma, vice-president of the J.A.A.A.



At the presentation of the model of the Berlin Olympic Stadium at the Imperial Hotel. Viewing the model are, from right to left, Prince Tokugawa, Mr. Hiranuma, General Oshima, and Baron Kubota.

発行兼刷版印刷人 東京市赤坂區西町 印刷部ベルリンオリンピック  
第十二回オリンピック東京大会組織委員会事務局 西村社印刷

( 4 )

PRINTED IN JAPAN  
IMPRIME AU JAPON

I-0489

0102

used. At one time it was planned to construct a new Schanze on the slope of the Sankaku-yama but tests proved that this site was not ideal because of strong winds and the Okura Schanze has been chosen for the Olympics. The record on this Schanze at the present is 71 metres made by Shunji Tatsuta but with improvements that will be made at the site it is expected that at the time of the Olympics, a record approaching 80 metres will be established. The present stand will be enlarged to seat 30,000 and to provide standing room for 10,000. Parking space for automobiles will also be enlarged. By the time of the Olympics, it will have become possible to maintain a belt-line bus service from the city. The walking distance of 40 minutes from the terminus of the tramway line will also be shortened.

**Down-Hill Races:** The course for these races has its start on the summit of the Mt. Te-i-ne-yama which has an altitude of 1,023 metres. The course descends in an unbroken straight line towards the Garu-kawa station, and it has a grade of over 800 metres. Before it can be used, however, shrubbery will have to be removed and a cable car line installed to facilitate climbing to the summit.

**Slalom Race:** For this race San-kaku-yama will be used. Both the eastern and western slopes have been tried and found to be somewhat beyond the skill of Japanese skiers. Contestants from central and southern Europe who excel in this branch of skiing are expected to find this course quite to their liking.

#### SKATING CONTESTS

**Indoor Rink:** This will be newly constructed in the municipal ground at the Maru-

yama Park terminus of the street railway line. The rink will measure 25 by 60 metres and stands will accommodate 8,000. Figure skating and ice hockey matches will be held here.

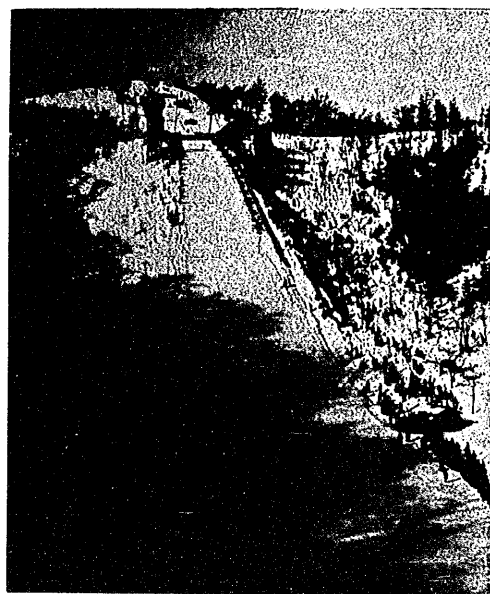
**Outdoor Contests:** Municipal athletic ground in the outer compound of the Sapporo Shrine will be turned into a skating ground with a circular course 13 metres wide and well over 400 metres in circumference. Speed skating contests will be held here, and the area circumscribed by the course will be used for ice-hockey matches.

#### BOB-SLEIGH RACES

Plans are under consideration to invite foreign experts, perhaps from Germany, to come to Japan to supervise the necessary construction work for the course for these races and also to train Japanese athletes in the art of bob-sleighbing. At the present, it is expected that the course will have its start on the Mt. San-kaku-yama and extend to Maru-yama Park, covering a distance of about 2 kilometres.

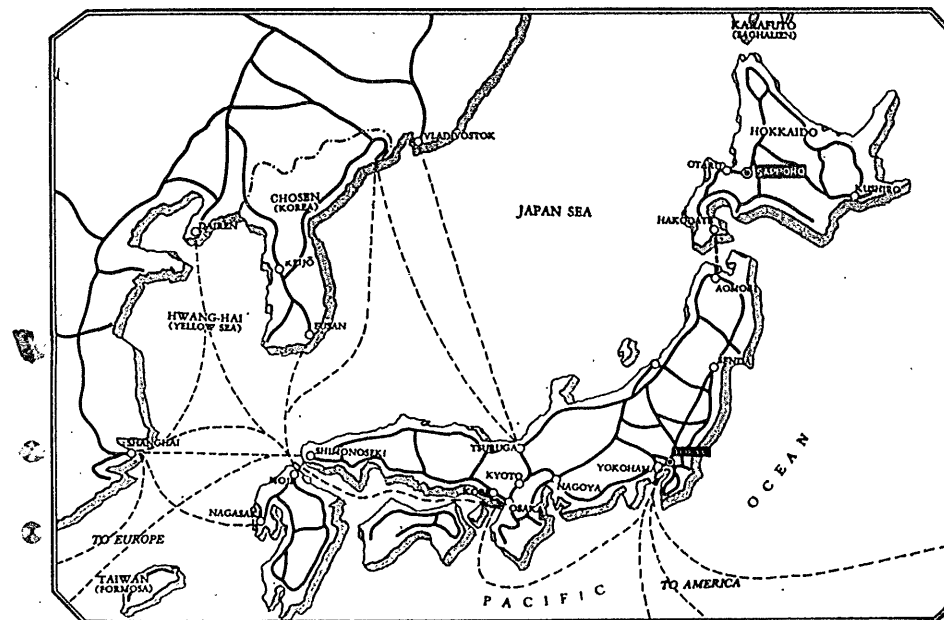
#### LODGING

A special village to house contestants has never been built for any of the Winter Olympic Games. But conditions are different in Sapporo, for Japanese inns and private residences can hardly be regarded as offering accommodation suitable to visitors, although at the Sapporo Grand Hotel, excellent western-style accommodation is available. Various plans are thus being studied to solve the problem of lodging. One solution is to approach the Hokkaido Government and other public authorities who are planning to build sanatoriums and the like, and to have these built in time to be used as lodging places during the Olympic Games.



The Okura Schanze, at Sapporo.

( 2 )



#### SAPPORO, THE SITE OF THE VTH WINTER OLYMPIC GAMES

At the Warsaw Conference of the I.O.C., Sapporo was selected as the site for the Vth Olympic Winter Games. Sapporo is a modern city with wide and elegant boulevards; it is the seat of government and the centre of commerce in Hokkaido, a northern island in the Japanese archipelago. The latitudinal position of this city corresponds to that of Rome, Italy, or Chicago, U.S.A.

To the northeast of Sapporo lies the plain of Ishikari, and in the opposite direction are the Maru-yama and Mo-iwa Mountains. The Olympic Winter Games will be held in the neighbourhood of this city where fine and powdery snow covers the whole landscape in winter and where the temperature falls well below zero but never to a point that may be called severe. The countryside is covered with acerose trees, and is easily accessible from Sapporo. All in all, this district has the best qualification as the site for the skiing races. The present skiing grounds lie in the mountain range which embraces Mt. Te-i-ne-yama, Mt. Sankaku-yama, Mt. Okura-yama, Mt. Mo-i-wa-yama, and Mt. Maruyama. The *Okura Schanze*, said to be the

best in the Orient, will be used at the time of the Olympics.

Sapporo lies about 1,140 kilometres north of Tokyo, and can be reached in 24 hours by express train from Tokyo to Ao-mori, thence by ship to Hakodate where connection is made from the ship to the train for Sapporo. Street railway and the bus provide transportation within the City of Sapporo. Taxi rates range from 80 sen to one yen within the city limits. The *Okura Schanze* at the centre of the skiing grounds is about 6 kilometres from the Sapporo Railway Station, within 30 minutes' ride by automobile.

The Sapporo Grand Hotel has 40 Western-style rooms accommodating 62 guests, and 11 Japanese rooms accommodating 24 guests. There are many Japanese inns, where accommodation is available for a considerable number of guests.

The average depth of snow in Sapporo is 50 centimetres in January, and 122 centimetres in February. The snow is dry and powdery, and falls during the four months from December to March. The average temperature during January is 5.8 degrees below zero, and 5.1 below zero during February.

( 3 )

I-0489

0103

# Olympic News

XIIth Olympiad, Tokyo, 1940

Issued monthly by the Organizing Committee of the XIIth Olympiad, Tokyo, 1940  
Mantetsu Building, Tokyo Cable address: "SOSIKI TOKYO"

No. 3

July 10, 1937

## VTH OLYMPIC WINTER GAMES, SAPPORO, 1940

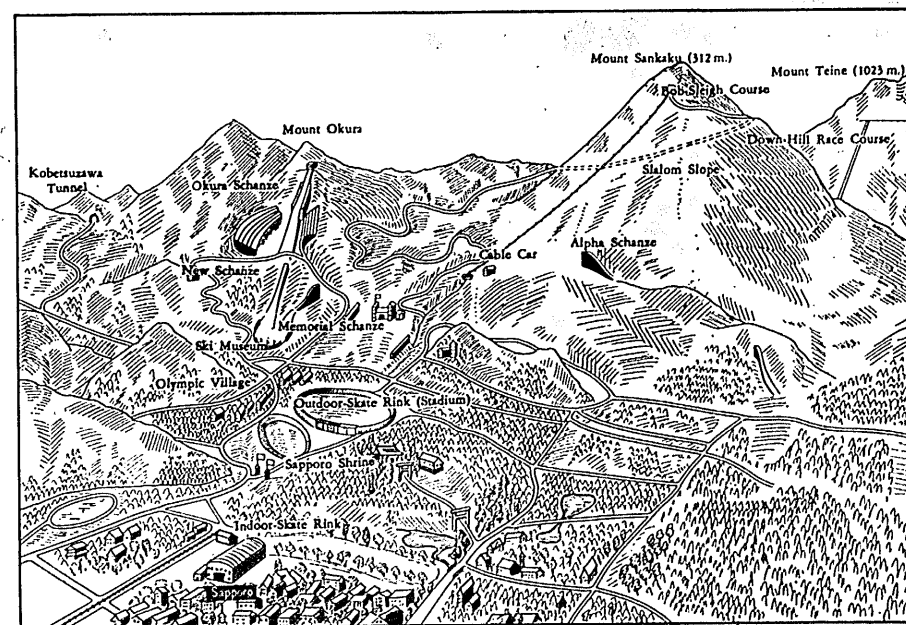
Sapporo having been selected as the site for the Vth Olympic Winter Games, the organizers in Japan have begun to exert strenuous efforts in preparation for it with the hope that it will surpass the games held in Chamonix, St. Moritz, and Lake Placid, and will at least equal the games at *Garmisch-Partenkirchen*.

As in the case of the Tokyo Olympics, an organizing committee will be established for the Sapporo Olympics. This committee is expected to make preparations along the lines described below.

### SKI CONTESTS

**Distance Races:** There will be no difficulty in deciding upon the courses for 18 and 50 kilometre races around the outer compound of the Sapporo Shrine. The depth of snow, temperature, and undulations in the land surface are ideal. With thirteen ski huts already in existence, it is expected that no renovations will be necessary on the grounds so far as these distance races are concerned.

**Ski Jump:** The existing Okura Schanze will be



( 1 )

I-0489

0104

Toda in Saitama Prefecture, just outside Tokyo, will be the site for the rowing course, which is to run parallel to the north bank of the canal just above the Toda bridge. This project is a tremendous undertaking, involving the excavating of a large area of agricultural land adjacent to the present canal and an expenditure of some Yen 2,800,000. This work is to be started immediately.

The yachting course will be laid out at the Port of Yokohama. This location has been selected with the understanding that the City of Yokohama will appropriate as much as possible in financing its construction, which is estimated at Yen 700,000.

The Japan Race Club has agreed to construct an equestrian course in Setagaya Ward, Tokyo, for the Olympic contests, provided the Organizing Committee shall appropriate at least Yen 150,000 toward its construction.

#### CONSTRUCTION OF THE ROWING COURSE BEGUN

The inauguration with Shinto rites of the construction of the rowing course at Toda Bridge in Saitama Prefecture, which took place on May 30, 1937, marks the beginning of actual construction work for the 1940 Games. Following the signal fired by President Shio-sawa of the Rowing Club, the contractor began operations, and the first excavated soil was carried off. Then followed the program of greetings and speeches. Different members of the Tokyo Intercollegiate Crew Association, rowing up the Arakawa in their eight-shells, added much in making the whole ceremony more impressive and significant.

The course will be 2,500 meters long and 80 meters wide, and will be located just above the Toda Bridge. A road seven meters wide will run parallel on either side of the course. A space of seventy thousand tsubo (56 acres) will be used for grass lawns, a grandstand to accommodate tens of thousands of spectators and for parking room. The plan has been designed by Mr. Kanamori, an engineer in the Ministry of Home Affairs, and the whole project is to cost approximately two million yen. The work will be finished by the summer of 1939, and when completed will constitute a great scientific achievement of modern engineering.

#### CONSTRUCTION OF THE YACHT HARBOR TO BE STARTED SOON

The decision having been made to locate the yachting harbor in Yokohama, Director Kurihara of the Yokohama Athletic Association has indicated the readiness of all concerned to cooperate in the harbor construction, which will be developed according to the plan of Mr. Samejima, formerly a government civil engineer. It is expected that a budget of Yen 700,000 will be sufficient for this enterprise. The Yokohama Olympic Games Committee, which is soon to be organized, in cooperation with government officials, will start work as soon as practicable. Adequate facilities for spectators will be provided on the cliff which overlooks the harbor.

発行所 東京オリンピック委員会事務局  
東京市本町四丁目 東京ビルディング内  
第十四回オリンピック東京大会組織委員会事務局 西四社公刊

#### OLYMPIC WINTER GAMES TO BE HELD IN JAPAN

At its Warsaw general meeting held on June 8, the International Olympic Committee took up the question of the Vth Olympic Winter Games and, giving cognizance to the wishes of Japan, decided that it should be held in Hokkaido (Sapporo), Japan. The difficult problem pending since the summer of last year has thus been decided at last in Japan's favour.

On receiving the news of this decision, the Olympic Organizing Committee in Tokyo sent telegrams from its President, Prince Tokugawa, to Count Baillet-Latour and Viscount Soyeshima, expressing its gratification at the decision and its appreciation of the efforts of these men and other members of the I.O.C. in bringing about a decision in favour of Japan.

#### THE ART CONCOURS

The Japan Association of Arts in Physical Culture has mobilized the country's specialists in the various fields of art to prepare for the 1940 Olympic Art Concours. These experts, numbering sixty-four, have been made members of the Association's Board of Directors and will supervise the Association's work after the budget is approved by the Organizing Committee. The following outline of the projects has been published by the Association:

1. Art Contests.

Count Soyeshima is expected to propose at the Warsaw Conference that the industrial arts and photography be recognized as independent branches of the Art Exhibitions on the same basis as Japanese paintings, color prints, sculpture, architecture, music, and literature. Starting this fall, the Association will hold elimination contests in each of these nine branches, a wide publicity to obtain as many entries as possible is being planned.

2. Japanese Cultural Exhibitions.

Exhibitions are planned by the Association to introduce to Olympic visitors both ancient and modern Japanese art and culture.

3. Ceremonies.

The Association will study the problems involved in planning for the opening and closing ceremonies of the Olympic Games.

4. "Drama and Music Week."

The Association plans to hold a "Drama and Music Week" during the Olympic Games, which will include *Kabuki*, modern plays, and music concerts. These will all center around a theme that harmonizes with the aims of the Olympics.

5. Decorations.

The Association will strive to co-ordinate the schemes of various authorities and organizations in the decoration of the streets and the athletic grounds during the Olympic Games.

6. Publicity.

The Association will co-operate with the Publicity Section of the Olympic Organizing Committee in giving publicity throughout the world to the Olympic Games.

work and supervise his staff under the direction of the President.

The department managers shall manage the affairs of the respective departments and exercise supervision over the work of their departments under the direction of the General Secretary.

Secretaries shall supervise administrative and secretarial work under the direction of their superiors.

Engineers shall supervise the technical work under the direction of their superiors.

Clerks shall engage in administrative and secretarial work under the direction of their superiors.

Assistant engineers shall engage in technical work under the direction of their superiors.

#### Article V

The President shall prescribe the duties and functions of the Secretariat, as outlined in the following articles.

### RULES GOVERNING THE DUTIES AND FUNCTIONS OF THE SECRETARIAT

#### Article I

The following departments shall be established within the Secretariat of the Organizing Committee for the XIIth Olympiad Tokyo 1940.

General Affairs Department  
Sports Department  
Publicity Department

#### Article II

The duties of the General Affairs Department shall consist of matters relating to:

Safe-keeping of official seals; appointment and dismissal of staff members; business or official trips of the staff; supervision of the work of office employees, porters, etc.; other personnel matters; conference and committee meetings; rules and regulations; despatch and receipt of mail, documents, etc.; keeping of records, editing and compiling of reports; safe-keeping of books and do-

cuments; budget and balancing of accounts; purchasing, renting and disposal of goods; income and disbursements; disbursements and safe-keeping of cash and goods; salaries and wages; other treasurer's duties; all matters outside the competence of other departments.

#### Article III

The duties of the Sports Department shall consist of matters relating to:

Supervision of grounds and dressing-rooms; planning and supervision of the making of articles and equipment used in the games; torch marathon; communications with the International Olympic Committee; direction and supervision of contestants; receiving applications for participation in the contests; ceremonies; drawing up program; carrying out contests; recording and publishing contest records; art contests; exhibitions and meetings; referees; communicating with visiting teams; plans for meeting and sending off visiting teams; practice and training-fields; drawing up of programs for practice and training; other matters relating to contests.

#### Article IV

The duties of the Publicity Department shall consist of the following:

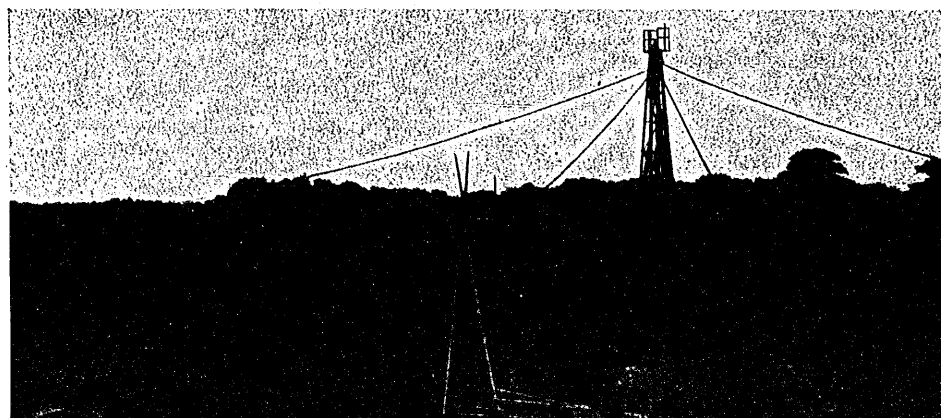
Preparation of guide-books, and publication and distribution of publicity matter; publicity through motion-picture films and radio; release of records and news to newspapers and others; attracting spectators; other matters relating to publicity.

#### Article V

Each department shall have its manager. In the absence of the manager, the official next in rank shall assume his duties.

#### Article VI

Assignment of work within the department to the members of the staff shall be done by the departmental manager.



Construction of the rowing course already under way at Tada.

( 2 )

### MEMBERS OF COMMITTEE AND STAFF OF THE SECRETARIAT

General Secretary Baron Keiichi Kubota, D. Sc.

#### General Affairs Committee, First Section (General)

Dr. Taku Iwahara, Chief of the Section of Physical Education, Ministry of Education  
Fumio Takashima, Director, Japan Amateur Athletic Association  
Tokimitsu Kusama, Chief Secretary, Municipal Office of the City of Tokyo

#### General Affairs Committee, Second Section (Publicity)

Makoto Den, Director, Board of Tourist Industry, Government Railways  
Kenzo Abara, Chief of the Archives Section, Ministry of Education  
Takanori Kimura, Passenger Traffic Manager, Bureau of Traffic and Transportation, Government Railways  
Viscount Seiichi Motono, Chief of the Second Section, Information Bureau, Ministry of Foreign Affairs  
Hiroshi Takata, Manager of the Promoting Dept., Board of Tourist Industry, Government Railways  
Ryuzo Kawazura, Secretary, Information Committee  
Tatsuo Hisatomi, Director, Japan Amateur Athletic Association  
Saburo Matsukata, Chief of Research Department, Domei News Service, Inc.  
Kinbei Narusawa, Director of Research Dept., Broadcasting Cooperation of Japan.  
Jinnosuke Takaku, Managing Director, Japan Tourist Bureau.  
Tamotsu Tatsuno, Councillor, Japan Amateur Athletic Association  
Masao Yoshiyama, Chief of Bureau of the General Affairs, Municipal Office of the City of Tokyo  
Setsuichi Aoki, General Secretary, Society for International Cultural Relations.

#### General Affairs Department

Manager—Baron Keiichi Kubota Secretary—Kyota Naganuma

#### Sports Department

Manager—Takashi Goh, M.D., Member of Standing Committee of Japan Amateur Athletic Association  
Secretary—Masatsune Miyaki, Member of the Standing Committee of Japan Amateur Athletic Association

#### Publicity Department

Special Staff—Kuraji Takahashi, Assistant Manager, Promoting Dept., Board of Tourist Industry  
—Masashiro Kurita, Assistant Manager, Travel Dept., Japan Tourist Bureau.

#### ACCOMMODATION OF CONTESTANTS DISCUSSED

Representatives of the Ministries of Foreign Affairs, Government Railways, Communications, and of the Nippon Yusen Kaisha, Osaka Shosen Kaisha and the Publicity Committee were present at a special meeting in Tokyo on April 30 when the question of special considerations to be granted participants was discussed. Important matters considered included special discounts on steamship and railway lines, and the appropriation which the City of Tokyo would be asked to make to cover this item. The cooperation of the following

agencies is being secured:

1. Nippon Yusen Kaisha—agreement for passage discounts on their own lines, as well as from foreign steamship and railway companies affiliated to the N.Y.K.
2. Osaka Shosen Kaisha—same as in the case of the N.Y.K.
3. Kinkai Yusen Kaisha—agreement for passage discounts on their lines and also on affiliated Continental lines.
4. Japanese Government Railways—agreement for reduced rates on all lines in Japan.
5. Government Railway of Chosen—agreement for reduced rates on all lines in Chosen.
6. South Manchurian Railway—agreement for reduced rates on all railway lines under their jurisdiction.
7. Japan Hotel Association—agreement for reduced rates by all the member hotels to those connected with the I.O.C.

#### FINAL DECISION REACHED FOR ROWING, YACHTING AND EQUESTRIAN COURSES

The final decision in the selection of the sites for the courses for the rowing, yachting and equestrian events was made at the meeting of the Organizing Committee held on May 18.

#### OLYMPIC POSTER CONTEST

The Publicity Committee has announced the details of a contest for the best designs for posters and an Olympic mark to be used for publicity purposes. The judges are Baron Kubota, Mr. Makoto Den and several experts to be appointed by the Japan Association of Arts in Physical Culture. Ten prizes, amounting to Yen 2,620, are awarded to the winners of these contests. The results are to be announced on July 10, 1937.

( 3 )

I-0489

0106

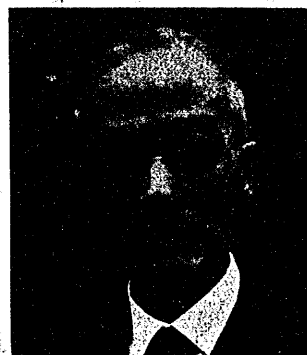
# Olympic News

XIIth Olympiad, Tokyo, 1940

Issued monthly by the Organizing Committee of the XIIth Olympiad, Tokyo, 1940  
Mantetsu Building, Tokyo Cable address: "JAAA TOKYO"

No. 2

June 10, 1937



Count  
Michimasa Soyoshima,  
Member of the Organizing  
Committee, and of  
the I. O. C.  
←



Prof. Jigoro Kano,  
Member of the Organizing  
Committee, and of  
the I. O. C.  
→

*The following are the rules governing Sub-Committees and Secretariat, as provided by the Constitution of the Organizing Committee which appeared in the first number of the "Olympic News."*

## RULES REGULATING THE SUB-COMMITTEES

### Article I

Members of the Finance, Construction and General Affairs Committees shall be appointed by the President with the approval of the Organizing Committee.

Members of the Finance, Construction and General Affairs Committees shall organize their respective Committees.

The Chairmen of the Committees shall be elected by the members of the respective committees from among their number.

The secretarial work of the committees shall be undertaken by the Secretariat.

### Article II

The Finance Committee shall manage the financial affairs of the Organizing Committee, and shall answer the President, when questioned, on financial matters.

### Article III

The Construction Committee shall act as a consultation body to the President and the General Secretary

on matters relating to the construction of grounds, living quarters for the participants, etc., and shall direct and supervise the construction of the same.

## ORGANIZATION OF THE SECRETARIAT

### Article I

The Secretariat of the Organizing Committee of the XIIth Olympiad, Tokyo, 1940, shall undertake all the administrative and secretarial work of the Organizing Committee.

### Article II

The officers of the Secretariat shall consist of General Secretary, several departmental managers, secretaries, engineers, clerks, and assistant engineers.

The Secretariat may commission additional officers *pro tem*, and employ subordinate employees not listed in the above paragraph.

### Article III

The General Secretary and departmental managers shall be appointed by the President with the approval of the Organizing Committee.

Secretaries and officials under them shall be appointed or dismissed by the President. Subordinate employees, however, shall be appointed or dismissed by the General Secretary.

### Article IV

The General Secretary shall direct the Secretariat's

( 1 )

I-0489